

資 料

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

遠藤 浩・水内勇太

はじめに

本稿は、同志社大学人文科学研究所（以下、人文研と略称）に所蔵されている、マイクロフィルム化された教会資料群の整理を目的とする、各資料の簡易な解題と目録である。

人文研には、各地の教会に所蔵されていた資料、もしくは教会に関連した資料が数多く所蔵されている（以下、これらの資料群を教会資料と総称）。これら教会資料は、キリスト教社会問題研究会においてかつて取り組まれた、「教会研究」部門によって収集された。昨年の『キリスト教社会問題研究』63号（2014年）にまとめられた「キリスト教社会問題研究会関連活動記録」の「1. 研究会一覧」（118頁）によれば、「教会研究」は、「プロテスタント各派教団・各教会の資料の調査・収集・研究（教会研究）」として、1968（昭和43）年、第3期（1965年～1971年）の途中で新たに編成された研究部門である。

前掲『キリスト教社会問題研究』63号に掲載された、田中智子「CS 確立期における「回顧と展望」——篠田一人氏談話記録（1969年）」によれば、「たしかに私たちは社会問題をやっているけれども、何と言ってもキリスト教徒の社会問題なのだから、そちらの方からひとつ研究してかかろうではないか、……これは我々がやらなくてはできない仕事ではないだろうか、という意識」（27

頁、篠田一人氏の発言)からはじめられたものとされる。「昨年〔1968年——水内〕の6月からでしたか、高橋〔虔〕先生をキャップとして、現在12名ほどおります。一応資料収集活動については、相当盛んに行動し、殊に各教会の所蔵資料の徹底調査という、従来いかなる研究者もやっていなかったような仕事をやりまして、多量の写真・マイクロフィルムなどを集めた。……資料収集にエネルギーを取られまして、杉井さんなども、ほとんど教会から借りてきた資料の整理・マイクロ化に忙殺されて、昨年暮れ以来数か月を過ごされたような次第です」とあり、篠田氏、高橋氏、杉井氏、土肥氏らが1968年当初の具体的な関係者と思われる。1968年当時の「研究会だより」(『キリスト教社会問題研究』13号)によれば、「浪花教会」とその創立者沢山保羅の出身地たる山口県の「山口教会」「山口信愛教会」「津和野教会」などの資料の調査、収集などが行われ、資料の撮影複写、マイクロフィルムの収集所蔵がなされており、「今後ともこの種の資料収集活動を続ける予定である」としている。

1968年に発足した教会研究は、1974年に「日本基督教会の成立とその諸活動(組合教会研究)」へと再編、更に1976年に「キリスト教と地域社会」へと改組されていき、1981年には「キリスト教と日本社会の研究」へと引き継がれた。教会研究の成果としては、同志社大学人文科学研究所編『松本平におけるキリスト教——井口喜源治と研成義塾』同朋舎出版 1979年、竹中正夫『倉敷の文化とキリスト教』日本基督教団出版局 1979年などが挙げられるが、現在、上記のような変遷の中で、そもそもの教会研究全体としての概要、そして具体的な達成が不明瞭なまま放置されているともいえる。「同志社のCSに来れば、キリスト教会の原資料が全部見られる——大法螺を吹いたら、そういう資料センター的な性格というものを持ってたらもっていきべきではないだろうか」(前掲「篠田一人氏談話記録」杉井氏の発言)という当初の目標からはかけ離れた現状であるといえよう。しかも、具体的な調査・収集についての記録や目録などもほとんどなく(例外として、梅花学園沢山保羅研究会編『日本基督教団

大阪教会所蔵資料目録』日本キリスト教団大阪教会 1981年、同志社大学人文科学研究所編『霊南坂教会文書目録』同志社大学人文科学研究所 1998年(がまとまった目録として刊行されている)、あったとしても未整理の状態であり、その全容を把握することだけでも容易ではない。いわば、調査・収集の関係者のみぞ知るというのが現状なのである。その関係者も逝去に伴い減少していく中で、この教会研究をどのように引き継いでいくかが、今後の大きな課題であるといえるだろう。

そのような現状を受けて、教会研究の全容を把握するために、前掲『キリスト教社会問題研究』63号、「キリスト教社会問題研究関連活動記録」の「7. 所蔵資料一覧」b①(139頁)にて、所蔵されているマイクロフィルムの教会名のリストアップがなされ、今年度より、より具体的な教会資料の悉皆調査が開始された。この調査をもとに、本稿においては資料、研究の整理も兼ね、各マイクロ資料の内容に立ち入って、簡単な解題と目録の作成を試みた。本稿の解題、目録の作成は第一研究「近代日本のキリスト教」所属の遠藤浩、水内勇太が行った。各教会を分担して作成を行い、各解題の末尾に分担者を記しており、基本的に目録も同じ者が担当している。

教会マイクロ資料は人文研に合計84リール所蔵されている。教派に関係なく資料の収集は行われた模様であり、組合教会、長老派、メソジスト教会派、聖公会それぞれの教会資料の所蔵がある。全教会の資料について一度に検討するには紙数が十分ではないと思われるため、本稿においては組合教会のみについて扱い、その他の教会については次回以降に検討を試みたい。組合教会のマイクロ資料は16教会50リールあるが、そのうち、すでに人文研から資料目録が刊行されている霊南坂教会を除外し(前掲『霊南坂教会文書目録』)、15教会37リールを本稿では扱う。本稿においては、全15教会を地域ごとに区分し、I. 近畿(5教会)、II. 北関東(3教会)、III. 北陸(2教会)、IV. 中国(4教会)、V. 九州(1教会)の順に掲載し、各区分内においては、設立年順に並べた。

収集対象となった教会も多様であるが、収集された資料の内容も、教会記録・教会員名簿・会計簿、週報・月報その他刊行物、牧師や有力信者の往復書簡など、非常に多様である。各教会史に所収されているものも少なくないが、教会史においては一部のみ所収されているものが多く、マイクロフィルムによって、各資料全体を参照できることは貴重である。また、マイクロ化された資料の原本について、現在の各教会での保存状態は不明であるため、中には現在は原本を参照できない資料がある可能性もある。資料の保存という点において、教会研究の残した功績は非常に大きい。またその功績は、各教会による資料の保存のうえに成り立っている。中には牧師によって戦火から守り抜かれた資料もある。そうした積み重ねの上に本マイクロ資料はある。しかし、研究機関に所蔵されている資料である以上、保存されるだけでなく、利用されてこそ価値があるのだ。

現在、人文研では、これらのマイクロ資料を、原資料を所蔵する教会の了承を得て、公開する態勢をとっている。今回の悉皆調査にさいし、人文研の田中智子専任研究員の名で、各教会にその旨を確認するとともに資料の現状等をたずねる作業を並行的に進めている。本稿によって資料の利用・活用が促進され、教会研究の復活・進展の一助となることを願いたい。

(水内)

凡例

- 資料は各地域（近畿、北関東、北陸、岡山、九州）に分類したうえで、教会の創立年の順に掲載した。創立年は、基本的に『日本キリスト教歴史大事典』教文館 1988年、および『キリスト教年鑑』キリスト新聞社 2015年を典拠とした。
- 資料のタイトルがマイクロフィルムの箱に記入されているが、統一性がないため、資料のタイトルを新たに「〇〇教会所蔵資料」と付した。
- 目録はリールごとに番号を付した（Ex. 神戸基督教会所蔵資料 Reel No.1）。
- マイクロフィルムの箱に記入された資料名については「箱タイトル」として解題に記載した。
- 同志社大学人文科学研究所がすでに付している請求記号を新たにタイトルの後ろに付した（Ex. 神戸基督教会資料 Reel No.1（請求記号：140V））。
- 目録の項目「番号」は資料それぞれにつき新たに付した。簿冊となっているものは1簿冊1資料として扱い、番号を付した。
- 「表題」は基本的に資料の表紙などに付されたものをそのまま採用した。改行は「／」で表した。表題の重複を避けるため、表紙に執筆の年が付されている場合は表題に含めた（Ex. 明治二十六年十二月収録／総員録）。表題と思われる記述が資料中に見当たらない資料については適当な表題を〔 〕をつけて新たに付した（Ex.〔寄付名簿〕）。
- 資料が書簡の場合は「〇〇〇〇（作成者）書簡 △△△△宛」と表題を付した。英語書簡の場合は「〇〇〇〇's letter to △△△△」とした。
- 「年」は、基本的に起筆の年を記した。執筆が長期にわたる資料（教会日誌など）については、執筆終了年が定かなものは「～」を用いて期間を記し、定かではないものについては起筆の年のみを記した。
- 表紙等に記された資料の作成者が各教会名ではなく、個人名の場合は、備考

に「作成者： 」と記した。作成者が西洋人の場合は氏名をカタカナで記した。

- ・「備考」にはそのほか各資料について必要と思われる情報をできる限り採用した。
- ・解題には資料についての簡単な解題と「設立年」「請求記号」「箱タイトル」「期間」「リール数」「状態」「参考文献」を記した。「期間」については、全リール中最も古い資料から新しい資料の年を採用した。「参考文献」においては各教会を知るうえで最低限必要な資料・研究等について、教会史を中心に簡単に紹介をした。
- ・解題の記述においては西暦を採用したが、目録の「備考」においては原資料を尊重し、和暦を採用した。
- ・解題、表題ともに旧字体は新字体に改めた。
- ・各解題の執筆者を末尾に（ ）を付して記した。

解題・目録 一覧

番号	資料教会名	解題	目録
I-1.	神戸基督教会所蔵資料	143頁	170頁
I-2.	摂津三田教会所蔵資料	144頁	172頁
I-3.	浪花教会所蔵資料	146頁	173頁
I-4.	丹波第一教会所蔵資料	149頁	175頁
I-5.	岸和田教会所蔵資料	152頁	176頁
II-1.	安中教会所蔵資料	153頁	176頁
II-2.	高崎教会所蔵資料	154頁	176頁
II-3.	原市教会所蔵資料	156頁	176頁
III-1.	新潟教会所蔵資料	158頁	179頁
III-2.	長岡教会所蔵資料	160頁	196頁
IV-1.	高梁教会所蔵資料	161頁	199頁
IV-2.	津山教会所蔵資料	163頁	201頁
IV-3.	久世教会所蔵資料	164頁	201頁
IV-4.	倉敷教会所蔵資料	166頁	203頁
V.	宮崎教会所蔵資料	167頁	212頁

解題

I - 1. 神戸教会所蔵資料

- ・設立年：1874（明治7）年。
- ・請求記号：140-V~Y（Reel No. 1~4）
- ・箱タイトル：神戸基督教会資料
- ・期間：1899（明治32）年~1938（昭和13）年。
- ・リール数：4
- ・状態：ふつう。

同志社大学人文科学研究所が保有する神戸基督教会（現日本基督教団神戸教会、以後神戸教会と総称）資料（マイクロフィルム）は、すべて『教会月報』（以後『月報』と略す）である。

日本初の会衆派教会（日本組合教会）として最古の歴史をもつ神戸教会は、D. C. グリーンや J. D. デーヴィスらの指導のもと、1874（明治7）年創立。当初は摂津第一神戸公会と呼ばれたが、1886（明治19）年『月報』にある神戸基督教会に名称変更された。創立時に受洗した松山高吉が初代日本人牧師をつとめ、その後原田助、本間重慶、海老名弾正ら錚々たる牧師陣を聘している。『月報』創刊は海老名牧師辞任のあと、2度目の原田牧師時代（1898年再就任）の2年目のことであった。

『月報』は1899年の創刊号からすでに総活字の整ったもので、巻頭言／説教／教会事業と会議等予告と報告／会員統計報告／会計報告／会員寄稿／関係諸団体等情報などの基本的な紙面構成は創刊時から定まっておき、約40年間分の月報を通して閲覧してもその構成に大きな異同なく、一貫性の高い資料情報をえることができる。草創期日本組合教会の伝道のみならず、キリスト教文化文明全般を明治初期の日本人に紹介した『七一雑報』（雑報社、1875年創刊から

総活字)は編集長村上俊吉が創刊当時に神戸教会信徒であり、書誌編集のノウハウの十分な蓄積が教会側にも『月報』創刊の20年以上前から、すでにもたらされていたのではないかと推察される。また一貫してほぼ2年分ずつの合本が施されているため、原本の保存状態(現時)も良好であることが推察される。

『月報』には、雑報社と同様神戸教会が生みの親といえる神戸女学院や頌栄、神戸YMCAなどとの関係強固たるべき意思を読みとることのできる記述も、ずい所にみられる。それらは、教会の社会的関心領域の広さにもつながっているように思われた。また原田や米沢尚三など牧師を在任中に欧米へ遊学させ、その間小崎弘道ら組合教会牧師のみならず、本田庸一や平岩愷保ら他教派の著名牧師を交替で講壇に招くなどは、日本の会衆派教会の総本山的存在としての自負のあらわれと見受けられる。『月報』創立30年記念号(1904年)にマタイ5:14「山の上にある町(『月報』原文は「城」)は隠れることができない」を引き、神戸教会の日本プロテスタント教界における位置を説いた原田の巻頭言にも、それはよくあらわれている。

【参考文献】

- ・『七一雑報』雑報社、1875年創刊、1883年まで。復刻版が不二出版より1988年に出版されている。
- ・米沢尚三編『神戸基督教会略史』神戸基督教会 1924年。
- ・『神戸教会90年小史』日本基督教団神戸教会 1964年。
- ・同志社大学人文科学研究部編『「七一雑報」の研究』同朋舎出版 1986年。
- ・日本基督教団神戸教会編『近代日本と神戸教会』創元社 1992年。

(遠藤)

I - 2. 摂津三田教会所蔵資料

- ・設立年：1875(明治8)年。
- ・請求記号：222-1~2 (Reel No.1~2)
- ・箱タイトル：摂津三田教会資料(1)

- ・期間：1876（明治9）年～1931（昭和6）年。
- ・リール数：2
- ・状態：ふつう。

リール冒頭に「同志社大学人文科学研究所キリスト教社会問題研究会／摂津三田教会資料（一）／千九六九年九月／清水光芸社」とある。

摂津三田教会は、アメリカンボード宣教師 J. D. デービスの三田滞在を契機として旧三田藩主九鬼隆義を中心に有志が結集、1875（明治8）年摂津第三公会として設立された。第一、第二公会はそれぞれ現在の日本基督教団神戸教会と大阪教会であるが、第三公会（三田教会）は第一公会（神戸教会）と多くの人脈を共有しつつ、神戸と三田を包む阪神間における組合教会の宣教活動に大きな役割を果たした。

本マイクロ資料1巻目には、創立2年目から明治期半ばまでの会計帳簿類、創立5年後から隔年で4年度分の「公会日記」が収載される。2巻目には、明治期半ばから末までの会計帳簿類と名簿類、1931年制定の教会条規などが収められている。

『日本キリスト教団三田教会創立百周年記念史』に、創立時の教会財政につき以下の記述がある。「資料として明治九年・十年・十一年の会堂新築諸費用帳、明治十五年・十六年、明治十八年、明治二十一年、明治二十二年、明治二十四年～二十七年、明治三十一年の金銭出納簿が残されている」（27頁）。この記述と本マイクロ資料にある会計帳票類とは、ほぼ一致しており（マイクロには明治31年以降のものもある）、「公会日記」についても同書に同様の記述があり一致することから、三田教会所蔵の明治期における日誌・会計資料は、本マイクロ資料に網羅されているものと思われる。

「公会日記」また会計資料とも、癖の強い崩し字で書かれており、熟練者でなければ判読はかなり困難ではあるが、創立直後の会堂新築における寄付額とりわけその自給率や、草創期の諸集會動向を知る手がかりとして、たいへん貴

重なるものである。

大正期の会計史料は、『百周年記念史』にも「ほとんどない」と記されるところ、本マイクロ資料にも収録されていない。同書「資料目録」(143頁～)とさらに照合したところ、昭和期以降のもの多くはマイクロフィルム未収録であるが、フィルムの箱タイトルには「～資料 (1)」とあるところから、(2)以降が現在所在不明となっている可能性がある。

【参考文献】

- ・日本基督教団攝津三田教会編『攝津三田教会創立九十周年小史』日本基督教団攝津三田教会 1965年。
- ・『日本基督教団攝津三田教会創立百周年記念史』日本基督教団攝津三田教会 1975年。
- ・日本キリスト教団攝津三田教会編『創立百周年記念式典記録』日本キリスト教団攝津三田教会 1976年。
- ・日本基督教団攝津三田教会編『創立百十周年記念誌』日本基督教団攝津三田教会 1985年。
- ・日本基督教団攝津三田教会創立百二十周年記念誌発行委員会編『創立百二十周年記念誌』日本基督教団攝津三田教会 1997年。
- ・『創立130周年記念誌』日本キリスト教団攝津三田教会創立130周年記念誌編集委員会 2005年。

(遠藤)

I - 3. 浪花教会所蔵資料

- ・設立年：1877 (明治10) 年

○箱タイトル：浪華基督教会記録第貳部

- ・請求記号：124-C (Reel No. 1)
- ・期間：1878 (明治11) 年～1887 (明治20) 年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

○箱タイトル：日本基督教団浪花教会所蔵資料4

- ・請求記号：141-C (Reel No. 2)
- ・期間：1887 (明治20) 年・1893 (明治26) 年・1901 (明治34) 年・1908 (明治41) 年〔以上は主意・規約・条規など〕、1909 (明治42) 年～1927 (昭和2) 年〔会計帳簿類〕。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。一部画像が不鮮明。

「浪華基督教会」と「浪花教会」とが同一教会であることは、マイクロフィルム内容から確認した。

「浪華基督教会記録」においては、「第壱部」マイクロフィルムが請求記号から推して存在したと思われるが、現在所在不明となっている。「第弐部」の時期・内容からみて「第壱部」が1877 (明治10) 年創立前後の原史料であることは確実で、近畿に展開した最初期組合教会の人々の動向を知るうえでも貴重と思われる。搜索が困難であれば、現在の浪花教会の許しをえて再度マイクロフィルム化させていただくことを、考えてもよいのではないだろうか。

「日本基督教団浪花教会所蔵資料」も、マイクロフィルムの1・2・3巻 (請求記号：140Z・141A・141B) が所在不明となっており、2015年8月現在、4巻目 (141C) だけが確認されている。こちらの1～3巻も事情が許せば、再マイクロフィルム化が望まれる。

ただし今回の目録作成にあたっては、「第弐部」を Reel No.1、「所蔵資料」を Reel No.2とし、あいだに欠番をもうけなかった。発見された暁には、Reel No.を改訂する必要があるかもしれない。

内容をみれば「浪華基督教会」資料は、「明治十二年之記事」「明治十三年記事」というふうに紀年体月順で綴られるが、すべて時系列ゆえ内容は整理されず、礼拝・行事・転入会・議事・会計・統計などの報告、書状の写しなどさまざまな事柄が混在している。が、多くの出来事が混在して起り来る教会の、そ

の臨場感をよく伝える生史料だともいえる。

「浪花教会」資料は、会計帳簿類（明治期末～昭和期初頭）と、主意規約類（1880年代から1917年までのもの）、そして教会史原稿類（1897年以降折々に書かれたもの）とに大別される。自給教会としての財政基盤、各個教会が信仰告白をもつ組合教会の精神的基盤、また歴史化意識など課題をもち進んでいたことを知ることができる。大正期に突然出納帳が横書きになっており、他教会では今回調査で縦書しか見なかったため、さほど意味はないと思われるが時代の潮目への敏感な反応のようで印象ぶかかった。

【参考文献】

- ・ 澤山保羅『真理之證：雑纂實話』福音社 1888年。
- ・ 野村熊彦編『浪花基督教会歴史』野村熊彦私製 1907年。
- ・ 浪花基督教会編纂委員編『故前神醇一氏記念』浪花基督教会 1922年。
- ・ 重松柁太郎『第二の碑文』浪花基督教会 1922年。
- ・ 浪華基督教会編纂委員会編『老師を偲ぶ：杉田潮牧師記念講演集』1925年。
- ・ 芹野與太郎編『浪花基督教会略史』浪花基督教会 1928年。
- ・ 日本組合浪花基督教会編『日本組合浪花基督教会会堂建築記念』日本組合浪花基督教会 1930年。
- ・ 『日本組合浪花基督教会会堂建築記念』飯田十字館（印刷）1930年。
- ・ 芹野與太郎『祈の人澤山保羅』日曜世界社 1930年。
- ・ 澤山保羅『教会自給論』日曜世界社 1940年。
- ・ 澤山保羅述『教会費自給論』浪速基督教会 1940年。
- ・ 足立宇三郎『沢山保羅先生小伝』梅花女子大学沢山保羅研究会 1966年。
- ・ 逐刊『沢山保羅研究』梅花学園沢山保羅研究会 1968年。
- ・ 沢山保羅研究会編『沢山保羅研究会事業報告』沢山保羅研究会 1969年。
- ・ 松村介石『日本基督教界の三傑人物評：澤山保羅 新島襄 押川方義』私製、著作年不詳。
- ・ 三井久「日本組合教会について」、『キリスト教社会問題研究 第24号』所収論文 1976年。
- ・ 三井久『浪花教会講壇より』私製、第1集、第2集、第3集 1977年。
- ・ 日本基督教団大阪浪花教会編『浪花教会創立百年を迎えて』日本基督教団浪花教会 1977年。

- ・笠井秋生, 佐野安仁, 茂義樹『澤山保羅』日本基督教団出版局 1977年。
- ・梅花学園沢山保羅研究会編『日本キリスト教団大阪教会所蔵資料目録』日本キリスト教団大阪教会 1981年。
- ・『浪花教会百拾年史年表』、日本基督教団浪花教会 1987年。
- ・『浪花教会百二十年史年表』日本基督教団浪花教会 1997年。
- ・茂義樹編『澤山保羅全集』教文館 2001年。

(遠藤)

I - 4. 丹波第一教会所蔵資料

- ・設立年：1884 (明治17) 年。

○請求記号：141-V (Reel No.1)

- ・箱タイトル：丹波第一教会文書
- ・時期：1890 (明治23) 年～1895 (明治28) 年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

○請求記号：93-H (Reel No. 2)

- ・箱タイトル：基督教会係る受信 園部教会文書
- ・時期：1890 (明治23) 年5月。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

まず名称について説明する。『丹波基督教会史』(参考文献参照)があるごとく「丹波基督教会」、ないし「丹波教会」(『日本キリスト教歴史大事典』参照)と称されるいっぽうで、「丹波第一教会」とは、「丹波第二教会」との区別をはかるさいの名称であった(「丹波第二教会」については後述)。

初期の丹波伝道に貢献した著名牧師でいえば、同志社学生時代の堀貞一、また教誨師をへて家庭学校へ挺身する前の留岡幸助などであるが、それらについ

ては下記参考文献を参照していただくとして、本稿では以下おもに「広域伝道」に焦点化し述べておきたい。

地方伝道あるいは農村伝道の常で、丹波地方におけるそれも「丹波基督教会」設立当初より、すでに広域伝道がその特徴であった。1884（明治17）年の丹波教会創立当初において、その伝道域はすでに亀岡、船枝、園部、氷所、胡麻などに広げられており、船越基『開拓者と使徒たち』（下記参考文献参照）によれば、各伝道地それぞれに会堂建築をすすめつつ、1986年さらに綾部（田野村）伝道にも着手し（この詳細な経緯については先行研究がある。坂本武人「丹波地方における基督教の受容（四）—田野村を中心として—」、下記参考文献を参照されたし）、88年には福知山へもその足をのばしている（『日本キリスト教歴史大事典』では、福知山伝道は86年から）。このようにして広大な伝道域を有したが、1890年代にはいり福知山・綾部方面の信徒から分離独立の機運が起り、「丹波第一教会」マイクロ資料によれば1892（明治25）年議事にて独立が承認され、『開拓者と使徒たち』によれば翌93年、福知山で「丹波第二教会」設立となった。第二教会はその後度重なる福知山水害による打撃を受け、綾部の発展にともない中心拠点を徐々に綾部へ移しながら、1904年には「丹陽教会」と名称を変更している。

またマイクロ箱タイトルにある「園部教会」が、「丹波教会・園部部」のことであることも、以上の経緯と資料内容自体からも確かめることができる。

このような広域伝道を旨とした「丹波教会」の旺盛な伝道意欲と活力を理解するうえで、まずは丹波地方の地図が必携であり、それぞれの位置関係把握から始めなければならないことは自明の理である。と同時に、草創期における伝道地間の交通手段がどのようなであったかも、押えておく必要がある。

なお現在の丹波新生教会は、この「丹波教会」の流れをくんでおり、亀岡・園部・胡麻・須知の広域に4拠点をもち、農村地域と都市近郊を合せた、いわゆる「伝道圏伝道」に取り組む教会である。「伝道圏伝道」構想とは、1970年

代宣教研究所により提唱されたもので、丹波新生教会はその構想をもとに4拠点を統合し新たに設立された教会として、共同展開をはかってきた。ただしその源流は、すでに明治期にみられた、当資料における「丹波第一教会」を中心としたやはり広域伝道構想にみられる意欲と活力にあった、ともいえる。

【参考文献】

- ・丹陽基督教会編「丹陽基督教会沿革並ニ会堂新築収支」丹陽基督教会（綾部）1924年。
- ・『丹波基督教会史』丹波基督教会（谷平吉）1934年。
- ・村島渚編『丹陽教会五十年史』丹陽基督教会 1943年。
- ・岩井文男「丹波地方における基督教の受容（一）、—その教育面と井上半介翁—」、「同（二）—須知部を中心として—」、「同（三）—氷所部を中心として—」、住谷悦治編『日本におけるキリスト教と社会問題』みすず書房 1963年に所載。
- ・同「丹波地方における基督教の受容（四）」、『基督教研究』同志社大学神学部 1965年に所載。
- ・坂本武人「丹波地方における基督教の受容（四）—田野村を中心として—」、『キリスト教社会問題研究/第8号』同志社大学人文科学研究所 1964年4月に所載。
- ・松井文彌『丹波ヨブ記』扶桑商会 1969年。
- ・船越基『開拓者と使徒達』日本基督教団丹波教会 1970年。
- ・丹陽基督教会八拾周年記念史編集委員会編『丹陽基督教会八拾周年記念史』日本基督教団丹陽教会 1974年。
- ・室田保夫「丹波第一教会時代の留岡幸助」、『キリスト教社会問題研究/第26号』所載 1977年12月。
- ・『丹陽教会九拾周年記念誌』日本キリスト教団丹陽教会 1983年。
- ・『合同三十周年記念誌／丹波新生教会のあゆみ』丹波新生教会 2003年。
- ・『教団新報 第4797・98号』日本基督教団 2014年に所載記事「農村伝道に関する協議会開催を報告」、並びに「第9回『農村伝道に関する協議会』」

(遠藤)

I - 5. 岸和田教会所蔵資料

- ・ 設立年：1885（明治18）年。
- ・ 請求記号：141-W（Reel No. 1）
- ・ 箱タイトル：岸和田教会文書 4 冊
- ・ 期間：1886（明治19）年～1902（明治35）年。
- ・ リール数：1
- ・ 状態：ふつう。

リール冒頭「昭和62年12月整理」とあり、リール中に 4 簿冊を収録。

渡米した旧岸和田藩主岡部長職のたつての願いをいれ、新島襄が岸和田伝道にとりかかるのは1878（明治11）年、その初めより「時習社（あるいは時習舎）」の助けがあったと、当時岸和田へ夏期伝道に赴いた神学生山崎為徳が述べている（『岸和田教会百年史』17頁）。時習舎の中心であった山岡尹方は、岡部長職から新島へ、とくに岸和田で訪ねるよう紹介があった人物で、新島らの岸和田伝道を助ける急先鋒となった。彼の受洗（明治15）が契機となり、1885（明治18）年の岸和田教会設立につながっていく。

マイクロ資料にある「岸和田基督教会主意」は、設立式次第に「教会之主意 約束朗読」と記されている（『百年史』51頁）が、そこで読まれたものか。またマイクロ資料 4 簿冊めには山岡と時習舎についての記録がある。これは新島らの岸和田伝道を助けた組織を、さらに発展的に教育団体化する目論見だったと見うけられる。

【参考文献】

- ・ 『七一雑報』 雑報社、1875年創刊、1883年まで。復刻版が不二出版より1988年に出版されている。
- ・ 『岸和田教会百年史』 日本基督教団岸和田教会 1993年。

（遠藤）

II - 1. 安中教会所蔵資料

- ・設立年：1878（明治11）年。
- ・請求番号：141-E（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：安中基督教会会員名簿
- ・期間：1911（明治44）年～1949（昭和24）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

1 簿冊のみ。表紙に「明治四十四年第八月 安中基督教会々員簿」とあり。柏木義円によるものとされる。「事故」「授洗者」「受洗年月」「住所」「姓名」の項目が設けられている（編入者は「授洗者」「受洗年月」の項目に「○○教会より編入」と記述される）。「明治十一年三月三十日」（受洗年月）に「新島襄」（授洗者）より受洗し「昭和七年六月七日永眠」（事故）した「安中」（住所）の「湯浅治郎」（姓名）より名簿がはじまっており、続いて新島襄より受洗した男女三十名の氏名が記述されている。次に「グリーン」より「明治十一年九月二十五日」に受洗した14名の氏名が記述される。横浜でのリバイバルの影響を受けての1883年5月6日の海老名弾正と授洗者とする35名の受洗、集中伝道による1907年の柏木義円を授洗者とする64名の受洗といった事象を会員簿から数値的に知ることができるなど、授洗者や受洗者の人数から当時の伝道の様子を知る上で貴重な資料であるといえよう。

「受洗年月」順に記載がなされているようであるが、「事故」（例えば「永眠」）などは加筆されたものであり、多様な筆致で書き加えがなされている。執筆者は柏木義円とされるが、大正期以降筆致に変化が見られること、「授洗者」の項目に書かれる氏名が「柏木義円」から「柏木牧師」と変わるなどから、執筆者が他の人物に変わったものと思われる（「柏木隼雄氏」との記述もあることから柏木義円である可能性は低いと思われる）。1936（昭和11）年

に再び筆致と氏名の記述が変化し（「柏木義円牧師」）、翌年に再び変化（「柏木隼雄」）し、項目や体裁も変化していく。この会員簿の執筆主体をどのような人物がになってきたのかは定かではないが、受洗年月に関していえば安中教会の創立時（1911年）から戦後（1949年）に至るまで書き継がれた貴重な資料であるといえる。

【参考文献】

- ・新保満編『安中教会年表』私製 1957年。
手書き。「一九五七年七月及び八月の二度にわたる調査」によって編集された。『安中教会史』（1988年）に転載されたものは一部であり、詳細な年表が典拠も付して記述されている。年表のいわば完全版といえる。
- ・江川栄『安中基督教会八十年の歩み—明治十一年—昭和三十三年—』安中基督教会 1958年。
小冊子。1939年から1970年まで牧師を務めた江川栄による教会小史。
- ・創立百年記念文集出版委員会『播かれし種は生え育ちて』日本基督教団安中教会 1985年。
- ・新島学園女子短期大学、新島文化研究所『安中教会史——創立から100年まで』日本基督教団安中教会 1988年。
教会史であるが、問題と課題によって章分けをした研究論集ともいえる。年表あり。年表は前編、後編に分けられているが、前編は新保満編『安中教会年表』を一部転載したものである。また、「安中教会所蔵資料目録」が付されており、本マイクロ資料の原本も掲載されてる。

（水内）

II-2. 高崎教会所蔵資料

- ・設立年：1884（明治17）年。
- ・請求記号：118-G（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：日本キリスト団 高崎教会所蔵文書
- ・期間：1883（明治16）年～1889（明治22）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

マイクロフィルムの箱に簡単な目録あり。収録されている資料は、いずれも手書きの一次資料。「上毛高崎倉賀野伝道史」「西群馬伝道誌」「西群馬教会紀略」「西群馬教会史」は、高崎教会初代牧師である星野光多の手による、高崎伝道および西群馬教会経営にあたっての日誌である。はじめて高崎に赴いた1883(明治16)年7月6日から始まり、1884年の西群馬教会設立、1888年5月の辞任に至るまで、1884年の一部、1886年、1887年の記述が抜けているものの、高崎教会の黎明期の様子を知ることができる。教会信条の制定、独立教会としての活動、リバイバル、迫害事件、組合教会への加入など、様々な出来事が日次的に記述され、当時の様子を知る貴重な資料であるといえる。「教会公私日記」は教会執事であった大谷右衛門による日誌であり、1889年の1月1日から記述がなされているが、9月1日で途切れている。集会、祈禱会への参加者が減少し、除名者が増える中、牧師もなく、教会の停滞期の資料といえる。本マイクロ資料には収録された資料は、いずれも高崎教会の黎明期を知るうえで貴重な資料であるといえよう。

いずれの表紙にも「一号」「三号」「四号」「七号」「九号」と番号がふられており、元々一種の資料群の一部であったという可能性がある。本マイクロ資料は1883年から1892年までの伝道史、教会史を記述されたものが収録されているが、丁度号数が欠けている部分に対応するように記述が欠けている。元々資料はないが、記録がない部分があることを示すため、あえて欠号のある番号をふったという可能性もあるが、「二号」(1884年5月26日～12月)、「五号」「六号」(1886年～1887年)、「八号」(1888年6月～12月)の資料があったが散逸したと考えるのが妥当ではないだろうか。

マイクロ中の調書に「高崎教会牧師栗原昭正氏来所 '83.8.25 人文科学研究所第一研究」とあり、栗原が中心となって執筆し、翌年5月刊行された『日本キリスト教団 高崎教会百年小史(明治・大正篇)』に関連して調査が行われたと思われる。

【参考文献】

- ・『日本キリスト教団 高崎教会百年小史（明治・大正篇）』日本基督教団高崎教会 1984年。
- ・『日本キリスト教団 高崎教会百年小史（昭和篇）』日本基督教団高崎教会 1986年。唯一の教会史。明治・大正篇では1883年から1935（昭和10）年まで、昭和篇では1936年から1986年までの記述がなされている。いずれも年表あり。明治・大正篇の1883年から1892年までは本マイクロ資料に収録されたものを資料として記述されている。

（水内）

II－3．原市教会所蔵資料

- ・設立年：1886（明治19）年。
- ・請求記号：140Q～U（Reel No. 1～5）
- ・箱タイトル：原市教会所蔵資料
- ・期間：1886（明治19）年～1963（昭和38）年。
- ・リール数：5
- ・状態：ふつう。

マイクロフィルム冒頭には「原市教会資料／安中市 半田家所蔵」、「昭和52年8月 探訪」、「昭和52年10月整理」、「教会記事（7冊）、会計簿（28冊）、会員名簿（2冊）、領収書（1冊）、書籍貸付（1冊）」とマイクロ化内容が整理されている。

リール数は5巻。当該資料では、マイクロフィルム内に5巻を一貫する簿冊番号が振られており、番号ごとにそれぞれの内容題も付されていた。今回目録作成にあたってはリールごとに簿冊番号を1から振っており、原市教会にかんしては、マイクロ作成時に振られた1から42までの通し番号は「備考」列に記した。また、もともとの簿冊表紙に記された表題を目録「簿冊名」列に、マイクロ化されたさいの内容題を「備考」列に記した。

さて内容概略を述べれば、1巻が1886年から1947年までの教会記事録（欠落

は1913 年のみ)、2～4 巻が創立前からの会計帳簿類(抜けはあるものの1951 年まで)、4 巻の最後と5 巻のはじめに歴代教会員名簿、5巻はほかに会計帳票や戦後起った牧師と役員会間問題にかんする資料、また安中教会歴史資料などが混在している。

原市教会の創立は、1879(明治12)年安中教会正教師に赴任した海老名弾正による伝道に端を発する。その後伝統的地域文化との軋轢や迫害を経験しつつ、安中教会の一伝道拠点的な位置で創立に先立つ1885年、日曜学校開設、会堂建築を果す。当該資料を所蔵していた半田家とは、この時期から原市伝道の中心的信徒であった半田宇平次の一族である。また、安中教会の中心人物湯浅治郎の妻の実家が、原市の真下家であったことも、ここが伝道拠点化するひとつの要因だったようだ。教会創立は会堂建築から1年9か月後の1886年10月。

当該マイクロ資料の教会記事録並びに会計帳簿類は、この創立前後時期から昭和の敗戦後までの長きにわたり歴代の執事が記録し残した一次史料群で、その史料価値はきわめて高いと感じさせる。

以下、細かいが印象に残る点を列挙する。教会創立後の組合教会・一致教会合同にかんする意見のやりとりなど、半田家が中心となっている。戦後、牧師・役員会間に問題が生じたさいにも、書記半田均など半田一族が調停に尽力したようで、一族の存在感は明治から昭和期にいたるまで大であったことをうかがわせる。通し番号2 資料に、草創期地方教会の葬儀報告、日本伝道会社とのやりとり資料がある。共愛女学校と関係する「レプタ会」という興味深い婦人の会が草創期に催されていたが、『原市教会百年史』には記載がないように見受けられる。同7 資料に活字資料「日本組合基督教会毛越部会規約」がはさまれている。毛越部とは群馬・新潟・長野の三県に栃木の一部を加えた組織らしい。同25、「自給伝道者高橋壱三郎氏」の記載。同30、「上毛婦人会」の記述がある。同40の画像に「同志社総長湯浅八郎／同志社創立六十周年記念臨時事業部」と印刷された、大封筒らしいものが写っており、資料はそれに入っていたと思わ

れる。

【参考文献】

日本基督教団原市教会編『日本基督教団原市教会創立八十周年記念誌』日本基督教団原市教会 1965年。

日本基督教団原市教会編『原市教会百年史』日本基督教団原市教会 1986年。

(遠藤)

III-1. 新潟教会所蔵資料

- ・設立年：1886（明治19）年。
- ・請求記号：135-P、176-Z、177-A、187-1、187-2、188、189
（前から順に Reel No. 1、No. 2、No. 3、No. 4、No. 5、No. 6、No. 7）
- ・箱タイトル：「新潟教会月報」「教会規則認可申請書」
- ・期間：1892（明治25）年～1971（昭和46）年。
- ・リール数：7
- ・状態：ふつう。ただし一部汚損。

7リール中6リールが『新潟教会月報』を収録している。Reel No. 1～3に第1号（1915年）から第319号（1957年）までが収録されている。『新潟教会月報』は、第11代牧師長田時行により着任早々に創刊され（長田の着任は1914年）、314号（1944年）に『新潟教会報』と改称、315号（同年）をもって一時廃刊となったが、1950年に「再刊号」として316号が刊行され、その後も不定期であるが刊行された。Reel No. 4、5にもReel No. 1～3と重複して『新潟教会月報』が収録されているが、複写担当者の手が写り込むほか、リール内でも重複があるなど、複写状態が悪い。ただし、Reel No. 1～3とは異なる原本を複写したものもあり、欠号を一部補うことができる。Reel No. 1～3と4～6とは別個の調査で収集されたものと思われるが、Reel No. 4～6には、いずれも「日本基督教団新潟教会 1984.8.13～14」とのみ記された調書が付されてい

る。

Reel No.5 には『新潟教会月報』（および『新潟教報』）のほか、家田作吉の自叙伝『感恩録』（全4巻）と、「明治二十五年起」の『教会史』、『聖業七十年の歩み——日本基督教団新潟基督教会略史』、中井和世『新潟教会史—八十五年の軌跡とその周辺—』など教会史群が収録されている。

家田作吉は、上述の長田牧師が牧師就任以前、1891年に新潟へ巡回伝道のさい、新発田教会にて洗礼を受けた人物で、新潟教会の支柱であった人物である。特に第8代牧師宍戸元平が東京へ引き上げたのちの無牧時代を教会執事として支えたとされる。

『聖業七十年の歩み——日本基督教団新潟基督教会略史』は、1956年に刊行されたものであるが、本資料が収集された1984年の段階では唯一の新潟教会の通史であった。

中井和世『新潟教会史—八十五年の軌跡とその周辺—』は、15代牧師中井佐一郎の子息である中井和世による教会史の手書き原稿である。1971年より執筆が開始されたが、1977年に筆者が病床に伏し、執筆が中断された。この原稿は、丁度本資料が収集された1984年に創刊された、新潟教会の年刊の機関紙『瀧』に順次掲載されている。

Reel No.7 は、上記の中井和世『新潟教会史』の続きに加え、『教会規制認可申請書』と題された書類群、および複数の新潟教会関係の写真群が収録されている。写真群のあとに空白のフィルムが続き、『黒川村役場所蔵文書1』と題された資料が収録されているが、こちらは新潟教会とは別件の資料と思われる。

【参考文献】

- ・『聖業七十年の歩み——日本基督教団新潟基督教会略史』日本基督教団新潟教会 1956年。小冊子。
- ・『写真で見る新潟教会の歩み——1886-1986 創立100周年記念』日本キリスト教団新

瀧教会 1986年。

写真資料を中心とする教会史。写真には脚注があり、また年表も付されているため、写真集ではなく、あくまで教会史である。また、出典・資料提供者一覧が付されている。

- ・本井康博『近代新潟におけるプロテスタント——日本キリスト教団新潟教会創立百二十年記念』思文閣出版 2006年。

本井康博の30年間にわたる新潟教会研究をまとめたもの。書き下ろしも一部あり。

(水内)

III－2．長岡教会所蔵資料

- ・設立年：1888（明治11）年。
- ・請求記号：141F（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：長岡教会所蔵資料
- ・期間：1922（大正11）年～1937（昭和12）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

フィルムのひとつが機関紙『北斗』であり、一部昭和初期の逢坂信忍牧師に関連する資料が挿入されている。フィルムに収録されている調書に「昭和52年9月土肥昭夫教授蒐集 昭和52年10月16日整理（杉井）」とある。

『北斗』の創刊および廃刊が何年になされたかは定かではないが、少なくとも本資料に収録されている第11号（1925年）から第120号（1937年）までの期間は、長岡教会史においては逢坂信忍牧師時代（1921年～1939年）と重なる。逢坂は無牧であった長岡教会に新潟教会の牧師、長田時行の誘いに応じて着任し、その再興に取り組んだ。『長岡教会百年史』によれば、その活動は「今の長岡教会員にとっては、彼こそが教会の実質的な創立者である」とされるほど、「空前絶後」のものであったという。

逢坂は、彼が着任する前年に全焼した長岡教会の会堂建設をはじめとして、

幅広い社会活動を精力的に行っている。『北斗』の誌上からもそれはうかがえるが、本資料にはそのほか、禁酒会や廃娼活動、婦選活動に関する資料が収録されており、その活動の一端を知ることができる。

『長岡教会百年史』の「あとがき」によれば、1945年8月に空襲により教会が消失したさい、当時の牧師菱本与吉郎が、逢坂が残した資料を戦火から守ったとされており、「特に『北斗』を残してくださいました」としていることから、本資料は逢坂が残し、菱本が守った当該の資料と思われる。

本資料に収録されている資料の多くは、『長岡教会百年史』に収録されており（手書き史料や活字資料への書き込み等から同一のものと思われる）、教会史との関連をうかがわせる。

【参考文献】

- ・本井康博、西八条敬洪編『長岡教会百年史』日本キリスト教団長岡教会 1988年。
唯一の教会史。第1部は、逢坂牧師時代以前のいわば前史を外部の資料から描き出した本井康博による論文「明治期長岡の社会と文化——キリスト教を通してみた」、第2部は1988年当時の長岡教会の牧師、西八条敬洪が長岡教会の週報に教会史について執筆したものをまとめた「長岡教会百年の歩み—長岡教会週報より—」、第3部は、逢坂以降、それぞれの牧師ごとの年表となっているが、教会の躍進期である逢坂信恐牧師時代と戦後の再建期である田中金造牧師時代については関連史料が付されている。本資料が所収されているのはこの年表の関連資料部分である。

(水内)

IV-1. 高梁教会所蔵資料

- ・設立年：1882（明治15）年。
- ・請求番号：142-A～C（Reel No. 1～3）
- ・箱タイトル：高梁教会所蔵文書（I）～(III)
- ・期間：1893（明治26）年～1945（昭和20）年。
- ・リール数：3
- ・状態：ふつう。

会員簿、領収簿類の資料と、赤木文庫に関する資料、共有墓地に関する資料が収録されている。「日本基督教団高梁教会所蔵資料総目次」と題された3枚綴りのレポート用紙が付属しており、末尾に「昭和四十六年十一月 調査 竹中正夫・坂本武人」「昭和四十七年一月 整理 杉井六郎」と注記がある。下記参考文献中の大濱氏の1985年1月の所蔵調査による目録によれば536点の資料の所蔵があるとされているが、本マイクロ資料の収録されたのはその一部(52点)。

赤木文庫は、留岡幸助にキリスト教を感化したとされ、高梁教会の創立に関わった一人とされる赤木蘇平の逝去に伴い、設立が計画された記念文庫である。『八十年史』『百二十年史』いずれにも記述がないため、全容及び現状は不明である。

共有墓地に関する資料に見られる「留岡金助」は、留岡幸助の養父と思われ、1892年当時共有墓地の管理者を務めていたことなどが伺える。

【参考文献】

- ・留岡幸助『赤木蘇平翁』警醒社 1905年。
- ・伊吹岩五郎『日本組合 高梁基督教会五十年史』高梁基督教会 1932年。
小冊子。「教会の独裁的柱石」(『八十年史』37頁)とされる伊吹岩五郎による著作。
- ・『高梁教会八十年史』高梁基督教会80年周年中央編集委員会 1962年。
編年体。年次ごとに教会日誌や週報などを引用。
- ・『高梁教会創立百周年記念』日本基督教団高梁教会 1982年。
全編ほぼ写真によって構成される。本マイクロ資料に収録された資料の表紙の写真が多数掲載されている。簡単な年表あり。
- ・大濱徹也「日本基督教団高梁教会所蔵資料目録 高梁基督教会創世記一解題にかえて一」『北方科学調査報告』7号 筑波大学 1986年。
- ・一色哲「研究ノート キリスト教と自由民権運動の連携—岡山と高梁を中心に—」『キリスト教社会問題研究』43号 1994年。
- ・『高梁教会百二十年史』高梁基督教会120年史編さん委員会 2002年。
『八十年史』を復刻したものに、体裁を倣った「80～100年史」「100～120年史」を加えたもの。最も基本的な資料といえるか。

(水内)

IV-2. 津山教会所蔵資料

- ・設立年：1890（明治23）年。
- ・請求記号：CS110-P（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：津山教会関係資料
- ・期間：1893（明治26）年～1945（昭和20）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

教会記録が中心となる。「青年会誌」は津山中学校基督教青年会の1908（明治41）年から1910年までの三年間の活動記録である。『津山教会百年史』の「資料編」に全文翻刻がなされ掲載されている。「教会記録」は1903年から1923年まで6簿冊収録されており、いずれも日付を付して記述がなされる。「青年会誌」「教会記録」はいずれも冊子体で複写が同志社大学人文科学研究所に所蔵があり、保存状態も良好である。「教会記録」に関しては本マイクロ資料に収録のない時期のものも冊子体で所蔵がある。

津山教会に関する資料は、同じ装丁で「津山基督教会資料」と印字された冊子体の複写資料（手書きの筆写資料も含む）が二十部近くあり、一種の資料群をなしている。これらの資料の一部は『津山教会百年史』の「資料編」に翻刻がされており、教会史編纂との関連を思わせる。

【参考文献】

- ・『津山教会百年史』日本基督教団津山教会 1991年。
「歴史年表」「資料編」「写真頁・その他」で構成される。資料編には本マイクロに収録されている資料のほか、数多くの資料が所収されている。

（水内）

IV—3. 久世教会所蔵資料

- ・設立年：1905（明治38）年。
- ・請求記号：CS 110-O（ReelNo. 1）
- ・箱タイトル：久世教会関係資料
- ・期間：1902（明治35）年～1961（昭和36）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

久世教会を実質的に支えたとされる小松鉄一郎（1867-1934）に関する資料が多くを占め、その大部分が手書きの一次資料である。小松は同志社大学卒業後、岡山県大庭郡書記となり、同郡川東村村長をつとめ、引退後も済世顧問として地域に貢献したという。久世教会の設立から運営まで積極的に関わっており、「久世教会は……短い牧会時代を除いては、数十年間ほとんど先生〔小松〕が独力で牧会ならびに教会維持の重圧にあたられた」（『小松鉄一郎翁書翰集』）とされている。

「文稿」と題された簿冊が収録されているが、これは小松による手記であると思われる。多くの記事にタイトルと日付と「小松鉄一郎」という記名がされている。内容としては、「作美線落合久世中間停車場設置請求書」などの文書の下書きや、「[結婚式の祝辞]」「悴立夫紀念之辞」「山下場長送辞」などの口頭原稿、「昭和五年六月二十九日ノ日曜説教」などの説教の原稿が挙げられる。「無教会信徒の死」「岡山に於ける神の国運動」「新年早々つよく私の心を動かした手紙」「信仰あるものは急がず」などと題されたものは、小松の所感を記したものか、説教の原稿なのかは定かではない。そのほか簿冊には書簡等が挟み込まれている。

リールの後半は「広報久世」と題された簿冊であり、久世町報道委員会が出版している久世の地方誌『広報久世』が所収されているが、5号程度がバラバ

ラにつづられており、網羅的に収集したものとはいえない。同簿冊には「久世風土記」とシリーズ名がうたれた手書き原稿が綴られており、原稿用紙に「久世町原稿報道用紙」とあり、『広報久世』との関連性をうかがわせる。『広報久世』に連載された「久世風土記」という記事の原稿という可能性が高いが、簿冊に綴られている『広報久世』には該当する記事は見当たらない。「久世風土記」の全編が綴られているわけではないため、その内容の全容を知ることは出来ないが、小松を主人公に据えた明治・大正期の久世町史であると思われる。この資料の収集がどのような方針で行われたのかは不明であるが、結果として資料の中心は小松に関するものである。所収の資料として「小松先生の追憶」があるが、これは1962年に久世教会で行われた「小松先生記念集会」の記録であり、小松がその死後も久世教会に大きな存在感をもっていることを窺わせる。

久世教会についてはまとまった教会史などは編纂されていない様子であるが、『久世町史』によれば「信徒名簿」なども現存しており、同志社大学神学部には教会報の所蔵もある。

【参考文献】

- ・『日本基督教団久世キリスト教会報』

同志社大学神学部所蔵。非売品。1931（昭和6）年10月号から1933（昭和8）年末号までを所収。手書き資料の複写物である。「小松一言」などの記事が何え、久世教会における小松の存在の大きさを示すものといえる。

- ・『久世町史』久世町教育委員会 1975年。

「第九章 久世の宗教生活」において記述がある。

- ・『岡山教会百年史』日本基督教団岡山教会 1985年。

岡山聖書伝道会による布教により、美作久世教会が設立されたという記述あり。

- ・小松鉄一郎『小松鉄一郎翁書翰集』小松鉄一郎書翰集刊行会 1958年。

小松鉄一郎の書翰集。簡単な略歴が記述されている。

(水内)

IV－4．倉敷教会所蔵資料

- ・設立年：1906（明治39）年。
- ・請求番号：110-Z～111-D（Reel No. 1～5）
- ・箱タイトル：倉敷教会所蔵資料
- ・期間：1875（明治8）年～1946（昭和21）年。
- ・リール数：5
- ・状態：ふつう。

同志社大学人文科学研究所に「倉敷教会所蔵資料目録」と題した紙媒体の目録の所蔵があり、「昭和47年〔空白〕月採集（竹中正夫、坂本武人）、昭和47年7月整理（杉井六郎）」という注記あり。「通番号」1～273、「分類番号」100～800をそれぞれの資料に付している。1～8の分類番号ごとに資料群として分類されており、1. 教会成立関係資料、2. 財団法人関係資料並教会員名簿、3. 倉敷教会会計報告、4. 重要記録、5. 生命 キリスト教生命社（キリスト教青年会）、6. 倉敷基督教会週報、7. 永眠者履歴書類並に其の関係書類、8. その他、として、それぞれの分類にタイトルも付されている。

資料の内容は基本的に分類タイトル通りとなっている。1. 教会成立関係資料は、倉敷教会の成立にいたるまでの概略、伝道史を記したもの、および1923（大正12）年の新会堂建設、1925年の財団法人認可に関わるが収録されている。2. 財団法人関係資料並教会員名簿は、財団法人認可後を中心に、事業報告及び名簿類が収録されている。3. 倉敷教会会計報告は、成立当初から1940年代に至る会計報告が収録されている。4. 重要記録は、「明治44年重要記録」から「昭和21年重要記録」まで、年毎に重要記録を収録している。ただし、全ての年を網羅しているわけではなく、特に大正期は大正13、14年しか収録されていない。「重要記録」とされているが、その基準は定かではなく、多様な資料が収録されており、他の分類のものと重複しているものもある。5. 生命

キリスト教生命社（キリスト教青年会）は、倉敷教会青年会報『生命』が収録されている。6. 倉敷基督教会週報は大正期後半から昭和前期にかけての週報が収録されている。7. 永眠者履歴書類並に其の関係書類は、永眠者の書簡等が収録されている。

【参考文献】

- ・高戸猷『倉敷基督教会略史』倉敷基督教会 1935年。
- ・『世を生きる教会——倉敷教会創立六十周年記念文集』日本基督教団倉敷教会 1966年。
- ・同志社大学人文科学研究所第1研究編『倉敷教会所蔵資料目録』同志社大学人文科学研究所第1研究 1972年。
- ・竹中正夫『倉敷の文化とキリスト教』日本基督教団出版局 1979年。
- ・『倉敷教会百年史』日本キリスト教団倉敷教会 2011年。

(水内)

V. 宮崎教会所蔵資料

- ・設立年：1887（明治30）年。
- ・請求記号：123-A（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：宮崎教会関係資料
- ・期間：1920（大正9）年～1964（昭和39）年。
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう。

宮崎におけるキリスト教伝道に尽力したC・A・クラーク（1851-1933）の伝記、著作、書簡、1924（大正13）年のクラークの帰国に関する雑誌記事、クラークの銅像設立に関する書類・書簡などが資料の中心となっている。

クラークは1887（明治20）年、O・H・ギュリックの招きにより、熊本に來任し、熊本英学校教師として迎えられ、1891年に宮崎に着任、高鍋を拠点とし

て布教を行った、その後、宮崎教会所属の沢村重雄牧師とともに宮崎県下の教会および集会所の設立をすすめ、宮崎教会を中心に伝道に尽力した。1924年、73歳で隠退し、アメリカへ帰国。1933（昭和8）年に81歳で他界した。

本資料にはC・A・クラークについての伝記が二点収められているが、一点は宮崎教会編のもので、1933年のクラークの他界を受けてのものと思われる。もう一点は手書きの原稿で「南日本の開拓伝道者 C・A・クラークの業績 溝口貞五郎」と題されている。著者溝口貞五郎は都城教会（現妻ヶ丘教会）、延岡教会の牧師であり、クラークと親交があったとされる。この伝記は未刊行のものであり、塩見耕読「宮崎教会前史」『宮崎教会と私一九〇周年記念誌一』によれば、原資料は溝口貞五郎の子息、元神戸女学院大学学長である溝口靖夫氏が所蔵しており、1979年頃に「同志社人文科学研究所がコピーをとり、現在同研究所の蔵書として収められている」とされている。冊子体のもは所蔵がなく、本マイクロ資料が唯一の所蔵である。本資料表題が「関係資料」とされているのは、教会所蔵の資料のみを収集したものではないことを示唆する。この伝記の情報は同志社大学の竹中正夫教授が1979年頃に宮崎教会を訪問したさいに情報が伝えられたとされ、本資料所収のものの一部はその訪問にさいして収集された可能性がある。

【参考文献】

- ・日本基督教団宮崎教会創立七十周年委員会編『日本基督教団宮崎教会 創立七十周年記念誌』日本基督教団宮崎教会 1959年。
小冊子体。「編集後記」によれば、資料のとほしさから、「概略と現況報告」を編集方針とし、「教会に関係ある写真を集める事を第一にしよう」という方針により、前半部がすべて写真によって構成されている。後半部は「宮崎教会小史」としており、「資料がないので、時代時代の特徴を上げて後代の参考に供するという方針」をとっており、1978（明治11）年の新島襄、小崎弘道による日向伝道からはじまる宮崎教会の概略と、1959（昭和34）年現在の現状までが記述されている。資料としては、松本宗吉牧師寄贈の『日向教報』（1911-1921）が唯一最大のもので、松本牧師をはじめとする牧師たちの「当時の思い出」が参考されている。

- 日本基督教団宮崎教会九十周年史小委員会編『宮崎教会と私一九〇周年記念誌一』日本基督教団宮崎教会 1985年
表題に「宮崎教会と私」とあるように、「七〇周年以後の二〇年間（一九六〇～七九年）の歩みを中心に、教会員の殆んど全員が自分と宮崎教会とのかかわりを執筆した「いわば「皆で書いた教会の歴史」といえる」ものとなっている。一方で、「十年後の百周年に備えることを考え」、「同志社大学神学部図書室と同志社大学人文科学研究所」において調査を行ったとされる。「大海に小石を拾うような困難な作業」ゆえにまとまった「九〇年史」とはならなかったが、その成果としては「宮崎教会年表」として所収されている。現在、宮崎教会の歴史について最も詳細な年表である。また、調査により発覚した個別の史実が序文や附録の「宮崎教会前史」に記述されており、今後の課題なども提起されている。
- 日本組合宮崎基督教会編『サイラス・エ・クラーク先生』日本組合宮崎基督教会 1934年。
本資料所収のものであるが、同志社大学神学部図書館に所蔵あり。
- 猪俣隆雄『愛の歲月記——宣教師C・Aクラーク』本多企画 1990年。

(水内)

以上

(第18期第1研究会による成果)

I - 1 神戸教会所蔵資料

神戸基督教会資料 Reel No. 1 (請求記号: 140V)

番号	表題	作成年	備考
1	教会月報 No.1	1899(M32)年1号 ～1902(M35)年38号	<p>明治32年10月第一号創刊、牧師は原田助。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宗教取締令」への対応(明治32年)。 ・神戸女学院、頌栄幼稚園、神戸青年会の記事(同年)、とりわけ神戸女学院記事はほぼ毎号掲載。 ・神戸婦人矯風会、共励会などの記事も(同年)。 ・「神戸教会婦人会規約」並びに「役員諸姉」記事(同年)。 ・松村介石、海老名弾正演説会(明治33年)。 ・原田助渡米英欧(明治33年)。 ・教会内各組織の報告、個人消息、会計報告等の記事(毎号)。
2	教会月報 No.2	1903(M36)年39号 ～1904(M37)年60号	<ul style="list-style-type: none"> ・「三十年会」「三十年期委員会」「歴史委員会」の組織。 ・共励大会、矯風大会記事(明治36年)。 ・「ハウ女史の帰国」記事(同年)。 ・「社団法人神戸教会」記事(同年)。 ・「神戸教会現在会員組別一覧」記事(同年)。 ・「メサイヤ大演奏会」(日本人の教会で本邦初と謳う)記事(明治37年)。 ・「三十年紀に至る教会員数及常費集金額一覧」記事(同年)。 ・「神戸奉公同志会」*日露戦争出征軍人慰問等、発起人:神戸基督教会連合婦人会・神戸親和会・神戸基督教育青年会記事(同年)。 ・「臨時總會/軍国多事の際に付来四月の三十年期は祝会を廃し単に記念会とし」の記事(同年)。 ・「日曜教壇朝之部『帝国の使命』原田牧師」記事(同年)。 ・出征中、渡満中などの信徒からの書簡記事(同年)。 ・「奉公同志会の演説会/横井時雄氏/当教会に大演説会」の記事(同年)。 ・「日曜学校報告/毎日曜平均人数二九三(七六増)」(同年)。
3	教会月報 No.3	1905(M38)年 1月61号 ～1906(M39)年12月 83号	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅順陥落祝賀会/奉公同志会の催/教会堂に於て」記事(明治38年)。 ・「溝手副牧師の辞職/備前香登教会を設立/石井十次、安部清造両氏より/婦任を依頼」(同年)。 ・「神戸奉公同志会の戦死者記念追悼会/当教会に執行/来会者六百名を超えたり」(同年)。 ・「神戸女学院卒業式」「頌栄幼稚園卒業式」記事(同年)。 ・「原田牧師の渡清/教育大会及共励大会に出席の為め」*直後朝鮮視察へ(同年)。 ・「韓国伝道の情況一斑/原田牧師の韓国視察報告抄出」(同年)。 ・「神戸孤児院の感謝会/明治二十二年同院が貧民救済事業として創立」の記事(同年)。 ・「女学院の三十年期と合併祈禱会」記事(同年)。 ・「原田牧師の印度行/印度基督教育青年会は/日本基督教育青年会同盟に申込み」*同盟は原田牧師を適任と要請(明治39年)。 ・牧師不在中の弁士(予定)「本田庸一君、平岩愼保君、綱島佳吉君、高木壬太郎君、海老名弾正君、姉崎博士(他)」(すべて実現/同年)。 ・「日曜講壇」記事、中、小崎弘道、湯浅吉郎、生江孝之、本間俊平、吉崎彦一、留岡幸助の名あり(同年)。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「軍人遺族ののための寄付金」記事、前年クリスマスに神戸区・葦合区の軍人遺族を(湊東・湊西・兵庫区などは多聞・兵庫教会が)招待した。 ・「第二十二回組合教会総会」記事(同年)。
4	教会月報 No.4	1907(M40)年1月84号 ～1908(M41)年12月105号	<ul style="list-style-type: none"> ・「原田牧師辞職始末」記事(明治40年)、同志社理事会在が39年11月同志社社長に原田を推挙、12月総役員会並びに臨時総会で神戸教会はこれを承認。 ・「牧師選定委員会」記事中、渡瀬常吉牧師招聘を決定とある(同年)。 ・「神戸女学院第二十四回卒業式」は講堂新築中につき神戸教会で挙行された(同年)。 ・渡瀬常吉牧師就任、接手の記事(同年)。 ・須磨講義所支援の記事(同年)。
5	教会月報 No.5	1909(M42)年1月106号 ～1910(M43)年12月127号	<ul style="list-style-type: none"> ・12月24日「聖誕節祝会」に「児童及来会大人」(約七百人)とあり(明治42年)。 ・「欧米漫遊を終て帰朝」の海老名弾正大演説会に「聴衆千三百名」の記事(同年)。 ・「神戸教会日曜学校奥平野分校」が「奥平野村一本松西南角」に転居との広告記事あり(同年)。 ・「第二十六回組合教会総会」記事中、「朝鮮伝道実行委員五人」が選出されたとの記事あり(明治43年)。

神戸基督教会資料 Reel No. 2 (請求記号：140W)

番号	表題	作成年	備考
1	教会月報 No.6	1911(M44)年128号 ～1912(T元)年147号	<ul style="list-style-type: none"> ・「臨時総会／渡瀬牧師辞任の件」(牧師の辞任を受入れ、朝鮮に送る事に決す)記事(明治44年6月)。 ・米沢尚三招聘の議の記事あり(同年10月)。 ・「奉悼号」に「敬弔之辞」など(明治天皇崩御にさいし)(大正元年10月)。
2	教会月報 No.7	1913(T2)年148号 ～1914(T3)年169号	<ul style="list-style-type: none"> ・「文部省寅兵宗七号」(明治四十五年四月四日付願財団法人設立の件許可ス)(大正3年)。 ・「本財団ハ日本組合神戸基督教会伝道財団と称ス」(同年)。 ・「創立四十年記念祝会」(同年)。
3	教会月報 No.8	1915(T4)年170号 ～1916(T5)年191号	<ul style="list-style-type: none"> ・「創立四十年記念祝会」招待状、順序、記念絵葉書など(大正4年)。 ・「御大典／奉祝執行順序／神戸市基督教徒連合親話会」(同年)。
4	教会月報 No.9	1917(T6)年192号 ～1918(T7)年213号	<ul style="list-style-type: none"> ・「半島の新日本／米澤牧師」の評論記事あり(大正6年)。 ・「元老にして、信仰の母なる前川刀白」(旧三田藩士の妻一遠藤)永眠の記事あり(同年)。 ・「会堂建築趣意書」(大正7年)。
5	教会月報 No.10	1919(T8)年214号 ～1920(T9)年235号	<ul style="list-style-type: none"> ・「組合教会新時局伝道宣言書」の紹介記事あり(大正8年)。

神戸基督教会資料 Reel No. 3 (請求記号：140X)

番号	表題	作成年	備考
1	教会月報 No.11	1921(T10)年236号 ～1922(T11)年258号	<ul style="list-style-type: none"> ・付「第廿一組 米沢牧師御外遊費御寄附」帳簿 ・「米沢牧師御外遊」(大正10～11年)。
2	教会月報 No.12	1923(T12)年259号 ～1924(T13)年280号	<ul style="list-style-type: none"> ・「大正十二年九月／震災号」「九死に一生を得て／村松吉太郎」の記事、「大正十二年十月／天災と基督教／米沢尚三」 ・「大正十三年一月～四月／創立第五拾年記念宣言～記念運動～記念号」 ・大正13年11月巻頭に「民族の世界化、国家の社会化／中島重」記事

3	教会月報 No.13	1925(T14)年281号 ～1926(T15)年300号	<ul style="list-style-type: none"> ・「星雲会」(中学・高等小学校在学者の会)報告記事(大正14年)。 ・「三田教会創立五十年感謝礼拝」記事。 ・「(神戸)女学院創立五十年感謝礼拝」記事。「我教会は十月十一日の聖日の講壇を、女学院創立五十年を祝する為に捧げた」とある(同年)。 ・「ヌーン サービス」記事。神戸教会主催、明石町の外国人教会(ユニオンチャーチ)を会場に、週日正午より礼拝。「ビジネスマン諸君の要求に応じ」とある(大正15年)。
4	教会月報 No.14	1927(S2)年301号 ～1928(S3)年322号	<ul style="list-style-type: none"> ・(大正天皇崩御にさいし)「謹而奉悼／奉悼之辞」(昭和2年) ・「臨時総会／一月廿九日礼拝後、米澤牧師辞任の件に就て」記事(昭和3年)。
5	教会月報 No.15	1929(S4)年323号 ～1930(S5)年345号	<ul style="list-style-type: none"> ・319号以降しばらく、簡易体裁の『月報』がつづく。 ・「就任の辞／鈴木牧師」(昭和4年)。 ・327～330号欠号。331号より、「原型に復す」(同年)。
6	教会月報 No.16	1931(S6)年346号 ～1932(S7)年367号	<ul style="list-style-type: none"> ・簿冊題字は「小磯良平」署名。 ・「新会堂建築運動の現状—進行しつつある募金運動—」(昭和6年)。 ・「定礎石」「定礎石には何を入れるか」(昭和6年)。 ・「組合教会総会の決議他」に満州事変の速やかな平和的解決を望み、また中華基督教連盟・日本基督教聯盟間の往復書簡が紹介されている(昭和6年)。 ・「献堂式挙行さる」(昭和7年)。 ・「社会的基督教の主張と其の運動」(同年)。 ・付録「総員礼拝／二大聖典執行」(新会堂写真付案内チラシ)(同年)。

神戸基督教会資料 Reel No. 4 (請求記号：140Y)

番号	表題	作成年	備考
1	教会月報 No.17	1933(S8)年368号 ～1934(S9)年389号	<ul style="list-style-type: none"> ・「『基督教と経済生活』／佐藤健男」(昭和8年)。 ・「新会堂献堂式を挙行」(同年)。 ・「60年記念運動／熟禱記念伝道／賀川豊彦先生大挙伝道」(同年)。 ・「神戸教会新築費収支総計算完了」(昭和9年)。 ・「60年記念式典」(同年)。
2	教会月報 No.18	1935(S10)年390号 ～1936(S11)年411号	<ul style="list-style-type: none"> ・簿冊題字「昭和十八年九月二十三日／児玉浩次郎」 ・付録「若橋武夫先生の説教と講演／『行為の宗教』／『日本より日本へ』」案内チラシ(昭和10年)。 ・「四月よりの『組合』に就て」記事(昭和11年)。 ・付録「伝道集会／講師 京都洛南基督教団主任伝道師 志村卯三郎氏」案内チラシ(同年)。
3	教会月報 No.19	1937(S12)年412号 ～1938(S13)年433号	<ul style="list-style-type: none"> ・「新年の目標／躍進伝道」(昭和12年)。 ・「250人礼拝を迎えて」(同年)。 ・「時局の認識」『皇軍慰問袋』「事変下のクリスマス」等の記事(同年)。 ・「鈴木牧師印度行／十一月中旬出帆、印度マドラス世界宣教大会に」(昭和13年)。

I - 2 摂津三田教会所蔵資料

摂津三田教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求番号：222-1)

番号	表題	作成年	備考
1	耶蘇降世一千八百八十年／ 即明治十三年一月四日／公 会日記／第三号	1880(M13)年	手書日記のところどころに、「日本基督教伝道会社派遣伝道者之月報」(活字フォーマット)がはさまれている。また整理者により「明治十三年一月／公会日記／四十九枚」と末尾に記される。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

2	公会日記	1882(M15)年	手書資料。整理者により「明治十五年一月／公会日記／三十七枚」と末尾に記される。表紙周囲破損し、判読困難。
3	■世一千八百八十四年／〔明〕治十七年一月／〔公〕会日記／八号	1884(M17)年	手書資料。整理者により「明治十七年一月／公会日記／五十五枚」と末尾に記される。表題の■〔 〕箇所は破損。
4	耶蘇降世壹千八百八十六年／即明治十九年一月ヨリ十二月／公会日記／第十一号	1886(M19)年	手書資料。整理者により「明治十九年一月／公会日記／三十四枚」と末尾に記される。
5	耶蘇降生一千八百七拾六年／即明治九年／会堂新築寄付帳	1876(M9)年	手書資料。整理者により「明治九年／会堂新築寄付帳／二十五枚」と末尾に記される。
6	明治十年／新築諸費表／第十一月	1877(M10)年	手書資料。整理者により「明治十年／新築諸費帳／十枚」と末尾に記される。
7	第五号／教会用金銭出納帳／明治拾五年／第一月ヨリ	1882(M15)年	手書資料。作成者：「執事」。整理者により「明治十五年一月／金銭出納帳／三十九枚」と末尾に記される。
8	第六号／教会用／金銭出納帳／明治拾六年／第十月ヨリ	1883(M16)年	手書資料。作成者：「執事」。整理者により「明治十六年十月／金銭出納帳／四十二枚」と末尾に記される。
9	第七号／教会／金銭出納簿／明治十八年／第四月ヨリ	1885(M18)年	手書資料。作成者：「執事」。整理者により「明治十八年四月／金銭出納帳／八十五枚」と末尾に記される。

摂津三田教会所蔵資料 Reel No.2 (請求記号：222-2)

番号	表題	作成年	備考
1	第十号教会金銭出納簿／明治二十一年第一月ヨリ	1888(M21)年	手書資料。作成者：「出納執事高松文義」。
2	第十一号教会金銭出納簿／明治二十二年第一月ヨリ	1889(M22)年	手書資料。作成者：「会計係」とのみある。
3	明治二十四年三月ヨリ同二十七年三月迄 金銭出納簿	1891年(M24年)～1894(M27)年	手書資料。作成者：「執事」とのみ。
4	明治二十七年四月ヨリ 金銭出納簿	1894(M27)年～1895(M28)年	手書資料。作成者：「執事」とのみ。
5	明治三十一年 金銭出納表／一月	1898(M31)年～1903(M36)年	手書資料。作成者：「会計係」とのみ。
6	明治四十三年五月初メ 金銭出納簿	1910(M43)年～1911(M44)年	手書資料。作成者：「会計係」とのみ。
7	摂津第三公会 姓名録	1875(M8)年～1926(T15)年	手書資料。「明治八年七月廿七日火曜日キクリキ氏ヨリ／受洗…澤茂吉」以下23名から始まる。末尾に整理者により「摂津第三公会姓名録／三十四枚／他附箋多し」と記される。
8	昭和四年九月調 故人名簿(付遺族)	1929(S4)年	手書資料。末尾に整理者により「昭和四年九月／故人名簿(一号)／(付遺族)／三十枚」と記される。
9	昭和四十三年十月 故人名簿(二号)	1968(S43)年	手書資料。末尾に整理者により「昭和四十三年十月／故人名簿(二号)／三十枚」と記される。
10	昭和四十三年十月 故人名簿(三号)	1968(S43)年	手書資料。末尾に整理者により「昭和四十三年十月／故人名簿(三号)／二十三枚」と記される。
11	一九三一年一月制定 三田基督教会条規	1931(S6)年	手書資料。作成者：「財団法人日本基督組合教会維持財団」。

I - 3 浪花教会所蔵資料

浪花教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号：124-C)

番号	表題	作成年	備考
1	浪華基督教会記録第二部	1878(M11)年～1887(M20)年	<ul style="list-style-type: none"> ・「牧師澤山保羅殿病氣ニ付養生ノ為メ外出セラル旅費トシテ一金二円十七銭ヲ呈ス」(明治11年)。 ・「三月二日ヨリ柳川旧藩邸内ニ於テ日曜学校ヲ開リ」(同年)。

		<ul style="list-style-type: none"> ・天満橋教会設立に際し執事2名転出、新執事選出(明治12年)。 ・「上帝ト律ニ背キ妻ヲ軽祿」「過日他ノ女を娶リ」「諸兄弟数度説諭」「忠告セント謀リシ」「却而貴君ヨリ断然公会ノ交際ヲ絶シ度シニ付不得止」「当教会ヨリ除名致シ」「尚隣愛ノ情不能忘」「此ノ度タリトモ貴君ノ為メ」「聖主基督ニ祈念シ他日御悔悟ノ時マデ」云々。「牧師 澤山保羅」の記事(同年)。 ・澤山牧師病気に付き「暫時ノ間西京吉田氏二十月一日ヨリ」日曜学校や礼拝説教を依頼するとの記事(同年)。 ・講義所流行病により3か月閉鎖との記事(同年)。 ・ゴールドン氏西京へ移転、レビット氏、スチープン女、ガーデナー女が代わって聖書講義、との記事(同年)。 ・澤山保羅病気により天満橋教会仮牧師を辞任(明治13年)。 ・「朝十時ヨリ牧師講釈シ午後三時ヨリ日曜学校ヲ開キ夜ハ七時ヨリ前神氏其講釈引請ケラレタリ」(同年)。 ・大阪府水害記事、浪華教会で「寝食等万般ノ救助ヲ為ス」の記事(明治18年)。 ・「明治十九年度大阪浪花教会統計表」には「一明治十年一月廿日建設、一コングリゲーション派、一最初ヨリ自給ス」などとあり、「教会員現時ノ数ノ男八十九人ノ女六十六人ノ小兒十二人ノ計百六十七人」とある(明治19年)。 ・「明治廿年 第参月」には、澤山保羅逝去、そして「埋葬式」、そこの「新島氏演説」の記事あり。
--	--	---

浪花教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号：141-C)

番号	表題	作成年	備考
1	〔教会費〕	1912(M45)年	手書資料。献金簿。信徒個別イロハ二順、一～十二月。表紙なし。
2	大正二年度 教会費	1913(T2)年	手書資料。献金簿。信徒個別イロハ二順、一～十二月。
3	四十二年睦月記 別途勘定簿	1909(M42)年	手書資料。
4	出納控	1911(M44)年 ～1912(M45)年	手書資料。
5	金銭出入簿その1	1911(M44)年 ～1912(M45)年	手書資料。ただし出納簿フォーマットは活字縦書。表紙(手書)に「明治四十四年一月ノ同四拾五年六月」 「浪花教会会計」とある。
6	金銭出入簿	1912(M45)年 ～1913(T2)年	手書資料。ただし出納簿フォーマットは活字縦書。表紙(手書)に「明治四十五年七月以降ノ大正二年拾壹月至ル」 「浪花基督教会」とある。
7	〔日曜献金会計ノート〕	1913(T2)年 ～1918(T7)年	手書資料。ただし出納簿フォーマットは活字横書。表紙なし。
8	〔浪花基督教会ノ献金捺印簿〕	1920(T9)年 ～1922(T11)年	手書資料。「大正九年一月起」信徒個別イロハ二順。一～十二月までの欄に、会計印「今井」他の捺印。
9	〔会計簿ノ大正11～昭和2〕	1922(T11)年 ～1927(S2)年	手書資料。ただし出納簿フォーマットは活字横書。
10	〔浪花教(会)堂建築費の明細ノ説明書付箋つき〕	不詳	活字資料、2頁。個人寄付者名と各寄付額。
11	〔浪花教会拾年間集金明細表〕	不詳	手書資料。2頁。表紙なし。1頁最上段に「浪花教会拾年間集金明細表」、また「年度」が「拾年」から「拾九年」まであるが、和暦か西暦か不明。いずれにせよ、会計状況分析のためのものである。
12	〔諸事控一〕	1912(M45)年 ～1915(T4)年	手書資料。フォーマットは活字。現金出納、ないし勘定元帳のようなもの。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

13	〔諸事控二〕	1915(T4)年 ～1918(T7)年	同上。
14	浪花基督教会主意並規約	1887(M20)年	活字資料。第巻～七章からなる。巻末に「(転会時の)薦書」と「洗礼志願書」の「雛形」が付される。
15	公会の主意	年不詳	活字資料。「浪花基督教会主意並規約」の原型とみられる。写真不鮮明で読み取り困難。
16	浪花基督教会主意並規約	1893(M26)年	活字資料。1887年版の改正版。全体構成には変更なし。
17	浪花基督教会条規	1908(M41)年	上の大幅に改訂されたもの。
18	浪花教会青年基督信徒共励会規則	1901(M34)年	手書資料。「第一条 名称」に始まり「第七条 教会トノ関係」まで。推敲改訂の跡あり。巻末に「誓約書」が付され正会員13名、賛成会員5名の自署名がある。
19	浪花基督教会青年共励規則 ／附第十三回会員名簿・記録	1906(M39)年 ～1907(M40)年	手書資料。規約に名簿、集会記録なども併記。
20	浪花基督教会青年共励会規則 ／誓約書／正会員／記録	1907(M40)年	同上。
21	三拾一年教会史	1898(M31)年 ～1909(M42)年	活字による祈禱日録等をはさみ、手書による事業日誌ふうのもの。頁により写真不鮮明。
22	浪花基督教会略歴	1907(M40)年	手書原稿。執筆者：前神酔一。頁により写真不鮮明。
23	大正六年一月二十日／浪花 基督教会略史／牧師澤山保 羅氏略伝	1917(T6)年	活字資料。写真不鮮明。略史1.5頁、略伝1頁余。
24	〔浪花教会歴史大要〕	不詳	手書資料。5頁。
25	浪華基督教会略史	1897(M30)年	手書資料。12頁。冒頭、創立を「今を距てること21年前」としている。
26	浪花基督教会歴史	1906(M39)年	手書資料。巻末に1877(M10)年以降の会員出入統計表を付している。また最後に「浪花教会歴史 原稿／回覧」とあり、主要な関係者により校閲されていた模様。
27	浪華教会略史	不詳	手書資料。創立以来約10年間の要点を記している。
28	澤山保羅氏伝	不詳	手書資料。澤山保羅書簡を含む。

I - 4 丹波第一教会所蔵資料

丹波第一教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号: 141-V)

番号	表題	作成年	備考
1	教会用書発信	1890(M23)年	作成者：執事 明田吉五郎
	丹波国第一教会執事	～1895(M28)年	留岡牧師北海道空知監獄教誨師として赴任に付辞任の件 教会改革・告白書・執事交代(1895年)。 丹波伝道策(1889年)。 第一地勢、第二丹波教会信徒一致心、 第三福知山伝道、第四亀岡伝道、第五西部伝道、等々 明治二十六年十二月調査(1893年)。 丹波第一基督教会員姓名表 教会員総数160名、内男86名・女74名 内訳 須知部70名・園部部37名・亀岡部53名 主任執事明田吉五郎による書簡録(原田助、ゴルドン宛等)。 明治廿三年総会決議録・明治廿七年総会決議 明治廿五年議事に「福知山部独立教会設立ニ係ル件」、 「園部亀岡各部将来維持方法協議ノ件」、また「丹波第一 教会位置変更ノ件」、「教会沿革史編纂ノ件」などと ある。 「伝道会補助金請求書」など伝道費関連資料 「明治廿二年通常教会費収入支出決算」など会計資料

丹波第一教会所蔵資料 Reel No.2 (請求記号: 93-H)

番号	表題	作成年	備考
1	明治二十三年五月 基督教 会係る受信 丹波第一教会 執事	1890(M23)年	教会執事明田吉五郎宛の受信録のようなもの。事務引継 書のようなもの。ゴルドン宛のもの。留岡幸助宛のもの。 出獄人保護パンフ。新島逝去の報。亀岡伝道のことな ど。

I - 5 岸和田教会所蔵資料

岸和田教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号: 141-W)

番号	表題	作成年	備考
1	岸和田基督教教会主意	不詳	手書資料。「教会の主旨」、「信仰の告白」、「受洗入会 者に認める個条」、並びに「教会員の誓約」の4項から なる。「昭和62年12月整理」とあり。
2	主降生一千八百八十六年/ 金銭出納帳/明治十九年十 二月ヨリ	1886(M19)年 ~1892(M25)年	手書資料。「収入ノ部」、「支払ノ部」、それぞれ約6年 分。
3	岸和田基督教教会/主降生一 千八百九十二年/金銭出納 帳/明治二十五年十一月ヨ リ	1892(M25)年 ~1902(M35)年	手書資料。「収入部」、「支払部」それぞれ約10年間分。
4	山岡尹方/時習舎関係書類	1880(M13)年	手書資料。堺県令宛、私塾開設届。「舎則」「教則」 「私塾教員雇入御届」など。

II - 1 安中教会所蔵資料

安中教会所蔵資料 Reel No.1(請求番号: 141-E)

番号	表題	作成年	備考
1	明治四十四年第八月/安中 基督教会々員簿	1911(M44)	手書資料。作成者: 柏木義円。「事故」「授洗者」「受 洗年月」「住所」「姓名」の項目あり。昭和24年まで記 述は続いており、明治44年以降書き足されていったも のと思われる。

II - 2 高崎教会所蔵資料

高崎教会所蔵資料 real No.1(請求番号: 118-G)

番号	表題	作成年	備考
1	明治十六年七月 一号 上 毛高崎倉賀野伝道史	1883(M16)年	手書資料。作成者: 「〔星野〕光多」。「七月七日」より 「(十二月)十六日」まで日付を付して記述。
2	明治十七年一月 西群馬伝 道誌	1884(M17)年	手書資料。作成者: 「〔星野〕光多」。「一月五日」より 「五月二十六日」まで日付を付して記述。そのほか 「独立スル時ノ心得」「基督教会条例」などが付されて いる。1と同簿冊か。
4	十八年一月ヨリ九月ニ至ル 三号 西群馬教会紀略一	1885(M18)年	手書資料。作成者: 「〔星野〕光多」。「一月一日」より 「(九月)二十八日」まで日付を付して記述。
5	十八年十月ヨリ 四号 西 群馬教会史	1885(M18)年	手書資料。「九月二十七日ヨリ十月三日ニ至ル」より 「十二月三十一日」まで日付を付して記述。
6	七号 明治二十一年一月よ り (8) 教会の記事	1888(M21)年	手書資料。作成者: 「〔星野〕光多」。「明治二十一年一月 一日」より「(五月)三十一日」まで日付を付して記述。
7	明治二十二年一月 教会公 私日記 九号	1889(M22)年	手書資料。作成者: 大谷三右衛門。「一月一日」より 「同(九月)十一日」まで日付を付して記述。

II - 3 原市教会所蔵資料

原市教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号: 140-Q)

番号	表題	作成年	備考
1	明治十九年九月より二十一 年十二月迄/教会記事/原 市基督教会	1886(M19) ~1888(M21)年	「1.原市教会資料/教会記事、記ノ一、和装綴1冊/ 明治19年9月~21年12月」作成者: 原市基督教会、手 書資料、一部活字資料。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

2	明治二十二年／第二号教会記事／原市基督教会	1889(M22) ～1892(M25)年	[2.原市教会資料／教会記事、記ノ二 和装綴1冊／明治22年(22.1～25.2月)]作成者：原市基督教会、手書資料、一部活字資料。
3	明治三十二年／第二号教会記事／原市基督教会	1889(M22) ～1890(M23)年	[3.原市教会資料／、第二号教会記事、記ノ二ノ副和装綴1冊／明治22年]作成者：原市基督教会、手書資料、一部活字資料。
4	明治三十五年／第三号教会記事／原市基督教会	1892(M25) ～1897(M30)年	[4.原市教会資料／第三号教会記事、記ノ四 和装綴1冊／明治25年]作成者：原市基督教会、手書資料。
5	明治三十二年十月一日／教会記事録／原一教会	1899(M32) ～1912(T1)年	[5.原市教会資料／教会記事録、記ノ三 和クロス1冊／明治32年10月1日(～大正元年12月)]作成者：原市教会、手書資料。
6	大正三年一月／教会記事録／原市教会	1914(T3) ～1930(S5)年	[6.原市教会資料／教会記事録、記ノ五 和クロス1冊／大正3年1月(～昭和5年12月)大正2年の記事なし]作成者：原市教会、手書資料。
7	昭和六年一月／教会記事録／原市基督教会	1931(S6) ～1947(S22)年	[7.原市教会資料／教会記事録 和クロス1冊／昭和6年1月～昭和22年3月末]作成者：原市教会、手書資料。

原市教会所蔵資料 Reel No.2 (請求記号：140-R)

番号	表題	作成年	備考
1	耶蘇降生一千八百八十四年／会堂建築並寄付金簿／明治十七年九月	1884(M17) ～1894(M27)年	[8.原市教会資料／会堂建築並寄付金簿、一、和装綴／1884年、明治17年9月]作成者：原市教会、手書資料。
2	耶蘇降生一千八百八十四年／会堂建築並寄付金簿／明治十七年九月	1884(M17) ～1885(M18)年	[9.原市教会資料／会堂寄付連名帳／耶蘇降生千八百八十四年(明治17年9月)尅／付、明治十七年教会集金扣 貳／明治十八年原一会堂付家建築寄付金簿 参]作成者：原市教会、手書資料。
3	明治十九年十月／教会費収入簿／原市教会	1886(M19) ～1890(M23)年	[10.原市教会資料／教会費収入簿、四 和装綴 1冊／明治19年10月／原市教会]作成者：原市教会、手書資料。
4	明治十九年十月／出納簿／原市教会	1886(M19) ～1887(M20)年	[11.原市教会資料／出納簿、五 和装綴 1冊／明治19年10月／原市基督教会]作成者：原市教会、手書資料。
5	明治二十年第一月／諸雜費扣／原一教会	1887(M20) ～1890(M23)年	[12.原市教会資料／諸雜費扣、六 和装綴 1冊／明治20年1月／原一教会]作成者：原市教会、手書資料。
6	明治二十一年一月／出納簿／原市基督教会	1888(M21) ～1890(M23)年	[13.原市教会資料／出納簿、七 和装綴 1冊／明治21年1月／原市基督教会]作成者：原市教会、手書資料。
7	明治二十六年己一月／諸雜費控帳／原市教会	1893(M26) ～1907(M40)年	[14.原市教会資料／諸雜費控帳、八 和装綴 1冊／明治26年己1月／原市教会]作成者：原市教会、手書資料。
8	明治二十八年一月／出納簿／原市教会	1895(M28) ～1899(M32)年	[15.原市教会資料／出納簿、九 和装綴 1冊／明治28年1月／原市基督教会]作成者：原市教会、手書資料。
9	明治二十八年一月／臨時寄付金帳／原市教会	1895(M28) ～1907(M40)年	[16.原市教会資料／臨時寄付金帳、十 和装綴 1冊／明治28年1月／原市教会]作成者：原市教会、手書資料。[伝道会社負担金収支金額明細簿]を含む。
10	自明治三十二年二月／至三十八年／会計簿／原市教会	1899(M32) ～1905(M38)年	[17.原市教会資料／会計簿 和クロス 1冊／明治32年2月～38年／原市基督教会]作成者：原市教会、手書資料。
11	自明治三十九年／至四十四年／会計簿／原市教会会計	1906(M39) ～1911(M44)年	[18.原市教会資料／会計簿、十一、 和クロス 1冊／明治39年～44年／原市教会会計]作成者：原市教会会計、手書資料。
12	自明治三拾四年／至四十一年／日本伝道会社寄付金扣帳／原市教会	1901(M34) ～1908(M41)年	[19.原市教会資料／日本伝道会社寄付金扣帳 和クロス 1冊／明治34年～41年／原市教会]作成者：原市教会伝道委員、手書資料。

13	大正八年三月／経費明細簿 ／原市基督教青年会	1919(T8)年	「20.原市教会資料／経費明細簿 和クロス1冊／大正8年3月／原市基督教青年会」作成者：原市基督教青年会、手書資料。「吉野博士講演会収支決算」など。
14	大正八年三月／寄付芳名録 ／原市基督教青年会	1919(T8)年	「21.原市教会資料／寄付芳名録 和クロス1冊／大正8年3月／原市基督教青年会」作成者：原市基督教青年会、手書資料。

原市教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号：140-S)

番号	表題	作成年	備考
1	大正十四年二月 至,昭,四年／金銭日記帳	1925(T14)～1929(S4)年	「22.原市教会資料／金銭日記帳 和装クロス／大正14年2月～昭和4年」作成者：原市教会、手書資料、ただしフォーマットは既製。
2	昭和八年八月一日 至,昭,十七年／献金簿	1933(S8)～1942(S17)年	「23.原市教会資料／献金等／昭和8年8月1日～昭和17年」作成者：原市基督教教会、手書資料(フォーマットは既製)。個人別献金月日一覽(1年づつ)。
3	明治十九年十月／教会費収入簿／原市教会	1936(S11)年	「24.原市教会資料／創立五十年紀念寄付金帳、14、和クロス1冊／昭和11年10月」作成者：原市教会、手書資料(フォーマット既製)、一部寄付金領収書と「五拾年祈念会報告書」含む。
4	自明治四十三年一月／至大正三年十月／教会費集金簿／十五	1910(M43)～1914(T3)年	「25.原市教会資料／教会費集金簿、15 和クロス1冊／明治43年1月～大正3年12月」作成者：原市教会、手書資料(フォーマット既製)。
5	自明治四拾五年一月／至昭和五年三月／会計簿／拾六	1912(M45)～1930(S5)年	「26.原市教会資料／会計簿、16 和クロス1冊／明治45年1月～昭和5年2月」作成者：原市教会、手書資料。
6	自大正十二年一月／至昭和七年／教会献金集納簿／十七	1923(T12)～1932(S7)年	「27.原市教会資料／教会献金集納簿、十七、和クロス1冊／大正12年1月～昭和7年」作成者：原市教会、手書資料。
7	十八／自昭和七年／至十三年	1932(S7)～1938(S13)年	「28.原市教会資料／金銭出納簿、18／昭和7年～13年」作成者：原市教会、手書資料(フォーマット既製にて出納帳初の横書となる)。
8	金銭日記帳／原市教会会計用／皇紀2600年	1940(S15)～1951(S26)年	「29.原市教会資料／金銭日記帳／昭和15年～昭和26年」作成者：原市教会会計、手書資料(出納フォーマット既製)。

原市教会所蔵資料 Reel No. 4 (請求記号：140-T)

番号	表題	作成年	備考
1	大正十四年二月 至,昭,四年／金銭日記帳	1925(T14)～1929(S4)年	「30.原市教会資料／会堂諸木和 長帳／明治17年4月吉日」
2	明治十九年三月分／原市教会婦人会／レプタ扣	1886(M19)～1894(M27)年	「31.原市教会資料／原市教会婦人会、レプタ扣 和装綴1冊／明治19年3月分」手書資料。
3	明治二十一年十一月／会堂住居所新築費簿	1888(M21)年、1894(M27)年	「32.原市教会資料／会堂住居所新築費簿(綴)／明治21年11月／原市教会／付明治27年9月寄付金簿、受付簿／3月29日上毛婦人会上毛親睦会来会者人名簿／碓氷郡基督信徒親睦会人名帳」手書資料。
4	明治二十二年九月／寄付金帳／磯部地方	1889(M22)年	「33.原市教会資料／寄付金帳(綴)／明治22年9月／磯部地方、後関地方、31年度教会負債／寄付金帳(明治31.12)、寄付金帳スキナ、覚／大挙伝道従道／明治33年クリスマス買い物帳(子1月3日)」作成者：原市教会、手書資料(フォーマット既製)。
5	明治二十九年二月／臨時寄付金帳	1896(M29)年	「34.原市教会資料／臨時寄付金帳(綴)／明治29年2月／付 万買物帳(明治32.4.19)、大挙伝道買物帳(明治40.2.21)／ほか」作成者：原市教会、手書資料。
6	明治四十年一月／オルガン新調寄付金帳	1907(M40)年	「35.原市教会資料／オルガン新調寄付金帳、(綴)／付明治40年1月オルガン新調寄付金帳／教会日誌／日本組合教会35年度収支予算表／旅費之記／安中教会十年祭寄付金簿／教会費出金誓約書(綴)(明治40.3)」ほか、手書資料。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

7	教会員原簿	1932(S7) ～1938(S13)年	「36.原市教会資料／教会員原簿／昇天者並びに転出者②」活字フォーマットにて項目は姓名・職業・誕生年月日・本籍・現住所・転入転出結婚永眠などの記入欄となっている。それら内容は手書き。
---	-------	-------------------------	---

原市教会所蔵資料 Reel No.5 (請求記号：140-U)

番号	表題	作成年	備考
1	原市教会人名簿／明治19年	1886(M19)年	「37.原市教会資料／原市教会人名簿／明治19年10月9日建会」
2	領収書	1903(M36) ～1904(M37)年	「38.原市教会資料／領収書 和クロス1冊／明治36年1月28日～37年11月21日」活字フォーマットに手書。
3	明治四十二年一月ヨリ／書籍貸付控／	1888(M21)年	「39.原市教会資料／書籍貸付控 和クロス1冊／明治42年1月より／作成者：上毛教界月報社文庫保管係。」手書資料。
4	安中教会歴史関係書類	1889(M22)年	「40.原市教会資料／安中基督教会録事／安中教会日記(明21.1、執事)／安中教会史／大正6.9.安中教会堂建築決算報告／ともしび(69号)」、活字・手書資料混在。
5	原市教会資料	1924(T13)年	「41.原市教会資料／大13.9.26 教会修繕公費見積書一括／36年度会員増減／原市教会報告／西毛禁酒会会員姓名表／原市教会員姓名表(大8.12調)／平田義道書簡(3通)、太田九之八書簡(1通)／組合教会伝道応援区一覧／長浜教会西宮教会より来簡綴／大正12.9教会信者救援義捐金募集第一号／安中教会統計綴／組合教会32年度統計(M32.2-32.12)(M31.1-31.12)、雑、教会文書説明(6枚)、手書活字混在。
6	原市教会資料	1963(S38)年	「42.原市教会資料／昭和38年平松牧師問題(綴)」

III-1 新潟教会所蔵資料

新潟教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号：135-P)

番号	表題	作成年	備考
1	新潟教会月報 第一号	1915(T4年)	大正4年2月1日発行。
2	新潟教会月報 第二号	1915(T4年)	大正4年3月25日発行。
3	新潟教会月報 第三号	1915(T4年)	大正4年4月1日発行。
4	新潟教会月報 第四号	1915(T4年)	大正4年5月16日発行。
5	新潟教会月報 第五号	1915(T4年)	大正4年7月25日発行。
6	新潟教会月報 第六号	1915(T4年)	大正4年7月25日発行。
7	新潟教会月報 第六号(マ)	1915(T4年)	大正4年6月27日発行。
8	新潟教会月報 第七号	1915(T4年)	大正4年8月26日発行。
9	新潟教会月報 第九号	1915(T4年)	大正4年9月19日発行。
10	新潟教会月報 第十号	1915(T4年)	大正4年10月29日発行。
11	新潟教会月報 第十一号	1915(T4年)	大正4年10月30日発行。一面のみ「第十号」とあり。
12	新潟教会月報 第十二号	1915(T4年)	大正4年12月23日発行。一面に「島崎光若殿」と手書き。
13	新潟教会月報 第十三号	1915(T4年)	大正4年12月27日発行。
14	新潟教会月報 第十四号	1916(T5年)	大正5年2月25日発行。
15	新潟教会月報 第十六号	1916(T5年)	大正5年5月7日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
16	新潟教会月報 第十七号	1916(T5年)	大正5年5月31日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
17	新潟教会月報 第十八号	1916(T5年)	大正5年7月2日発行。
18	新潟教会月報 第十九号	1916(T5年)	大正5年7月30日発行。一面に「島崎光若殿」と手書き。
19	新潟教会月報 第二十条	1916(T5年)	大正5年9月7日発行。
20	新潟教会月報 第二十一号	1916(T5年)	大正5年9月20日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
21	新潟教会月報 第二十二号	1916(T5年)	大正5年11月5日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
22	新潟教会月報 第二十三号	1916(T5年)	大正5年12月5日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。

23	新潟教会月報	第二十四号	1917(T6年)	大正6年1月7日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
24	新潟教会月報	第二十五号	1917(T6年)	大正6年2月10日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
25	新潟教会月報	第二十六号	1917(T6年)	大正6年3月16日発行。
26	新潟教会月報	第二十七号	1917(T6年)	大正6年5月27日発行。一面に「島崎様」と手書き。
27	新潟教会月報	第二十七号	1917(T6年)	大正6年5月27日発行。27と重複。
28	新潟教会月報 (ママ)	第二十七号	1917(T6年)	大正6年4月16日発行。一面に「島崎様」と手書き。
29	新潟教会月報	第二十八号	1917(T6年)	大正6年6月24日発行。
30	新潟教会月報	第三十号	1917(T6年)	大正6年7月29日発行。
31	新潟教会月報	第三十一号	1917(T6年)	大正6年8月19日発行。
32	新潟教会月報	第三十二号	1917(T6年)	大正6年9月22日発行。
33	新潟教会月報	第三十三号	1917(T6年)	大正6年10月21日発行。
34	新潟教会月報	第三十四号	1917(T6年)	大正6年11月21日発行。
35	新潟教会月報	第三十五号	1917(T6年)	大正6年12月16日発行。
36	新潟教会月報	第三十六号	1918(T7年)	大正7年1月20日発行。
37	新潟教会月報	第三十七号	1918(T7年)	大正7年2月20日発行。
38	新潟教会月報	第三十八号	1918(T7年)	大正7年3月17日発行。
39	新潟教会月報	第三十九号	1918(T7年)	大正7年4月21日発行。
40	新潟教会月報	第四十号	1918(T7年)	大正7年5月19日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
41	新潟教会月報	第四十一号	1918(T7年)	大正7年6月16日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
42	新潟教会月報	第四十二号	1918(T7年)	大正7年7月21日発行。
43	新潟教会月報	第四十三号	1918(T7年)	大正7年8月18日発行。
44	新潟教会月報	第四十四号	1918(T7年)	大正7年9月15日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
45	新潟教会月報	第四十五号	1918(T7年)	大正7年10月20日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
46	新潟教会月報	第四十六号	1918(T7年)	大正7年11月17日発行。
47	新潟教会月報	第四十七号	1918(T7年)	大正7年12月15日発行。
48	新潟教会月報	第四十八号	1919(T8年)	大正8年1月19日発行。
49	新潟教会月報	第四十九号	1919(T8年)	大正8年2月23日発行。
50	新潟教会月報	第五十一号	1919(T8年)	大正8年4月20日発行。
51	新潟教会月報	第五十二号	1919(T8年)	大正8年5月18日発行。
52	新潟教会月報	第五十三号	1919(T8年)	大正8年6月15日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
53	新潟教会月報	第五十四号	1919(T8年)	大正8年7月20日発行。
54	新潟教会月報	第五十五号	1919(T8年)	大正8年8月10日発行。
55	新潟教会月報	第五十六号	1919(T8年)	大正8年9月21日発行。
56	新潟教会月報	第五十七号	1919(T8年)	大正8年10月19日発行。
57	新潟教会月報	第五十八号	1919(T8年)	大正8年11月16日発行。
58	新潟教会月報	第五十九号	1919(T8年)	大正8年12月21日発行。
59	新潟教会月報	第六十号	1920(T9年)	大正9年1月18日発行。
60	新潟教会月報	第六十一号	1920(T9年)	大正9年2月15日発行。
61	新潟教会月報	第六十二号	1920(T9年)	大正9年3月21日発行。
62	新潟教会月報	第六十三号	1920(T9年)	大正9年5月10日発行。
63	新潟教会月報	第六十四号	1920(T9年)	大正9年6月14日発行。
64	新潟教会月報	第六十五号	1920(T9年)	大正9年7月14日発行。
65	新潟教会月報	第六十六号	1920(T9年)	大正9年8月14日発行。
66	新潟教会月報	第六十七号	1920(T9年)	大正9年9月14日発行。
67	新潟教会月報	第六十八号	1920(T9年)	大正9年10月14日発行。
68	新潟教会月報	第六十九号	1920(T9年)	大正9年11月14日発行。
69	新潟教会月報	第七十号	1920(T9年)	大正9年12月14日発行。
70	新潟教会月報	第七十一号	1921(T10年)	大正10年1月14日発行。
71	新潟教会月報	第七十二号	1921(T10年)	大正10年2月14日発行。
72	新潟教会月報	第七十三号	1921(T10年)	大正10年3月14日発行。
73	新潟教会月報	第七十四号	1921(T10年)	大正10年4月14日発行。
74	新潟教会月報	第七十五号	1921(T10年)	大正10年5月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

75	新潟教会月報 第七十六号	1921(T10年)	大正10年6月14日発行。
76	新潟教会月報 第七十七号	1921(T10年)	大正10年7月14日発行。
77	新潟教会月報 第七十八号	1921(T10年)	大正10年8月14日発行。
78	新潟教会月報 第七十九号	1921(T10年)	大正10年9月14日発行。
79	新潟教会月報 第八十号	1921(T10年)	大正10年10月14日発行。
80	新潟教会月報 第八十一号	1921(T10年)	大正10年11月14日発行。
81	新潟教会月報 第八十二号	1921(T10年)	大正10年12月14日発行。
82	新潟教会月報 第八十三号	1922(T11年)	大正11年9月14日発行。
83	新潟教会月報 第八十四号	1922(T11年)	大正11年2月14日発行。
84	新潟教会月報 第八十五号	1922(T11年)	大正11年3月14日発行。
85	新潟教会月報 第八十六号	1922(T11年)	大正11年4月14日発行。
86	新潟教会月報 第八十七号	1922(T11年)	大正11年5月14日発行。
87	新潟教会月報 第八十八号	1922(T11年)	大正11年6月14日発行。
88	新潟教会月報 第八十九号	1922(T11年)	大正11年7月14日発行。
89	新潟教会月報 第九十号	1922(T11年)	大正11年8月14日発行。
90	新潟教会月報 第九十一号	1922(T11年)	大正11年9月14日発行。
91	新潟教会月報 第九十二号	1922(T11年)	大正11年10月14日発行。
92	新潟教会月報 第九十三号	1922(T11年)	大正11年11月14日発行。
93	新潟教会月報 第九十四号	1922(T11年)	大正11年12月14日発行。
94	新潟教会月報 第九十五号	1923(T12年)	大正12年1月14日発行。
95	新潟教会月報 第九十六号	1923(T12年)	大正12年2月14日発行。
96	新潟教会月報 第九十七号	1923(T12年)	大正12年3月14日発行。
97	新潟教会月報 第九十八号	1923(T12年)	大正12年4月14日発行。
98	新潟教会月報 第九十九号	1923(T12年)	大正12年5月14日発行。
99	新潟教会月報 第一〇〇号	1923(T12年)	大正12年6月14日発行。
100	新潟教会月報 第一〇二号	1923(T12年)	大正12年8月14日発行。
101	新潟教会月報 第一〇三号	1923(T12年)	大正12年9月14日発行。
102	新潟教会月報 第一〇四号	1923(T12年)	大正12年10月14日発行。
103	新潟教会月報 第一〇五号	1923(T12年)	大正12年11月14日発行。
104	新潟教会月報 第一〇六号	1923(T12年)	大正12年12月14日発行。
105	新潟教会月報 第一〇七号	1924(T13年)	大正13年1月14日発行。
106	新潟教会月報 第一〇八号	1924(T13年)	大正13年2月14日発行。
107	新潟教会月報 第一〇九号	1924(T13年)	大正13年3月14日発行。
108	新潟教会月報 第一一〇号	1924(T13年)	大正13年4月14日発行。
109	新潟教会月報 第一一一号	1924(T13年)	大正13年5月14日発行。
110	新潟教会月報 第一一二号	1924(T13年)	大正13年6月14日発行。
111	新潟教会月報 第一一三号	1924(T13年)	大正13年7月14日発行。
112	新潟教会月報 第一一四号	1924(T13年)	大正13年8月14日発行。
113	新潟教会月報 第一一五号	1924(T13年)	大正13年9月14日発行。
114	新潟教会月報 第一一六号	1924(T13年)	大正13年10月14日発行。
115	新潟教会月報 第一一七号	1924(T13年)	大正13年11月14日発行。
116	新潟教会月報 第一一八号	1924(T13年)	大正13年12月14日発行。
117	新潟教会月報 第一一九号	1924(T13年)	大正13年8月14日発行。
118	新潟教会月報 第一二〇号	1925(T14年)	大正14年1月14日発行。
119	新潟教会月報 第一二一号	1925(T14年)	大正14年2月14日発行。
120	新潟教会月報 第一二二号	1925(T14年)	大正14年3月14日発行。
121	新潟教会月報 第一二三号	1925(T14年)	大正14年4月14日発行。
122	新潟教会月報 第一二四号	1925(T14年)	大正14年5月14日発行。
123	新潟教会月報 第一二五号	1925(T14年)	大正14年6月14日発行。
124	新潟教会月報 第一二八号	1925(T14年)	大正14年8月14日発行。

新潟教会教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号：176-Z)

番号	表題	作成年	備 考
1	新潟教会月報 第一二九号	1925(T14)年	大正14年11月14日発行。
2	新潟教会月報 第一三十号	1925(T14)年	大正14年12月14日発行。
3	新潟教会月報 第一三一号	1926(T15)年	大正15年1月14日発行。
4	新潟教会月報 第一三二号	1926(T15)年	大正15年2月14日発行。
5	新潟教会月報 第一三三号	1926(T15)年	大正15年3月14日発行。
6	新潟教会月報 第一三四号	1926(T15)年	大正15年4月14日発行。
7	新潟教会月報 第一三五号	1926(T15)年	大正15年5月14日発行。
8	新潟教会月報 第一三六号	1926(T15)年	大正15年6月14日発行。
9	新潟教会月報 第一三七号	1926(T15)年	大正15年7月14日発行。
10	新潟教会月報 第一三八号	1926(T15)年	大正15年8月14日発行。
11	新潟教会月報 第一三九号	1926(T15)年	大正15年9月14日発行。
12	新潟教会月報 第一四〇号	1926(T15)年	大正15年10月14日発行。
13	新潟教会月報 第一四三号	1927(S2)年	昭和2年1月14日発行。
14	新潟教会月報 第一四三号 (ママ)	1927(S2)年	昭和2年3月14日発行。
15	新潟教会月報 第一四五号	1927(S2)年	昭和2年4月14日発行。
16	新潟教会月報 第一四七号	1927(S2)年	昭和2年7月14日発行。
17	新潟教会月報 第一四八号	1927(S2)年	昭和2年8月14日発行。
18	新潟教会月報 第一四九号	1927(S2)年	昭和2年9月14日発行。
19	新潟教会月報 第一五〇号	1927(S2)年	昭和2年10月14日発行。
20	新潟教会月報 第一五一号	1927(S2)年	昭和2年11月14日発行。
21	新潟教会月報 第一五二号	1927(S2)年	昭和2年12月14日発行。
22	新潟教会月報 第一五三号	1928(S3)年	昭和3年1月14日発行。
23	新潟教会月報 第一五四号	1928(S3)年	昭和3年2月14日発行。
24	新潟教会月報 第一五五号	1928(S3)年	昭和3年3月14日発行。
25	新潟教会月報 第一五六号	1928(S3)年	昭和3年4月14日発行。
26	新潟教会月報 第一五七号	1928(S3)年	昭和3年5月14日発行。
27	新潟教会月報 第一五八号	1928(S3)年	昭和3年6月14日発行。28と重複。
28	新潟教会月報 第一五八号	1928(S3)年	昭和3年6月14日発行。27と重複。
29	新潟教会月報 第一五九号	1928(S3)年	昭和3年7月14日発行。30と重複。
30	新潟教会月報 第一五九号	1928(S3)年	昭和3年7月14日発行。29と重複。
31	新潟教会月報 第一六〇号	1928(S3)年	昭和3年8月14日発行。
32	新潟教会月報 第一六一号	1928(S3)年	昭和3年9月14日発行。
33	新潟教会月報 第一六二号	1928(S3)年	昭和3年10月14日発行。
34	新潟教会月報 第一六三号	1928(S3)年	昭和3年11月14日発行。
35	新潟教会月報 第一六四号	1928(S3)年	昭和3年12月14日発行。
36	新潟教会月報 第一六五号	1929(S4)年	昭和4年1月14日発行。
37	新潟教会月報 第一六六号	1929(S4)年	昭和4年2月14日発行。
38	新潟教会月報 第一六七号	1929(S4)年	昭和4年3月14日発行。
39	新潟教会月報 第一六八号	1929(S4)年	昭和4年4月14日発行。
40	新潟教会月報 第一六九号	1929(S4)年	昭和4年5月14日発行。
41	新潟教会月報 第一七〇号	1929(S4)年	昭和4年6月14日発行。
42	新潟教会月報 第一七一号	1929(S4)年	昭和4年7月14日発行。
43	新潟教会月報 第一七二号	1929(S4)年	昭和4年8月14日発行。
44	新潟教会月報 第一七三号	1929(S4)年	昭和4年9月14日発行。
45	新潟教会月報 第一七四号	1929(S4)年	昭和4年10月14日発行。
46	新潟教会月報 第一七五号	1929(S4)年	昭和4年11月14日発行。
47	新潟教会月報 第一七六号	1929(S4)年	昭和4年12月14日発行。
48	新潟教会月報 第一七七号	1930(S5)年	昭和5年2月14日発行。
49	新潟教会月報 第一七八号	1930(S5)年	昭和5年3月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

50	新潟教会月報 第一七九号	1930(S5)年	昭和5年4月14日発行。
51	新潟教会月報 第一八〇号	1930(S5)年	昭和5年5月14日発行。
52	新潟教会月報 第一八一号	1930(S5)年	昭和5年6月14日発行。
53	新潟教会月報 第一八二号	1930(S5)年	昭和5年7月14日発行。
54	新潟教会月報 第一八三号	1930(S5)年	昭和5年8月14日発行。
55	新潟教会月報 第一八四号	1930(S5)年	昭和5年9月14日発行。
56	新潟教会月報 第一八五号	1930(S5)年	昭和5年10月14日発行。
57	新潟教会月報 第一八六号	1930(S5)年	昭和5年11月14日発行。
58	新潟教会月報 第一八七号	1930(S5)年	昭和5年12月14日発行。
59	新潟教会月報 第一八八号	1931(S6)年	昭和6年1月14日発行。
60	新潟教会月報 第一八九号	1931(S6)年	昭和6年2月14日発行。
61	新潟教会月報 第一九〇号	1931(S6)年	昭和6年3月14日発行。
62	新潟教会月報 第一九一号	1931(S6)年	昭和6年4月14日発行。
63	新潟教会月報 第一九二号	1931(S6)年	昭和6年5月14日発行。
64	新潟教会月報 第一九三号	1931(S6)年	昭和6年6月14日発行。
65	新潟教会月報 第一九四号	1931(S6)年	昭和6年7月14日発行。
66	新潟教会月報 第一九五号	1931(S6)年	昭和6年8月14日発行。
67	新潟教会月報 第一九六号	1931(S6)年	昭和6年9月14日発行。
68	新潟教会月報 第一九七号	1931(S6)年	昭和6年10月14日発行。
69	新潟教会月報 第一九八号	1931(S6)年	昭和6年11月14日発行。
70	新潟教会月報 第一九九号	1931(S6)年	昭和6年12月14日発行。
71	新潟教会月報 第二〇〇号 特別号	1932(S7)年	昭和7年1月14日発行。
72	新潟教会月報 第二〇一号	1932(S7)年	昭和7年3月14日発行。
73	新潟教会月報 第二〇二号	1932(S7)年	昭和7年4月14日発行。
74	新潟教会月報 第二〇三号	1932(S7)年	昭和7年5月14日発行。
75	新潟教会月報 第二〇四号	1932(S7)年	昭和7年6月14日発行。
76	新潟教会月報 第二〇五号	1932(S7)年	昭和7年7月14日発行。
77	新潟教会月報 第二〇六号	1932(S7)年	昭和7年8月14日発行。
78	新潟教会月報 第二〇七号	1932(S7)年	昭和7年10月13日発行。「十四日」を手書きで「十三日」と修正。
79	新潟教会月報 第二〇八号	1932(S7)年	昭和7年12月13日発行。
80	新潟教会月報 第二〇九号 総会号	1933(S8)年	昭和8年2月12日発行。
81	新潟教会月報 第二一〇号 付会員簿	1933(S8)年	昭和8年3月14日発行。
82	新潟教会月報 第二一一号 富山千代姉追悼号	1933(S8)年	昭和8年4月14日発行。
83	新潟教会月報 第二一二号 日曜学校号	1933(S8)年	昭和8年5月14日発行。
84	新潟教会月報 第二一三号	1933(S8)年	昭和8年6月14日発行。
85	新潟教会月報 第二一四号	1933(S8)年	昭和8年7月14日発行。
86	新潟教会月報 第二一五号	1933(S8)年	昭和8年8月14日発行。
87	新潟教会月報 第二一六号	1933(S8)年	昭和8年9月14日発行。
88	新潟教会月報 第二一七号	1933(S8)年	昭和8年10月14日発行。
89	新潟教会月報 第二一八号	1933(S8)年	昭和8年11月14日発行。
90	新潟教会月報 第二一九号	1933(S8)年	昭和8年12月14日発行。
91	新潟教会月報 第二二〇号	1934(S9)年	昭和9年2月12日発行。
92	新潟教会月報 第二二一号	1934(S9)年	昭和9年3月14日発行。
93	新潟教会月報 第二二二号 付会員簿	1934(S9)年	昭和9年4月14日発行。
94	新潟教会月報 第二二三号 付会員簿	1934(S9)年	昭和9年5月14日発行。

95	新潟教会月報	第二二四号	1934(S9)年	昭和9年6月14日発行。
96	新潟教会月報	第二二五号	1934(S9)年	昭和9年7月14日発行。
97	新潟教会月報	第二二六号	1934(S9)年	昭和9年9月20日発行。
98	新潟教会月報	第二二七号	1934(S9)年	昭和9年10月14日発行。
99	新潟教会月報	第二二八号	1934(S9)年	昭和9年11月14日発行。
100	新潟教会月報	第二二九号	1934(S9)年	昭和9年12月14日発行。
101	新潟教会月報	第二三〇号	1935(S10)年	昭和10年1月14日発行。
102	新潟教会月報	第二三一号	1935(S10)年	昭和10年3月14日発行。
103	新潟教会月報	第二三二号	1935(S10)年	昭和10年4月14日発行。
104	新潟教会月報	第二三三号	1935(S10)年	昭和10年5月14日発行。
105	新潟教会月報	第二三四号	1935(S10)年	昭和10年6月14日発行。
106	新潟教会月報	第二三五号	1935(S10)年	昭和10年7月14日発行。
107	新潟教会月報	第二三六号	1935(S10)年	昭和10年8月14日発行。
108	新潟教会月報	第二三七号	1935(S10)年	昭和10年9月14日発行。
109	新潟教会月報	第二三八号	1935(S10)年	昭和10年10月14日発行。
110	新潟教会月報	第二三九号	1935(S10)年	昭和10年11月14日発行。

新潟教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号：177-A)

番号	表題	作成年	備考
1	〔新潟教会月報表紙〕	不詳	「新潟教会月報」と記した表紙。製本済みか。
2	新潟教会月報 第二四〇号	1936(S11)年	昭和11年1月13日発行。
3	新潟教会月報 第二四一号	1936(S11)年	昭和11年2月13日発行。
4	新潟教会月報 第二四二号	1936(S11)年	昭和11年4月12日発行。一面の日付が「昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
5	新潟教会月報 第二四三号	1936(S11)年	昭和11年6月13日発行。昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
6	新潟教会月報 第二四四号	1936(S11)年	昭和11年7月22日発行。
7	新潟教会月報 第二四五号	1936(S11)年	昭和11年8月22日発行。
8	新潟教会月報 第二四六号	1936(S11)年	昭和11年9月22日発行。
9	新潟教会月報 第二四七号	1936(S11)年	昭和11年10月14日発行。
10	新潟教会月報 第二四八号	1936(S11)年	昭和11年11月1日発行。手書きで傍線あり。創立五十年記念号。
11	新潟教会月報 第二四九号	1936(S11)年	昭和11年12月14日発行。
12	新潟教会月報 第二五〇号	1937(S12)年	昭和12年1月10日発行。
13	新潟教会月報 第二五一号	1937(S12)年	昭和12年2月14日発行。
14	新潟教会月報 第二五二号	1937(S12)年	昭和12年3月14日発行。
15	新潟教会月報 第二五三号	1937(S12)年	昭和12年4月14日発行。
16	新潟教会月報 第二五四号	1937(S12)年	昭和12年5月14日発行。
17	新潟教会月報 第二五五号	1937(S12)年	昭和12年6月14日発行。
18	新潟教会月報 第二五六号	1937(S12)年	昭和12年7月14日発行。
19	新潟教会月報 第二五七号	1937(S12)年	昭和12年8月14日発行。
20	新潟教会月報 第二五八号	1937(S12)年	昭和12年9月14日発行。
21	新潟教会月報 第二五九号	1937(S12)年	昭和12年10月14日発行。
22	新潟教会月報 第二六〇号	1937(S12)年	昭和12年11月14日発行。
23	新潟教会月報 第二六一号	1937(S12)年	昭和12年12月14日発行。手書きで傍線あり。
24	新潟教会月報 第二六二号	1938(S13)年	昭和13年1月14日発行。
25	新潟教会月報 第二六三号	1938(S13)年	昭和13年2月14日発行。
26	新潟教会月報 第二六四号	1938(S13)年	昭和13年3月28日発行。
27	新潟教会月報 第二六五号	1938(S13)年	昭和13年5月14日発行。
28	新潟教会月報 第二六六号	1938(S13)年	昭和13年6月14日発行。
29	新潟教会月報 第二六七号	1938(S13)年	昭和13年7月14日発行。
30	新潟教会月報 第二六八号	1938(S13)年	昭和13年8月14日発行。
31	新潟教会月報 第二六九号	1938(S13)年	昭和13年9月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

32	新潟教会月報 第二七〇号	1938(S13)年	昭和13年10月14日発行。
33	新潟教会月報 第二七一号	1938(S13)年	昭和13年11月14日発行。手書きで傍線あり。
34	新潟教会月報 第二七二号	1938(S13)年	昭和13年12月14日発行。
35	新潟教会月報 第二七三号	1938(S13)年	昭和14年1月14日発行。
36	新潟教会月報 第二七四号	1939(S14)年	昭和14年2月14日発行。
37	新潟教会月報 第二七五号	1939(S14)年	昭和14年3月14日発行。
38	新潟教会月報 第二七六号	1939(S14)年	昭和14年5月14日発行。
39	新潟教会月報 第二七七号	1939(S14)年	昭和14年6月14日発行。
40	新潟教会月報 第二七八号	1939(S14)年	昭和14年7月14日発行。
41	新潟教会月報 第二七九号	1939(S14)年	昭和14年8月14日発行。
42	新潟教会月報 第二八〇号	1939(S14)年	昭和14年9月14日発行。
43	新潟教会月報 第二八一号	1939(S14)年	昭和14年11月14日発行。
44	新潟教会月報 第二八二号	1939(S14)年	昭和14年12月14日発行。
45	新潟教会月報 第二八三号	1940(S15)年	昭和15年1月14日発行。
46	新潟教会月報 第二八四号	1940(S15)年	昭和15年2月14日発行。
47	新潟教会月報 第二八五号	1940(S15)年	昭和15年3月14日発行。書き込みあり。
48	新潟教会月報 第二八六号	1940(S15)年	昭和15年4月14日発行。
49	新潟教会月報 第二八七号	1940(S15)年	昭和15年5月14日発行。
50	新潟教会月報 第二八八号	1940(S15)年	昭和15年6月14日発行。
51	新潟教会月報 第二八九号	1940(S15)年	昭和15年 8月14日発行。三面に「NIIGATA CHURCH / SEPTEMBER 14, 1947. / NIIGATA JAPAN / Saichiro Nalai, Minister / Mr. Ralph Wright, Assistant」とタイプで記された紙片が重ねてあり、紙面が見えず。
52	新潟教会月報 第二九〇号	1940(S15)年	昭和15年9月14日発行。
53	新潟教会週報 第三十八号	1940(S15)年	昭和15年9月22日発行。手書き。
54	新潟教会月報 第二九一号	1940(S15)年	昭和15年10月14日発行。
55	一粒の麦 No.663	1948(S23)年	昭和23年1月25日発行。前橋市共愛女学校発行。
56	新潟教会月報 第二九二号	1940(S15)年	昭和15年11月14日発行。
57	新潟教会月報 第二九三号	1940(S15)年	昭和15年12月14日発行。
58	新潟教会月報 第二九四号	1941(S16)年	昭和16年1月14日発行。
59	新潟教会月報 第二九五号	1941(S16)年	昭和16年2月14日発行。
60	新潟教会月報 第二九六号	1941(S16)年	昭和16年3月14日発行。
61	新潟教会月報 第二九七号	1941(S16)年	昭和16年4月14日発行。
62	新潟教会月報 第二九八号	1941(S16)年	昭和16年6月14日発行。
63	新潟教会月報 第二九九号	1941(S16)年	昭和16年7月14日発行。手書きで傍線あり。
64	新潟教会月報 第三〇〇号	1941(S16)年	昭和16年8月14日発行。
65	新潟教会月報 第三〇一号	1941(S16)年	昭和16年10月14日発行。
66	新潟教会月報 第三〇二号	1941(S16)年	昭和16年11月14日発行。
67	新潟教会月報 第三〇三号	1941(S16)年	昭和16年12月14日発行。
68	新潟教会月報 第三〇四号	1942(S17)年	昭和17年1月14日発行。
69	新潟教会月報 第三〇五号	1942(S17)年	昭和17年2月14日発行。
70	新潟教会月報 第三〇六号	1942(S17)年	昭和17年3月14日発行。
71	新潟教会月報 第三〇七号	1942(S17)年	昭和17年4月14日発行。
72	新潟教会月報 第三〇八号	1942(S17)年	昭和17年5月14日発行。
73	新潟教会月報 第三〇九号	1942(S17)年	昭和17年7月14日発行。
74	新潟教会月報 1(310)	1942(S17)年	昭和17年9月14日発行。手書きで傍線あり。本号から枝番号が付される。本号が1号、通号310号。
75	新潟教会月報 2(311)	1942(S17)年	昭和17年12月1日発行。
76	新潟教会月報 3(312)	1943(S18)年	昭和18年2月14日発行。
77	新潟教会月報 4(313)	1943(S18)年	昭和18年7月10日発行。
78	新潟教報 6(315)	1944(S19)年	昭和19年7月10日発行。手書きで傍線あり。

79	新潟教報 5(314)	1944(S19)年	昭和19年2月11日発行。78と順番が前後。
80	新潟教報 7(316)	1950(S25)年	昭和25年9月10日発行。手書きで傍線あり。発行年の傍らに「昭和25年」と手書き。戦後教報再刊号。
81	新潟教報 8(317)	1952(S27)年	昭和27年3月10日発行。発行年の傍らに「昭和27年」と手書き。
82	新潟教報 9(318)	1952(S27)年	昭和27年11月10日発行。貼紙あり。発行年の傍らに「昭和27年」と手書き。
83	新潟教報 319	1957(S32)年	昭和32年4月7日発行。

新潟教会所蔵資料 Reel No.4 (請求記号: 187-1)

番号	表題	作成年	備考
1	新潟教会月報 第一号	1915(T4年)	大正4年2月1日発行。複写重複多数。原本はセロハンテープで補強しており、複写状態も悪い。
2	新潟教会月報 第二号	1915(T4年)	大正4年3月25日発行。4面の複写状態が悪い。
3	新潟教会月報 第三号	1915(T4年)	大正4年4月1日発行。
4	新潟教会月報 第四号	1915(T4年)	大正4年5月16日発行。
5	新潟教会月報 第五号	1915(T4年)	大正4年7月25日発行。
6	新潟教会月報 第六号	1915(T4年)	大正4年6月27日発行。
7	新潟教会月報 第六号	1915(T4年)	大正4年6月27日発行。6と重複。
8	新潟教会月報 第七号	1915(T4年)	大正4年8月26日発行。
9	新潟教会月報 第九号	1915(T4年)	大正4年9月19日発行。
10	新潟教会月報 第十号	1915(T4年)	大正4年10月29日発行。
11	新潟教会月報 第十一号	1915(T4年)	大正4年10月30日発行。一面のみ「第十号」とあり。
12	新潟教会月報 第十二号	1915(T4年)	大正4年12月23日発行。一面に「島崎光若殿」と手書き。
13	新潟教会月報 第十三号	1915(T4年)	大正4年12月27日発行。
14	新潟教会月報 第十四号	1916(T5年)	大正5年2月25日発行。
15	新潟教会月報 第十六号	1916(T5年)	大正5年5月7日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
16	新潟教会月報 第十七号	1916(T5年)	大正5年5月31日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
17	新潟教会月報 第十八号	1916(T5年)	大正5年7月2日発行。
18	新潟教会月報 第十九号	1916(T5年)	大正5年7月30日発行。一面に「島崎光若殿」と手書き。
19	新潟教会月報 第二十个	1916(T5年)	大正5年9月7日発行。
20	新潟教会月報 第二十一号	1916(T5年)	大正5年9月20日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
21	新潟教会月報 第二十二号	1916(T5年)	大正5年11月5日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
22	新潟教会月報 第二十三号	1916(T5年)	大正5年12月5日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
23	新潟教会月報 第二十四号	1917(T6年)	大正6年1月7日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
24	新潟教会月報 第二十五号	1917(T6年)	大正6年2月10日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
25	新潟教会月報 第二十六号	1917(T6年)	大正6年3月16日発行。
26	新潟教会月報 第二十七号	1917(T6年)	大正6年5月27日発行。一面に「島崎様」と手書き。
27	新潟教会月報 第二十七号	1917(T6年)	大正6年5月27日発行。27と重複。
28	新潟教会月報 第二十七号 (ママ)	1917(T6年)	大正6年4月16日発行。一面に「島崎様」と手書き。
29	新潟教会月報 第二十八号	1917(T6年)	大正6年6月24日発行。
30	新潟教会月報 第三十号	1917(T6年)	大正6年7月29日発行。
31	新潟教会月報 第三十一号	1917(T6年)	大正6年8月19日発行。
32	新潟教会月報 第三十二号	1917(T6年)	大正6年9月22日発行。
33	新潟教会月報 第三十三号	1917(T6年)	大正6年10月21日発行。
34	新潟教会月報 第三十四号	1917(T6年)	大正6年11月21日発行。
35	新潟教会月報 第三十五号	1917(T6年)	大正6年12月16日発行。
36	新潟教会月報 第三十六号	1918(T7年)	大正7年1月20日発行。
37	新潟教会月報 第三十七号	1918(T7年)	大正7年2月20日発行。
38	新潟教会月報 第三十八号	1918(T7年)	大正7年3月17日発行。
39	新潟教会月報 第三十九号	1918(T7年)	大正7年4月21日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

40	新潟教会月報 第四十号	1918(T7年)	大正7年5月19日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
41	新潟教会月報 第四十一号	1918(T7年)	大正7年6月16日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
42	新潟教会月報 第四十二号	1918(T7年)	大正7年7月21日発行。
43	新潟教会月報 第四十三号	1918(T7年)	大正7年8月18日発行。
44	新潟教会月報 第四十四号	1918(T7年)	大正7年9月15日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
45	新潟教会月報 第四十五号	1918(T7年)	大正7年10月20日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
46	新潟教会月報 第四十六号	1918(T7年)	大正7年11月17日発行。
47	新潟教会月報 第四十七号	1918(T7年)	大正7年12月15日発行。
48	新潟教会月報 第四十八号	1919(T8年)	大正8年1月19日発行。
49	新潟教会月報 第四十九号	1919(T8年)	大正8年2月23日発行。
50	新潟教会月報 第五十一号	1919(T8年)	大正8年4月20日発行。
51	新潟教会月報 第五十二号	1919(T8年)	大正8年5月18日発行。
52	新潟教会月報 第五十三号	1919(T8年)	大正8年6月15日発行。一面に「島崎光若様」と手書き。
53	新潟教会月報 第五十四号	1919(T8年)	大正8年7月20日発行。
54	新潟教会月報 第五十五号	1919(T8年)	大正8年8月17日発行。
55	新潟教会月報 第五十六号	1919(T8年)	大正8年9月21日発行。
56	新潟教会月報 第五十七号	1919(T8年)	大正8年10月19日発行。
57	新潟教会月報 第五十八号	1919(T8年)	大正8年11月16日発行。
58	新潟教会月報 第五十九号	1919(T8年)	大正8年12月21日発行。
59	新潟教会月報 第六十号	1920(T9年)	大正9年1月18日発行。
60	新潟教会月報 第六十一号	1920(T9年)	大正9年2月15日発行。
61	新潟教会月報 第六十二号	1920(T9年)	大正9年3月21日発行。
62	新潟教会月報 第六十三号	1920(T9年)	大正9年5月10日発行。
63	新潟教会月報 第六十四号	1920(T9年)	大正9年6月14日発行。
64	新潟教会月報 第六十五号	1920(T9年)	大正9年7月14日発行。
65	新潟教会月報 第六十六号	1920(T9年)	大正9年8月14日発行。
66	新潟教会月報 第六十七号	1920(T9年)	大正9年9月14日発行。
67	新潟教会月報 第六十八号	1920(T9年)	大正9年10月14日発行。
68	新潟教会月報 第六十九号	1920(T9年)	大正9年11月14日発行。
69	新潟教会月報 第七十号	1920(T9年)	大正9年12月14日発行。
70	新潟教会月報 第七十一号	1921(T10年)	大正10年1月14日発行。
71	新潟教会月報 第七十二号	1921(T10年)	大正10年2月14日発行。
72	新潟教会月報 第七十三号	1921(T10年)	大正10年3月14日発行。
73	新潟教会月報 第七十四号	1921(T10年)	大正10年4月14日発行。
74	新潟教会月報 第七十五号	1921(T10年)	大正10年5月14日発行。
75	新潟教会月報 第七十六号	1921(T10年)	大正10年6月14日発行。
76	新潟教会月報 第七十七号	1921(T10年)	大正10年7月14日発行。
77	新潟教会月報 第七十八号	1921(T10年)	大正10年8月14日発行。
78	新潟教会月報 第七十九号	1921(T10年)	大正10年9月14日発行。
79	新潟教会月報 第八十号	1921(T10年)	大正10年10月14日発行。
80	新潟教会月報 第八十一号	1921(T10年)	大正10年11月14日発行。
81	新潟教会月報 第八十二号	1921(T10年)	大正10年12月14日発行。

新潟教会所蔵資料 Reel No.5 (請求記号: 187-2)

番号	表題	作成年	備考
1	新潟教会月報 第五十五号	1919(T8年)	大正8年8月17日発行。
2	新潟教会月報 第五十六号	1919(T8年)	大正8年9月21日発行。
3	新潟教会月報 第五十七号	1919(T8年)	大正8年10月19日発行。
4	新潟教会月報 第五十八号	1919(T8年)	大正8年11月16日発行。
5	新潟教会月報 第五十九号	1919(T8年)	大正8年12月21日発行。
6	新潟教会月報 第六十号	1920(T9年)	大正9年1月18日発行。

7	新滬教會月報	第六十一號	1920(T9年)	大正9年2月15日發行。
8	新滬教會月報	第六十二號	1920(T9年)	大正9年3月21日發行。
9	新滬教會月報	第六十三號	1920(T9年)	大正9年5月10日發行。
10	新滬教會月報	第六十四號	1920(T9年)	大正9年6月14日發行。
11	新滬教會月報	第六十五號	1920(T9年)	大正9年7月14日發行。
12	新滬教會月報	第六十六號	1920(T9年)	大正9年8月14日發行。
13	新滬教會月報	第六十七號	1920(T9年)	大正9年9月14日發行。
14	新滬教會月報	第六十八號	1920(T9年)	大正9年10月14日發行。
15	新滬教會月報	第六十九號	1920(T9年)	大正9年11月14日發行。
16	新滬教會月報	第七十號	1920(T9年)	大正9年12月14日發行。
17	新滬教會月報	第七十一號	1921(T10年)	大正10年1月14日發行。
18	新滬教會月報	第七十二號	1921(T10年)	大正10年2月14日發行。
19	新滬教會月報	第七十三號	1921(T10年)	大正10年3月14日發行。
20	新滬教會月報	第七十四號	1921(T10年)	大正10年4月14日發行。
21	新滬教會月報	第七十五號	1921(T10年)	大正10年5月14日發行。
22	新滬教會月報	第七十六號	1921(T10年)	大正10年6月14日發行。
23	新滬教會月報	第七十七號	1921(T10年)	大正10年7月14日發行。
24	新滬教會月報	第七十八號	1921(T10年)	大正10年8月14日發行。
25	新滬教會月報	第七十九號	1921(T10年)	大正10年9月14日發行。
26	新滬教會月報	第八十號	1921(T10年)	大正10年10月14日發行。
27	新滬教會月報	第八十一號	1921(T10年)	大正10年11月14日發行。
28	新滬教會月報	第八十二號	1921(T10年)	大正10年12月14日發行。
29	新滬教會月報	第八十三號	1922(T11年)	大正11年1月14日發行。
30	新滬教會月報	第八十四號	1922(T11年)	大正11年2月14日發行。
31	新滬教會月報	第八十五號	1922(T11年)	大正11年3月14日發行。
32	新滬教會月報	第八十六號	1922(T11年)	大正11年4月14日發行。
33	新滬教會月報	第八十七號	1922(T11年)	大正11年5月14日發行。
34	新滬教會月報	第八十八號	1922(T11年)	大正11年6月14日發行。
35	新滬教會月報	第八十九號	1922(T11年)	大正11年7月14日發行。
36	新滬教會月報	第九十號	1922(T11年)	大正11年8月14日發行。
37	新滬教會月報	第九十一號	1922(T11年)	大正11年9月14日發行。
38	新滬教會月報	第九十二號	1922(T11年)	大正11年10月14日發行。
39	新滬教會月報	第九十三號	1922(T11年)	大正11年11月14日發行。
40	新滬教會月報	第九十四號	1922(T11年)	大正11年12月14日發行。
41	新滬教會月報	第九十五號	1923(T12年)	大正12年1月14日發行。
42	新滬教會月報	第九十六號	1923(T12年)	大正12年2月14日發行。
43	新滬教會月報	第九十七號	1923(T12年)	大正12年3月14日發行。
44	新滬教會月報	第九十八號	1923(T12年)	大正12年4月14日發行。
45	新滬教會月報	第九十九號	1923(T12年)	大正12年5月14日發行。
46	新滬教會月報	第一〇〇號	1923(T12年)	大正12年6月14日發行。
47	新滬教會月報	第一〇二號	1923(T12年)	大正12年8月14日發行。
48	新滬教會月報	第一〇三號	1923(T12年)	大正12年9月14日發行。
49	新滬教會月報	第一〇四號	1923(T12年)	大正12年10月14日發行。
50	新滬教會月報	第一〇五號	1923(T12年)	大正12年11月14日發行。
51	新滬教會月報	第一〇六號	1923(T12年)	大正12年12月14日發行。
52	新滬教會月報	第一〇七號	1924(T13年)	大正13年1月14日發行。
53	新滬教會月報	第一〇八號	1924(T13年)	大正13年2月14日發行。
54	新滬教會月報	第一〇九號	1924(T13年)	大正13年3月14日發行。
55	新滬教會月報	第一一〇號	1924(T13年)	大正13年4月14日發行。
56	新滬教會月報	第一一一號	1924(T13年)	大正13年5月14日發行。
57	新滬教會月報	第一一二號	1924(T13年)	大正13年6月14日發行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

58	新潟教会月報 第一一三号	1924(T13年)	大正13年7月14日発行。
59	新潟教会月報 第一一四号	1924(T13年)	大正13年6月14日発行。
60	新潟教会月報 第一一五号	1924(T13年)	大正13年8月14日発行。
61	新潟教会月報 第一一六号	1924(T13年)	大正13年9月14日発行。
62	新潟教会月報 第一一七号	1924(T13年)	大正13年10月14日発行。
63	新潟教会月報 第一一八号	1924(T13年)	大正13年11月14日発行。
64	新潟教会月報 第一一九号	1924(T13年)	大正13年12月14日発行。
65	新潟教会月報 第一二〇号	1925(T14年)	大正14年1月14日発行。
66	新潟教会月報 第一二一号	1925(T14年)	大正14年2月14日発行。
67	新潟教会月報 第一二二号	1925(T14年)	大正14年3月14日発行。
68	新潟教会月報 第一二三号	1925(T14年)	大正14年4月14日発行。
69	新潟教会月報 第一二四号	1925(T14年)	大正14年5月14日発行。
70	新潟教会月報 第一二五号	1925(T14年)	大正14年6月14日発行。
71	新潟教会月報 第一二八号	1925(T14年)	大正14年8月14日発行。
72	新潟教会月報 第八十三号	1922(T11年)	大正11年1月14日発行。「新潟教会月報(その三)／自八三号／至一三三号」と書かれたファイルに収録。
73	新潟教会月報 第八十四号	1922(T11年)	大正11年2月14日発行。
74	新潟教会月報 第八十五号	1922(T11年)	大正11年3月14日発行。
75	新潟教会月報 第八十六号	1922(T11年)	大正11年4月14日発行。
76	新潟教会月報 第八十七号	1922(T11年)	大正11年5月14日発行。
77	新潟教会月報 第八十八号	1922(T11年)	大正11年6月14日発行。
78	新潟教会月報 第八十九号	1922(T11年)	大正11年7月14日発行。
79	新潟教会月報 第九十号	1922(T11年)	大正11年8月14日発行。
80	新潟教会月報 第九十一号	1922(T11年)	大正11年9月14日発行。
81	新潟教会月報 第九十二号	1922(T11年)	大正11年10月14日発行。
82	新潟教会月報 第九十三号	1922(T11年)	大正11年11月14日発行。
83	新潟教会月報 第九十四号	1922(T11年)	大正11年12月14日発行。
84	新潟教会月報 第九十五号	1923(T12年)	大正12年1月14日発行。
85	新潟教会月報 第九十六号	1923(T12年)	大正12年2月14日発行。
86	新潟教会月報 第九十七号	1923(T12年)	大正12年3月14日発行。
87	新潟教会月報 第九十八号	1923(T12年)	大正12年4月14日発行。
88	新潟教会月報 第九十九号	1923(T12年)	大正12年5月14日発行。
89	新潟教会月報 第一〇〇号	1923(T12年)	大正12年6月14日発行。
90	新潟教会月報 第一〇二号	1923(T12年)	大正12年8月14日発行。
91	新潟教会月報 第一〇三号	1923(T12年)	大正12年9月14日発行。
92	新潟教会月報 第一〇四号	1923(T12年)	大正12年10月14日発行。
93	新潟教会月報 第一〇五号	1923(T12年)	大正12年11月14日発行。
94	新潟教会月報 第一〇六号	1923(T12年)	大正12年12月14日発行。
95	新潟教会月報 第一〇七号	1924(T13年)	大正13年1月14日発行。
96	新潟教会月報 第一〇八号	1924(T13年)	大正13年2月14日発行。
97	新潟教会月報 第一〇九号	1924(T13年)	大正13年3月14日発行。
98	新潟教会月報 第一一〇号	1924(T13年)	大正13年4月14日発行。
99	新潟教会月報 第一一一号	1924(T13年)	大正13年5月14日発行。
100	新潟教会月報 第一一二号	1924(T13年)	大正13年6月14日発行。
101	新潟教会月報 第一一三号	1924(T13年)	大正13年7月14日発行。
102	新潟教会月報 第一一四号	1924(T13年)	大正13年6月14日発行。
103	新潟教会月報 第一一五号	1924(T13年)	大正13年8月14日発行。
104	新潟教会月報 第一一六号	1924(T13年)	大正13年9月14日発行。
105	新潟教会月報 第一一七号	1924(T13年)	大正13年10月14日発行。
106	新潟教会月報 第一一八号	1924(T13年)	大正13年11月14日発行。
107	新潟教会月報 第一一九号	1924(T13年)	大正13年12月14日発行。

108	新潟教会月報	第一二〇号	1925(T14年)	大正14年1月14日発行。
109	新潟教会月報	第一二一号	1925(T14年)	大正14年2月14日発行。
110	新潟教会月報	第一二二号	1925(T14年)	大正14年3月14日発行。
111	新潟教会月報	第一二三号	1925(T14年)	大正14年4月14日発行。
112	新潟教会月報	第一二四号	1925(T14年)	大正14年5月14日発行。
113	新潟教会月報	第一二五号	1925(T14年)	大正14年6月14日発行。
114	新潟教会月報	第一二六号	1925(T14年)	大正14年8月10日発行。
115	新潟教会月報	第一二七号	1925(T14年)	大正14年9月10日発行。
116	新潟教会月報	第一二八号	1925(T14年)	大正14年10月10日発行。
117	新潟教会月報	第一三十号	1925(T14年)	大正14年12月14日発行。
118	新潟教会月報	第一三一号	1926(T15年)	大正15年1月14日発行。
119	新潟教会月報	第一三二号	1926(T15年)	大正15年2月14日発行。
120	新潟教会月報	第五十四号	1919(T8年)	大正8年7月20日発行。「新潟教会月報 / No.54(大8.7) ~No.128(大正14.1)」と書かれた調書あり。
121	新潟教会月報	第五十五号	1919(T8年)	大正8年8月17日発行。
122	新潟教会月報	第五十六号	1919(T8年)	大正8年9月21日発行。
123	新潟教会月報	第五十七号	1919(T8年)	大正8年10月19日発行。
124	新潟教会月報	第五十八号	1919(T8年)	大正8年11月16日発行。
125	新潟教会月報	第五十九号	1919(T8年)	大正8年12月21日発行。
126	新潟教会月報	第六十号	1920(T9年)	大正9年1月18日発行。
127	新潟教会月報	第六十一号	1920(T9年)	大正9年2月15日発行。
128	新潟教会月報	第六十二号	1920(T9年)	大正9年3月21日発行。
129	新潟教会月報	第六十三号	1920(T9年)	大正9年5月10日発行。
130	新潟教会月報	第六十四号	1920(T9年)	大正9年6月14日発行。
131	新潟教会月報	第六十五号	1920(T9年)	大正9年7月14日発行。
132	新潟教会月報	第六十六号	1920(T9年)	大正9年8月14日発行。
133	新潟教会月報	第六十七号	1920(T9年)	大正9年9月14日発行。
134	新潟教会月報	第六十八号	1920(T9年)	大正9年10月14日発行。
135	新潟教会月報	第六十九号	1920(T9年)	大正9年11月14日発行。
136	新潟教会月報	第七十号	1920(T9年)	大正9年12月14日発行。
137	新潟教会月報	第七十一号	1921(T10年)	大正10年1月14日発行。
138	新潟教会月報	第七十二号	1921(T10年)	大正10年2月14日発行。
139	新潟教会月報	第七十三号	1921(T10年)	大正10年3月14日発行。
140	新潟教会月報	第七十四号	1921(T10年)	大正10年4月14日発行。
141	新潟教会月報	第七十五号	1921(T10年)	大正10年5月14日発行。
142	新潟教会月報	第七十六号	1921(T10年)	大正10年6月14日発行。
143	新潟教会月報	第七十七号	1921(T10年)	大正10年7月14日発行。
144	新潟教会月報	第七十八号	1921(T10年)	大正10年8月14日発行。
145	新潟教会月報	第七十九号	1921(T10年)	大正10年9月14日発行。
146	新潟教会月報	第八十号	1921(T10年)	大正10年10月14日発行。
147	新潟教会月報	第八十一号	1921(T10年)	大正10年11月14日発行。
148	新潟教会月報	第八十二号	1921(T10年)	大正10年12月14日発行。
149	新潟教会月報	第八十三号	1922(T11年)	大正11年1月14日発行。
150	新潟教会月報	第八十四号	1922(T11年)	大正11年2月14日発行。
151	新潟教会月報	第八十五号	1922(T11年)	大正11年3月14日発行。
152	新潟教会月報	第八十六号	1922(T11年)	大正11年4月14日発行。
153	新潟教会月報	第八十七号	1922(T11年)	大正11年5月14日発行。
154	新潟教会月報	第八十八号	1922(T11年)	大正11年6月14日発行。
155	新潟教会月報	第八十九号	1922(T11年)	大正11年7月14日発行。
156	新潟教会月報	第九十号	1922(T11年)	大正11年8月14日発行。
157	新潟教会月報	第九十一号	1922(T11年)	大正11年9月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

158	新潟教会月報 第九十二号	1922(T11年)	大正11年10月14日発行。
159	新潟教会月報 第九十三号	1922(T11年)	大正11年11月14日発行。
160	新潟教会月報 第九十四号	1922(T11年)	大正11年12月14日発行。
161	新潟教会月報 第九十五号	1923(T12年)	大正12年1月14日発行。
162	新潟教会月報 第九十六号	1923(T12年)	大正12年2月14日発行。
163	新潟教会月報 第九十七号	1923(T12年)	大正12年3月14日発行。
164	新潟教会月報 第九十八号	1923(T12年)	大正12年4月14日発行。
165	新潟教会月報 第九十九号	1923(T12年)	大正12年5月14日発行。
166	新潟教会月報 第一〇〇号	1923(T12年)	大正12年6月14日発行。
167	新潟教会月報 第一〇二号	1923(T12年)	大正12年8月14日発行。
168	新潟教会月報 第一〇三号	1923(T12年)	大正12年9月14日発行。
169	新潟教会月報 第一〇四号	1923(T12年)	大正12年10月14日発行。
170	新潟教会月報 第一〇五号	1923(T12年)	大正12年11月14日発行。
171	新潟教会月報 第一〇六号	1923(T12年)	大正12年12月14日発行。
172	新潟教会月報 第一〇七号	1924(T13年)	大正13年1月14日発行。
173	新潟教会月報 第一〇八号	1924(T13年)	大正13年2月14日発行。
174	新潟教会月報 第一〇九号	1924(T13年)	大正13年3月14日発行。
175	新潟教会月報 第一一〇号	1924(T13年)	大正13年4月14日発行。
176	新潟教会月報 第一一一号	1924(T13年)	大正13年5月14日発行。
177	新潟教会月報 第一一二号	1924(T13年)	大正13年6月14日発行。
178	新潟教会月報 第一一三号	1924(T13年)	大正13年7月14日発行。
179	新潟教会月報 第一一四号	1924(T13年)	大正13年8月14日発行。
180	新潟教会月報 第一一五号	1924(T13年)	大正13年9月14日発行。
181	新潟教会月報 第一一六号	1924(T13年)	大正13年10月14日発行。
182	新潟教会月報 第一一七号	1924(T13年)	大正13年11月14日発行。
183	新潟教会月報 第一一八号	1924(T13年)	大正13年12月14日発行。
184	新潟教会月報 第一一九号	1924(T13年)	大正13年12月14日発行。
185	新潟教会月報 第一二〇号	1925(T14年)	大正14年1月14日発行。
186	新潟教会月報 第一二一号	1925(T14年)	大正14年2月14日発行。
187	新潟教会月報 第一二二号	1925(T14年)	大正14年3月14日発行。
188	新潟教会月報 第一二三号	1925(T14年)	大正14年4月14日発行。
189	新潟教会月報 第一二四号	1925(T14年)	大正14年5月14日発行。
190	新潟教会月報 第一二五号	1925(T14年)	大正14年6月14日発行。
191	新潟教会月報 第一二八号	1925(T14年)	大正14年8月14日発行。
192	新潟教会月報 第一三三号	1926(T15年)	大正15年3月14日発行。「新潟教会月報／自一三三号／至二四四号」と書かれたファイルに収録。
193	新潟教会月報 第一三四号	1926(T15年)	大正15年4月14日発行。
194	新潟教会月報 第一三五号	1926(T15年)	大正15年5月14日発行。
195	新潟教会月報 第一三六号	1926(T15年)	大正15年6月14日発行。
196	新潟教会月報 第一三七号	1926(T15年)	大正15年7月14日発行。
197	新潟教会月報 第一三八号	1926(T15年)	大正15年8月14日発行。
198	新潟教会月報 第一三九号	1926(T15年)	大正15年9月14日発行。
199	新潟教会月報 第一四〇号	1926(T15年)	大正15年10月14日発行。
200	新潟教会月報 第一四三号	1927(S2)年	昭和2年1月14日発行。
201	新潟教会月報 第一四三号 (ママ)	1927(S2)年	昭和2年3月14日発行。
202	新潟教会月報 第一四五号	1927(S2)年	昭和2年4月14日発行。
203	新潟教会月報 第一四七号	1927(S2)年	昭和2年7月14日発行。
204	新潟教会月報 第一四八号	1927(S2)年	昭和2年8月14日発行。
205	新潟教会月報 第一四九号	1927(S2)年	昭和2年9月14日発行。
206	新潟教会月報 第一五〇号	1927(S2)年	昭和2年10月14日発行。
207	新潟教会月報 第一五一号	1927(S2)年	昭和2年11月14日発行。

208	新潟教会月報	第一五二号	1927(S2)年	昭和2年12月14日発行。
209	新潟教会月報	第一五三号	1928(S3)年	昭和3年1月14日発行。
210	新潟教会月報	第一五四号	1928(S3)年	昭和3年2月14日発行。
211	新潟教会月報	第一五五号	1928(S3)年	昭和3年3月14日発行。
212	新潟教会月報	第一五六号	1928(S3)年	昭和3年4月14日発行。
213	新潟教会月報	第一五七号	1928(S3)年	昭和3年5月14日発行。
214	新潟教会月報	第一五八号	1928(S3)年	昭和3年6月14日発行。28と重複。
215	新潟教会月報	第一五八号	1928(S3)年	昭和3年6月14日発行。27と重複。
216	新潟教会月報	第一五九号	1928(S3)年	昭和3年7月14日発行。30と重複。
217	新潟教会月報	第一五九号	1928(S3)年	昭和3年7月14日発行。29と重複。
218	新潟教会月報	第一六〇号	1928(S3)年	昭和3年8月14日発行。
219	新潟教会月報	第一六一号	1928(S3)年	昭和3年9月14日発行。
220	新潟教会月報	第一六二号	1928(S3)年	昭和3年10月14日発行。
221	新潟教会月報	第一六三号	1928(S3)年	昭和3年11月14日発行。
222	新潟教会月報	第一六四号	1928(S3)年	昭和3年12月14日発行。
223	新潟教会月報	第一六五号	1929(S4)年	昭和4年1月14日発行。
224	新潟教会月報	第一六六号	1929(S4)年	昭和4年2月14日発行。
225	新潟教会月報	第一六七号	1929(S4)年	昭和4年3月14日発行。
226	新潟教会月報	第一六八号	1929(S4)年	昭和4年4月14日発行。
227	新潟教会月報	第一六九号	1929(S4)年	昭和4年5月14日発行。
228	新潟教会月報	第一七〇号	1929(S4)年	昭和4年6月14日発行。
229	新潟教会月報	第一七一号	1929(S4)年	昭和4年7月14日発行。
230	新潟教会月報	第一七二号	1929(S4)年	昭和4年8月14日発行。
231	新潟教会月報	第一七三号	1929(S4)年	昭和4年9月14日発行。
232	新潟教会月報	第一七四号	1929(S4)年	昭和4年10月14日発行。
233	新潟教会月報	第一七五号	1929(S4)年	昭和4年11月14日発行。
234	新潟教会月報	第一七六号	1929(S4)年	昭和4年12月14日発行。
235	新潟教会月報	第一七七号	1930(S5)年	昭和5年2月14日発行。
236	新潟教会月報	第一七八号	1930(S5)年	昭和5年3月14日発行。
237	新潟教会月報	第一七九号	1930(S5)年	昭和5年4月14日発行。
238	新潟教会月報	第一八〇号	1930(S5)年	昭和5年5月14日発行。
239	新潟教会月報	第一八一号	1930(S5)年	昭和5年6月14日発行。
240	新潟教会月報	第一八二号	1930(S5)年	昭和5年7月14日発行。
241	新潟教会月報	第一八三号	1930(S5)年	昭和5年8月14日発行。
242	新潟教会月報	第一八四号	1930(S5)年	昭和5年9月14日発行。
243	新潟教会月報	第一八五号	1930(S5)年	昭和5年10月14日発行。
244	新潟教会月報	第一八六号	1930(S5)年	昭和5年11月14日発行。
245	新潟教会月報	第一八七号	1930(S5)年	昭和5年12月14日発行。
246	新潟教会月報	第一八八号	1931(S6)年	昭和6年1月14日発行。
247	新潟教会月報	第一八九号	1931(S6)年	昭和6年2月14日発行。
248	新潟教会月報	第一九〇号	1931(S6)年	昭和6年3月14日発行。
249	新潟教会月報	第一九一号	1931(S6)年	昭和6年4月14日発行。
250	新潟教会月報	第一九二号	1931(S6)年	昭和6年5月14日発行。
251	新潟教会月報	第一九三号	1931(S6)年	昭和6年6月14日発行。
252	新潟教会月報	第一九四号	1931(S6)年	昭和6年7月14日発行。
253	新潟教会月報	第一九五号	1931(S6)年	昭和6年8月14日発行。
254	新潟教会月報	第一九六号	1931(S6)年	昭和6年9月14日発行。
255	新潟教会月報	第一九七号	1931(S6)年	昭和6年10月14日発行。
256	新潟教会月報	第一九八号	1931(S6)年	昭和6年11月14日発行。
257	新潟教会月報	第一九九号	1931(S6)年	昭和6年12月14日発行。
258	新潟教会月報 特別号	第二〇〇号	1932(S7)年	昭和7年1月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

259	新潟教会月報 第二〇一号	1932(S7)年	昭和7年3月14日発行。
260	新潟教会月報 第二〇二号	1932(S7)年	昭和7年4月14日発行。
261	新潟教会月報 第二〇三号	1932(S7)年	昭和7年5月14日発行。
262	新潟教会月報 第二〇四号	1932(S7)年	昭和7年6月14日発行。
263	新潟教会月報 第二〇五号	1932(S7)年	昭和7年7月14日発行。
264	新潟教会月報 第二〇六号	1932(S7)年	昭和7年8月14日発行。
265	新潟教会月報 第二〇七号	1932(S7)年	昭和7年10月13日発行。「十四日」を手書きで「十三日」と修正。
266	新潟教会月報 第二〇八号	1932(S7)年	昭和7年12月13日発行。
267	新潟教会月報 第二〇九号 総会号	1933(S8)年	昭和8年2月12日発行。

新潟教会所蔵資料 Reel No.6 (請求記号:188)

番号	表題	作成年	備考
1	新潟教会月報 第二〇九号 総会号	1933(S8)年	昭和8年2月12日発行。
2	新潟教会月報 第二一〇号 付会員簿	1933(S8)年	昭和8年3月14日発行。
3	新潟教会月報 第二一一号 富山千代姉追悼号	1933(S8)年	昭和8年4月14日発行。
4	新潟教会月報 第二一二号 日曜学校号	1933(S8)年	昭和8年5月14日発行。
5	新潟教会月報 第二一三号	1933(S8)年	昭和8年6月14日発行。
6	新潟教会月報 第二一四号	1933(S8)年	昭和8年7月14日発行。
7	新潟教会月報 第二一五号	1933(S8)年	昭和8年8月14日発行。
8	新潟教会月報 第二一六号	1933(S8)年	昭和8年9月14日発行。
9	新潟教会月報 第二一七号	1933(S8)年	昭和8年10月14日発行。
10	新潟教会月報 第二一八号	1933(S8)年	昭和8年11月14日発行。
11	新潟教会月報 第二一九号	1933(S8)年	昭和8年12月14日発行。
12	新潟教会月報 第二二〇号	1934(S9)年	昭和9年2月12日発行。
13	新潟教会月報 第二二一号	1934(S9)年	昭和9年3月14日発行。
14	新潟教会月報 第二二二号 付会員簿	1934(S9)年	昭和9年4月14日発行。
15	新潟教会月報 第二二三号 付会員簿	1934(S9)年	昭和9年5月14日発行。
16	新潟教会月報 第二二四号	1934(S9)年	昭和9年6月14日発行。
17	新潟教会月報 第二二五号	1934(S9)年	昭和9年7月14日発行。
18	新潟教会月報 第二二六号	1934(S9)年	昭和9年9月20日発行。
19	新潟教会月報 第二二七号	1934(S9)年	昭和9年10月14日発行。
20	新潟教会月報 第二二八号	1934(S9)年	昭和9年11月14日発行。
21	新潟教会月報 第二二九号	1934(S9)年	昭和9年12月14日発行。
22	新潟教会月報 第二三〇号	1935(S10)年	昭和10年1月14日発行。
23	新潟教会月報 第二三一号	1935(S10)年	昭和10年3月14日発行。
24	新潟教会月報 第二三二号	1935(S10)年	昭和10年4月14日発行。
25	新潟教会月報 第二三三号	1935(S10)年	昭和10年5月14日発行。
26	新潟教会月報 第二三四号	1935(S10)年	昭和10年6月14日発行。
27	新潟教会月報 第二三五号	1935(S10)年	昭和10年7月14日発行。
28	新潟教会月報 第二三六号	1935(S10)年	昭和10年8月14日発行。
29	新潟教会月報 第二三七号	1935(S10)年	昭和10年9月14日発行。
30	新潟教会月報 第二三八号	1935(S10)年	昭和10年10月14日発行。
31	新潟教会月報 第二三九号	1935(S10)年	昭和10年11月14日発行。
32	新潟教会月報 第二四〇号	1936(S11)年	昭和11年1月13日発行。
33	新潟教会月報 第二四一号	1936(S11)年	昭和11年2月13日発行。

34	新潟教会月報 第二四二号	1936(S11)年	昭和11年4月12日発行。一面の日付が「昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
35	新潟教会月報 第二四三号	1936(S11)年	昭和11年6月13日発行。昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
36	新潟教会月報 第二四四号	1936(S11)年	昭和11年7月22日発行。
37	新潟教報 319	1957(S32)年	昭和32年4月7日発行。以降別冊。
38	新潟教会月報 第三〇〇号	1941(S16)年	昭和16年8月14日発行。
39	新潟教会月報 第三〇五号	1942(S17)年	昭和17年2月14日発行。
40	新潟教会月報 第三〇三号	1941(S16)年	昭和16年12月14日発行。
41	新潟教会月報 第三〇三号	1941(S16)年	昭和16年12月14日発行。40と重複。
42	新潟教会月報 第三〇〇号	1941(S16)年	昭和16年8月14日発行。38と重複。
43	新潟教会月報 3(312)	1943(S18)年	昭和18年2月14日発行。
44	新潟教報 5(314)	1944(S19)年	昭和19年2月11日発行。
45	新潟教報 5(314)	1944(S19)年	昭和19年2月11日発行。45と重複。
46	新潟教報 5(314)	1944(S19)年	昭和19年2月11日発行。45と重複。
47	新潟教会月報 4(313)	1943(S18)年	昭和18年7月10日発行。
48	新潟教会月報 3(312)	1943(S18)年	昭和18年2月14日発行。43と重複。
49	新潟教会月報 2(311)	1942(S17)年	昭和17年12月1日発行。
50	新潟教会月報 1(310)	1942(S17)年	昭和17年9月14日発行。手書きで傍線あり。本号から枝番号が付される。本号が1号、通号310号。以降、巻号の順序が逆に並ぶ。
51	新潟教会月報 第三〇九号	1942(S17)年	昭和17年7月14日発行。
52	新潟教会月報 第三〇八号	1942(S17)年	昭和17年5月14日発行。
53	新潟教会月報 第三〇七号	1942(S17)年	昭和17年4月14日発行。
54	新潟教会月報 第三〇六号	1942(S17)年	昭和17年3月14日発行。
55	新潟教会月報 第三〇五号	1942(S17)年	昭和17年2月14日発行。
56	新潟教会月報 第三〇四号	1942(S17)年	昭和17年1月14日発行。
57	新潟教会月報 第三〇三号	1941(S16)年	昭和16年12月14日発行。
58	新潟教会月報 第三〇二号	1941(S16)年	昭和16年11月14日発行。
59	新潟教会月報 第三〇一号	1941(S16)年	昭和16年10月14日発行。
60	新潟教会月報 第三〇〇号	1941(S16)年	昭和16年8月14日発行。
61	新潟教会月報 第二九九号	1941(S16)年	昭和16年7月14日発行。手書きで傍線あり。
62	新潟教会月報 第二九八号	1941(S16)年	昭和16年6月14日発行。
63	新潟教会月報 第二九七号	1941(S16)年	昭和16年4月14日発行。
64	新潟教会月報 第二九六号	1941(S16)年	昭和16年3月14日発行。
65	新潟教会月報 第二九五号	1941(S16)年	昭和16年2月14日発行。
66	新潟教会月報 第二九四号	1941(S16)年	昭和16年1月14日発行。
67	新潟教会月報 第二九三号	1940(S15)年	昭和15年12月14日発行。
68	新潟教会月報 第二九二号	1940(S15)年	昭和15年11月14日発行。
69	新潟教会月報 第二九一号	1940(S15)年	昭和15年10月14日発行。
70	新潟教会週報 第二十八号	1940(S15)年	昭和15年9月22日発行。手書き。
71	新潟教会月報 第二九〇号	1940(S15)年	昭和15年9月14日発行。
72	新潟教会月報 第二八九号	1940(S15)年	昭和15年8月14日発行。
73	新潟教会月報 第二八八号	1940(S15)年	昭和15年6月14日発行。
74	新潟教会月報 第二八七号	1940(S15)年	昭和15年5月14日発行。
75	新潟教会月報 第二八六号	1940(S15)年	昭和15年4月14日発行。
76	新潟教会月報 第二八五号	1940(S15)年	昭和15年3月14日発行。書き込みあり。
77	新潟教会月報 第二八四号	1940(S15)年	昭和15年2月14日発行。
78	新潟教会月報 第二八三号	1940(S15)年	昭和15年1月14日発行。
79	新潟教会月報 第二八二号	1939(S14)年	昭和14年12月14日発行。
80	新潟教会月報 第二八一号	1939(S14)年	昭和14年11月14日発行。
81	新潟教会月報 第二八〇号	1939(S14)年	昭和14年9月14日発行。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

82	新潟教会月報 第二七九号	1939(S14)年	昭和14年8月14日発行。
83	新潟教会月報 第二七八号	1939(S14)年	昭和14年7月14日発行。
84	新潟教会月報 第二七七号	1939(S14)年	昭和14年6月14日発行。
85	新潟教会月報 第二七六号	1939(S14)年	昭和14年5月14日発行。
86	新潟教会月報 第二七五号	1939(S14)年	昭和14年3月14日発行。
87	新潟教会月報 第二七四号	1939(S14)年	昭和14年2月14日発行。
88	新潟教会月報 第二七三号	1939(S14)年	昭和14年1月14日発行。
89	新潟教会月報 第二七二号	1938(S13)年	昭和13年12月14日発行。
90	新潟教会月報 第二七一号	1938(S13)年	昭和13年11月14日発行。手書きで傍線あり。
91	新潟教会月報 第二七〇号	1938(S13)年	昭和13年10月14日発行。
92	新潟教会月報 第二六九号	1938(S13)年	昭和13年9月14日発行。
93	新潟教会月報 第二六八号	1938(S13)年	昭和13年8月14日発行。
94	新潟教会月報 第二六七号	1938(S13)年	昭和13年7月14日発行。
95	新潟教会月報 第二六六号	1938(S13)年	昭和13年6月14日発行。
96	新潟教会月報 第二六五号	1938(S13)年	昭和13年5月14日発行。
97	新潟教会月報 第二六四号	1938(S13)年	昭和13年3月28日発行。
98	新潟教会月報 第二六三号	1938(S13)年	昭和13年2月14日発行。
99	新潟教会月報 第二六二号	1938(S13)年	昭和13年1月14日発行。
100	新潟教会月報 第二六一号	1937(S12)年	昭和12年12月14日発行。手書きで傍線あり。
101	新潟教会月報 第二六〇号	1937(S12)年	昭和12年11月14日発行。
102	新潟教会月報 第二五九号	1937(S12)年	昭和12年10月14日発行。
103	新潟教会月報 第二五八号	1937(S12)年	昭和12年9月14日発行。
104	新潟教会月報 第二五七号	1937(S12)年	昭和12年8月14日発行。
105	新潟教会月報 第二五六号	1937(S12)年	昭和12年7月14日発行。
106	新潟教会月報 第二五五号	1937(S12)年	昭和12年6月14日発行。
107	新潟教会月報 第二五四号	1937(S12)年	昭和12年5月14日発行。
108	新潟教会月報 第二五三号	1937(S12)年	昭和12年4月14日発行。
109	新潟教会月報 第二五二号	1937(S12)年	昭和12年3月14日発行。
110	新潟教会月報 第二五一号	1937(S12)年	昭和12年2月14日発行。
111	新潟教会月報 第二五〇号	1937(S12)年	昭和12年1月10日発行。
112	新潟教会月報 第二四九号	1936(S11)年	昭和11年12月14日発行。
113	新潟教会月報 第二四八号	1936(S11)年	昭和11年11月1日発行。手書きで傍線あり。創立五十年記念号。
114	新潟教会月報 第二四七号	1936(S11)年	昭和11年10月14日発行。
115	新潟教会月報 第二四六号	1936(S11)年	昭和11年9月22日発行。
116	新潟教会月報 第二四五号	1936(S11)年	昭和11年8月22日発行。
117	新潟教会月報 第二四四号	1936(S11)年	昭和11年7月22日発行。
118	新潟教会月報 第二四三号	1936(S11)年	昭和11年6月13日発行。昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
119	新潟教会月報 第二四二号	1936(S11)年	昭和11年4月12日発行。一面の日付が「昭和十一年三月十二日」と誤記があり、修正されている。
120	新潟教会月報 第二四一号	1936(S11)年	昭和11年2月13日発行。
121	新潟教会月報 第二四〇号	1936(S11)年	昭和11年1月13日発行。
122	感恩録	1954(S29)年	昭和29年9月20日発行。作成者：家田作吉。刊行物。自叙伝。非売品。
123	第二感恩録	1955(S30)年	昭和30年7月15日発行。作成者：家田作吉。刊行物。自叙伝。非売品。
124	第三感恩録	1956(S31)年	昭和31年9月10日発行。作成者：家田作吉。刊行物。自叙伝。非売品。
125	第四感恩録	1958(S33)年	昭和33年1月28日発行。作成者：家田作吉。刊行物。自叙伝。非売品。

126	明治二十五年十二月起／教会史	1892(M25)年	手書資料。作成者：新潟基督教会理事。「明治二十五年十二月二日」より「(明治二十七年)二月十八日」まで日付を付して記述。
127	聖業七十年の歩み 日本基督教団基督教会略史	1956(S31)年	昭和31年9月23日発行。刊行物。非売品。
128	(新潟日報記事)		明治期の新潟女学校、宣教師館などの写真が教和学園のロビーに展示されたという新潟日報(夕刊)の記事。
129	新潟教会史一八十五年の軌跡とその周辺一	1971(S46)年	作成者：中井和世。未定稿。昭和46年に執筆を開始したが、著者が昭和52年に病床に伏し、中断。手書き原稿を複製・製本したもの。1頁から100頁まで。以降は次巻に続く。

新潟教会所蔵資料 Reel No.7 (請求番号：189)

番号	表題	作成年	備考
1	新潟教会史一八十五年の軌跡とその周辺一	1971(S46)年	作成者：中井和世。未定稿。承前。101頁から187頁。179頁以降は「新潟教会創立八十五周年史関係年表」。
2	教会規制認可申請書	1932(S17)年	申請書関係書類に「昭和十七年二月」と複数記述あり。
3	[写真]	不詳	新潟教会関係者写真類。

III-2 長岡教会所蔵資料

長岡教会所蔵資料 Reel No.1 (請求番号：141F)

番号	表題	作成年	備考
1	『北斗』第十一号	1925(T14)年	大正14年4月20日発行。1面に「保存」と手書き。手書きの傍線あり。「毎月一回二十日発行」。
2	『北斗』第十三号	1925(T14)年	大正14年6月20日発行。
3	『北斗』第十四号	1925(T14)年	大正14年8月10日発行。
4	『北斗』第十五号	1925(T14)年	大正14年10月15日発行。
5	『北斗』第十六号	1925(T14)年	大正14年11月15日発行。
6	『北斗』第十七号	1926(T15)年	大正15年1月18日発行。1面に「保存」と手書き。
7	『北斗』第十八号	1926(T15)年	大正15年2月20日発行。1面に「保存」と手書き。
8	『北斗』第二十一号	1926(T15)年	大正15年5月30日発行。手書きの傍線あり。
9	『北斗』第二十二号	1926(T15)年	大正15年6月30日発行。
10	『北斗』第二十三号	1926(T15)年	大正15年7月20日発行。
11	『北斗』第二十四号	1926(T15)年	大正15年8月31日発行。
12	『北斗』第二十五号	1926(T15)年	大正15年10月20日発行。1面に「保存」と手書き。
13	『北斗』第二十六号	1926(T15)年	大正15年11月20日発行。付新潟県下組合諸教会教師会信徒大会の知らせ。
14	(第二回新潟県下組合諸教会信徒大会について案内)	1926(T15)年	大正15年11月発行。「新潟県下組合協会教師会」(11月22日)、「基督教大講演会」(22日)、「新潟県下組合諸教会信徒大会」(23日)、「日曜学校大会」(23日)について案内。
15	『北斗』第二十七号	1926(T15)年	大正15年12月20日発行。
16	『北斗』第二十八号	1927(S2)年	昭和2年1月20日発行。1面に「保存」と手書き。
17	『北斗』第二十九号	1927(S2)年	昭和2年2月20日発行。付録あり。
18	『北斗』第三十号	1927(S2)年	昭和2年3月27日発行。1面に「保存」と手書き。
19	『北斗』第三十一号	1927(S2)年	昭和2年5月18日発行。
20	『北斗』第三十二号	1927(S2)年	昭和2年6月20日発行。1面に「保存」「付録」と手書き。
21	『北斗』第三十五号	1927(S2)年	昭和2年9月20日発行。1面に「保存」「付録」と手書き。
22	『北斗』第三十六号	1927(S2)年	昭和2年11月17日発行。1面に「保存」「付録」と手書き。付録あり。
23	『北斗』第三十八号	1928(S3)年	昭和3年1月31日発行。
24	『北斗』第三十九号	1928(S3)年	昭和3年3月29日発行。1面に「保存」と手書き。
25	『北斗』第四十号	1928(S3)年	昭和3年4月17日発行。1面に「保存」と手書き。
26	『北斗』第四十一号	1928(S3)年	昭和3年6月17日発行。1面に「保存」と手書き。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

27	『北斗』第四十二号	1928(S3)年	昭和3年7月20日発行。4面の日付が「昭和七年六月二十日」と誤記、手書きにて年と月を修正。虫食いあり。
28	『北斗』第四十三号	1928(S3)年	昭和3年8月31日発行。1面に「保存」と手書き。
29	『北斗』第四十四号	1928(S3)年	昭和3年9月30日発行。1面に「保存」と手書き。
30	『北斗』第四十五号	1928(S3)年	昭和3年10月31日発行。1面に「保存」と手書き。
31	『北斗』第四十六号	1928(S3)年	昭和3年12月15日発行。1面に「保存」と手書き。付録あり。
32	『北斗』第四十七号	1929(S4)年	昭和4年1月20日発行。1面に「保存」と手書き。手書きの傍線あり。
33	『北斗』第五十号	1929(S4)年	昭和4年4月20日発行。1面に「保存」と手書き。手書きの傍線あり。
34	『北斗』第五十二号	1929(S4)年	昭和4年6月20日発行。1面に「保存」と手書き。
35	『北斗』第五十三号	1929(S4)年	昭和4年8月15日発行。1面に「保存」と手書き。
36	『北斗』第五十四号	1929(S4)年	昭和4年10月10日発行。1面に「保存」と手書き。手書きで印あり。付北斗会計報告(昭和3月12日～4年4月1日～8日)
37	〔献金願〕	1929(S4)年	手書資料。「保存」と手書き。昭和4年10月17日の第五会全県下組合協会信徒大会の開催、および経常費の不足につき、献金願。「市川むら」「立川つる」との署名あり。
38	『北斗』第五十五号	1929(S4)年	昭和4年11月20日発行。
39	新潟県公娼廃止期成同盟会 会員申込書	1929(S4)年	活字資料。昭和4年1月21日発行。新潟公娼廃止期成同盟会宣言および会則、役員・顧問名簿が付されている。未記入。
40	〔新潟県公娼廃止期成同盟会 街頭署名のビラ〕	1929(S4)年	活字資料。「昭和四年九月二十三日当市ニて街頭署名」と手書き。
41	新潟県公娼廃止期成同盟会 県会議員に送る	1929(S4)年	活字資料。昭和4年11月3日発行。「県会議員に送る」と手書き。宛名未記入。
42	新潟県公娼廃止期成同盟会 公娼廃止大演説会	1929(S4)年	活字資料。公娼廃止大演説会について案内。「時 二十八日(木)夜六時半」とあるが、手書きで「昭和四年十一月」と傍記。
43	新潟県公娼廃止期成同盟会 県会議員を送る	1929(S4)年	活字資料。昭和4年12月8日発行。「県会議員に送る」と手書き。宛名未記入。
44	新潟県公娼廃止期成同盟会 県会議員を送る	1929(S4)年	活字資料。昭和4年12月15日発行。「廃娼八十二月十四日県会ヲ通過セリキノハレルヤ」と手書き。宛名未記入。
45	長岡禁酒会 酒なし日 関東 大震災十年忌	1931(S6)年	活字資料。「九月一日 酒なし日 全国一斉」とあり。年号は45の書簡および48の新聞の切り抜きを参照。
46	〔納金願〕	1935(S10)年	活字資料。昭和10年7月発行。教会堂建築にあたっての納金願。宛名未記入。
47	〔市民基督教講座について 案内〕	1931(S6)年	活字資料。昭和6年3月発行。
48	〔婦選座談会〕	1931(S6)年	活字資料。新聞の切り抜きか。「昭和六年八月」「上越線開通博覧会当時」と手書き。
49	〔基督教講演会案内状〕	1934(S9)年	活字資料。「時日。十一月七日(水)」とあるが、手書きで「昭和九年」と傍記。「保存」と手書き。
50	〔長岡禁酒会会員各位への 書簡〕	1931(S6)年	手書書簡。「保存」「上越線開通博覧会当時ノ活働(ママ)」と手書き。45の「酒なし日」および48に手書きで記述のある「〔上越線開通〕博覧会」について言及。9月6日の講演会について案内。
51	音楽会入場券	1922(T11)年	活字資料。「大正十一年四月二十一日」に開催予定の音楽会入場券。「日曜学校協会寄付」。「長岡基督教青年会主催ノ越佐新報社後援」
52	〔長岡禁酒会申込書〕	不詳	活字資料。長岡禁酒会会則、申込書。未記入。
53	『北斗』第二十七号	1926(T15)年	大正15年12月20日発行。
54	『北斗』第六十八号	1931(S6)年	昭和6年4月17日発行。

55	『北斗』第六十三号	1930(S5)年	昭和5年8月15日発行。
56	『北斗』第一〇三号	1935(S10)年	昭和10年6月20日発行。
57	『北斗』第二十六号	1926(T15)年	大正15年11月20日発行。
58	〔第二回新潟県下組合諸教会信徒大会について案内〕	1926(T15)年	活字資料。14と重複。
59	音楽大演奏会曲目	不詳	活字資料。「期日 九月十八日〔土〕」とあり。長岡基督教会主催。
60	〔逢坂信吾 書簡〕	不詳	手書き。「十八日」とあり。宛名なし。下書きか。
61	〔第二回新潟県下組合諸教会信徒大会について案内〕	1926(T15)年	14と重複。手書きにて修正あり。
62	北斗付録(第三十二号)	1927(S2)年	昭和2年6月20日発行。「保存」と手書き。20の付録。
63	『北斗』第五十七号	1930(S5)年	昭和5年1月31日発行。「五」と手書き。
64	『北斗』第五十八号	1930(S5)年	昭和5年2月28日発行。
65	『北斗』第五十九号	1930(S5)年	昭和5年3月31日発行。「保存」と手書き。
66	『北斗』第六十号	1930(S5)年	昭和5年4月30日発行。「保存」と手書き。
67	『北斗』第六十一号	1930(S5)年	昭和5年5月20日発行。「保存」と手書き。
68	『北斗』第六十二号	1930(S5)年	昭和5年6月20日発行。
69	『北斗』第六十三号	1930(S5)年	昭和5年8月15日発行。
70	『北斗』第六十四号	1930(S5)年	昭和5年9月20日発行。
71	『北斗』第六十五号	1930(S5)年	昭和5年11月17日発行。付録あり。
72	『北斗』第六十六号	1930(S5)年	昭和5年12月20日発行。「保存」と手書き。
73	『北斗』第六十七号	1931(S6)年	昭和6年2月17日発行。
74	『北斗』第六十八号	1931(S6)年	昭和6年4月17日発行。「保存」と手書き。
75	『北斗』第六十九号	1931(S6)年	昭和6年5月20日発行。
76	『北斗』第七十号	1931(S6)年	昭和6年6月20日発行。「保存」と手書き。そのほか書き込みあり。
77	『北斗』第七十一号	1931(S6)年	昭和6年7月20日発行。
78	『北斗』第七十二号	1931(S6)年	昭和6年8月20日発行。付録あり。
79	『北斗』第七十三号	1931(S6)年	昭和6年10月4日発行。
80	『北斗』第七十四号	1931(S6)年	昭和6年11月20日発行。
81	『北斗』第七十五号	1931(S6)年	昭和6年12月20日発行。
82	『北斗』第七十六号	1932(S7)年	昭和7年2月17日発行。
83	『北斗』第七十七号	1932(S7)年	昭和7年3月31日発行。
84	『北斗』第七十八号	1932(S7)年	昭和7年5月18日発行。手書きで傍線あり。
85	『北斗』第七十九号	1932(S7)年	昭和7年6月30日発行。
86	『北斗』第八十号	1932(S7)年	昭和7年7月20日発行。
87	『北斗』第八十一号	1932(S7)年	昭和7年7月20日発行。手書きで傍線あり。
88	『北斗』第八十二号	1932(S7)年	昭和7年10月20日発行。
89	『北斗』第八十三号	1932(S7)年	昭和7年12月15日発行。
90	『北斗』第八十四号	1933(S8)年	昭和8年2月15日発行。
91	『北斗』第八十五号	1933(S8)年	昭和8年3月20日発行。
92	『北斗』第八十七号	1933(S8)年	昭和8年6月30日発行。2面に「第八十六号」とあり、手書きで修正。
93	『北斗』第八十八号	1933(S8)年	昭和8年8月30日発行。
94	『北斗』第八十九号	1933(S8)年	昭和8年9月20日発行。
95	『北斗』第九十号	1933(S8)年	昭和8年11月17日発行。
96	『北斗』第九十一号	1933(S8)年	昭和8年12月20日発行。
97	『北斗』第九十二号	1934(S9)年	昭和9年2月17日発行。
98	『北斗』第九十八号	1934(S9)年	昭和9年10月31日発行。
99	『北斗』第九十九号	1934(S9)年	昭和9年12月15日発行。
100	『北斗』第百号	1935(S10)年	昭和10年2月17日発行。
101	『北斗』第百二号	1935(S10)年	昭和10年5月19日発行。手書きで傍線あり。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

102	『北斗』 第三百号	1935(S10)年	昭和10年6月20日発行。「保存」と手書き。
103	『北斗』 第三百六号	1935(S10)年	昭和10年12月18日発行。「保存」と手書き。
104	『北斗』 第三百七号	1936(S11)年	昭和11年2月18日発行。
105	『北斗』 第三百七号	1936(S11)年	昭和11年2月18日発行。
106	『北斗』 第三百八号	1936(S11)年	昭和11年3月20日発行。「保存」と手書き。
107	『北斗』 第三百十四号	1936(S11)年	昭和11年9月20日発行。手書きにて校正。
108	『北斗』 第三百二十号	1937(S12)年	昭和12年5月18日発行。

IV-1 高梁教会所蔵資料

高梁教会所蔵資料 Reel No.1 (請求番号: 142-A)

番号	表題	作成年	備考
1	明治二十六年十二月収録／ 総員録	1893(M26)年	手書資料。表紙に「十五」と貼紙。受洗・入会年順に記載した信徒名簿。「明治十五年／七月二日／上代氏ヨリ受洗」から「大正十四年九月十五日伊吹牧師ヨリ受洗」まで。
2	戸籍簿	不詳	手書資料。表紙に「十四」と貼紙。受洗・入会年中に記載した信徒戸籍簿。「明治十五年四月二十六日岡山教会牧師金森道(ママ)倫ヨリ受洗入会ス」から「明治二十六年十月八日岡山教会ヨリ入籍」まで。戸籍簿には戸主の住所、氏名、身分、生業、戸主および家族の受洗・入会日、授洗者が記述されている。「人員表」「戸数表」「他ヨリ入籍」「他ヨリ送籍」「永眠表」なる表が付されている。
3	明治三十七年第一月ヨリ／ 義務金領収簿	1904(M37)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。
4	(寄付名簿)	1903(M36)年	手書資料。表紙に表題なし。「三十六年二月」から「四十年二月七日」まで。
5	明治四十年一月ヨリ／義務 金領収簿	1907(M40)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。
6	明治四十一年一月ヨリ／義務 金領収簿	1908(M41)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。
7	明治四十二年一月起／義務 金領収簿	1909(M42)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。
8	明治四十三年一月起／常費 献金領収簿	1910(M43)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。

昭和四十六年十一月調査 竹中正夫・坂本武人
昭和四十七年一月整理 杉井六郎

高梁教会所蔵資料 Reel No.2 (請求番号: 142-B)

番号	表題	作成年	備考
1	明治四十四年一月起／常費 献金領収簿	1911(M44)年	手書資料。作成者:「会計／石川豊次郎」。
2	明治四十五年一月ヨリ／金 銭出納簿	1912(M45)年	手書資料。
3	明治四十五年度／献金領収 元簿	1912(M45)年	手書資料。
4	大正二年一月／献金領収元 簿	1913(T2)年	手書資料。
5	大正二年一月／献金領収人 別簿	1913(T2)年	手書資料。
6	大正二年度起／地方伝道費 出納帳／並ニ決算	1913(T2)年	手書資料。作成者:「高梁基督教伝道係」。
7	大正三年一月ヨリ／献金領 収簿	1914(T3)年	手書資料。
8	大正三年／伝道金収入簿	1914(T3)年	手書資料。
9	大正四年／献金収入簿	1915(T4)年	手書資料。
10	大正四年／伝道金収入簿	1915(T4)年	手書資料。

11	大正五年／献金収納帳	1916(T5)年	手書資料。
12	大正五年度／伝道会収納帳	1916(T5)年	手書資料。
13	大正六年一月／献金受納簿	1917(T6)年	手書資料。
14	大正六年一月／伝道受納簿	1917(T6)年	手書資料。
15	大正七年度／献金収納簿	1918(T7)年	手書資料。

高梁教会所蔵資料 Reel 1No.3 (請求番号: 142-C)

番号	表題	作成年	備考
1	大正八年分／献金収納簿	1919(T8)年	手書資料。収納簿用紙に記入。
2	大正九年分／伝道金収納簿	1920(T9)年	手書資料。作成者:「高崎基督教会／会計」。
3	献金／伝道金／収納簿／大正十年度	1921(T10)年	手書資料。作成者:「会計」。
4	大正十一年度献金名簿	1922(T11)年	手書資料。表紙なし。
5	〔献金名簿〕	不詳	手書資料。表紙なし。24などと同じ様式。
6	〔献金名簿〕	不詳	手書資料。表紙なし。24などと同じ様式。
7	明治四十四年十一月／片山牧師報酬領収帳	1911(M44)年	手書資料。
8	大正三年九月／牧師報酬受領帳	1914(T3)年	手書資料。
9	明治四十三年十二月／クリスマス祝会収支明細	1910(M43)年	手書資料。
10	明治四十四年一月ヨリ／安息日学校集会帖／地方伝道費ニ充ツ	1911(M44)年	手書資料。作成者:「高梁基督教伝道係」。
11	寄付金	1905(M38)年	手書資料。作成者:「高梁基督教会青年協和会」。故赤木蘇平の記念文庫を設立するにあたっての寄付金願いおよび寄付金領収簿。「赤木記念文庫設立趣意」あり。
12	書籍購入簿	不詳	手書資料。作成者:「高梁基督教会内／記念赤木文庫」。34の赤木記念文庫の書籍購入簿。
13	書籍目録	不詳	手書資料。34の赤木記念文庫の書籍目録。書籍名、著者、寄贈者名が記される。
14	赤木文庫図書貸与／人名簿	1913(T2)年	手書資料。34の赤木記念文庫の書籍貸与人名簿。裏表紙に「大正三年十月調製」とあり。状態が悪く、難読。
15	明治三十五年／判帳	1902(M35)年	手書資料。
16	明治三十九年度高梁教会役員選挙投票簿	不詳	手書資料。封筒あり。
17	共有墓地書類 会員名簿共納	1945(S20)年	小袋。17～29を収納か。
18	明治二十五年九月／墓籍入／並ニ図面	1892(M25)年	小袋。作成者:「管理者留岡金助」。
19	明治二十五年九月／墓籍	1892(M25)年	手書資料。作成者:「管理者留岡金助」。「死亡者氏名年齢」「死亡年月俗名又ハ戒名ノ類」「埋火葬ノ区別」「及其年月日」「墓碑」「墓碑建設年月日及施主住所氏名」「備考」の項目あり。
20	岡山県上房郡高橋町共有墓地図	不詳	手書資料。地図1枚。「上房郡高梁町大字頼久寺町二十二番友別一段三畝八歩」とあり。
21	墓地及埋葬取締細則／埋葬認許証	1901(M34)年	手書資料。本文に「明治三十四年二月七日／岡山教会第二十六号／墓地及埋葬取締細則」とあり。
22	認許証検閲控帳	1911(M44)年	手書資料。「明治四十四年十月十九日」から「大正四年十一月十日」までの埋葬認許証を所収。
23	埋葬認許証／検閲済ノ分	1892(M25)年	手書資料。「明治二十五年九月二十一日」から「昭和十一年三月十二日」までの埋葬認許証を所収。
24	共有墓地会計書類	不詳	小袋。
25	明治四十三年十一月／高橋共有墓地／管理ニ関スル／金銭出納簿	1910(M43)年	手書資料。作成者:「管理者」。「収入ノ部」「支出ノ部」「対応表」とあり。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

26	〔墓地図面〕	不詳	墓地図面。作成者：「管理者小倉章蔵」。
27	領収用紙	1910(M43)年	手書資料。作成者：「高梁共有墓地管理者」。「明治四十四年十一月十三日 第一号」から「第六号」まで。
28	吉田内治書簡 児玉そもと宛	不詳	書簡。封筒あり。作成者：「吉田内治」。封筒に「十月四日」とあり。墓地処理について教会に委託する内容。
29	昭和六年五月十四日／整理委員会記録	1931(S6)年	手書資料。昭和6年5月14日の整理委員会記録。

IV-2 津山教会所蔵資料

津山教会所蔵資料 Reel No.1 (請求番号：CS110-P)

番号	表題	作成年	備考
1	明治四十一年起／青年会誌一	1908(M41)年	手書資料。作成者：津山中学校基督青年会。序文と「会則」が冒頭に記され、その後は明治41年1月8日から日付を付して青年会の議事録などが記されている。記述は同年10月7日まで。人文研に冊子体で所蔵あり。
2	〔金銭に関する記述〕	不詳	手書資料。作成者：「立石〔岐〕」。前後のコマに表紙のようなものあり。
3	〔明治三十六年～明治三十九年 津山教会会計記録〕	1903(M36)年	手書資料。ノート。表紙に表題等なし。明治36年1月～39年8月までの、各年度の「献金領収証控簿」(「常費献金領収証印簿」「献金領収簿」)、「金銭出納簿」(「常費出納簿」)、および、「明治三十九年度原簿」が記されている。
4	明治四十年一月一日ヨリ／教会記録	1907(M40)年	手書資料。「明治四十年一月元日」から「大正五年十一月十六日」まで日付を付して記述。大正3年6月28日から大正5年まで人文研に所蔵なし。
5	大正六年一月以降／教会記録	1917(T6)年	手書資料。「大正六年一月」から「大正六年十一月十六日」まで日付を付して記述。人文研に冊子体で所蔵あり。
6	大正七年度／教会記録	1918(T7)年	手書資料。「一月四日」から「三月三十一日」まで日付を付して記述。人文研に冊子体の所蔵あり。
7	〔大正十一年 教会記録〕	1922(T11)年	手書資料。「自大正十一年一月 至大正十一年六月 津山基督教会記録」と記述があるが、大正11年1月の記述のみ。人文研に冊子体で所蔵あり。
8	大正十二年度／記録	1923(T12)年	手書資料。「一月七日」から「(六月)十七日」まで日付を付して記述。人文研に冊子体で所蔵あり。
9	明治三十六年／会堂新築費支払簿	1903(M36)年	手書資料。
10	津山基督教会堂建築清算下書	不詳	手書資料。
11	明治三十六年／会堂新築寄付金簿	1903(M36)年	手書資料。
12	〔岩城忠四郎書簡 岡山県知事横溝光暉宛〕	1883(M16)年	書簡。作成者：岩城忠四郎。本文に「日本組合勝山基督教会岩城忠四郎」とあり。封筒表に「明治十六年二月二十日 勝山教会 岡山県知事宛報告控在中」、封筒裏に「日本組合基督教会本部」とあり。
13	津山教会会則	不詳	印刷物。
14	津山教会会則	1890(M23)年	印刷物。「耶蘇降世 一千八百九十年 津山基督教会規則 明治二十三年六月」とあり。

IV-3 久世教会所蔵資料

久世教会所蔵資料 Reel No.1 (請求番号：CS 110-O)

番号	表題	作成年	備考
1	文稿	1923(T12)年～1941(S16)年	手書資料。作成者：小松鉄一郎。簿冊の表紙に「文稿」とあり、牧師小松鉄一郎の手による手記が中心。弔辞や送辞の原稿、書館の原稿と思われるもののほか、読書や日々の感想と思われる記述が、それぞれ小題を付して書かれており、書きぶりから説教の原稿ともとれるが詳細は不明である。

2	守田幸吉郎書簡 森上かえん宛	不明	書簡。消印「11.9.9」。本文に「九月九日」とあり。作成者：守田幸吉郎。
3	石井十次書簡 森上かめ子宛	不明	書簡。本文と封筒裏に「八月二五日」とあり。作成者：石井十次。
4	石井十次書簡 森上信宛	1908(M41)年	書簡。作成者：石井十次。
5	大賀一郎書簡 呉島義承宛	1902(M35)年	書簡。作成者：大賀一郎。
6	明治三十八年日誌	1905(M38)年	手書資料。作成者：小松鉄一郎か。一月一日から十月二十日まで。日付と天気を書き付してほぼ毎日記述。
7	下村源治氏略歴	不明	手書資料。6と同簿冊か。
8	小松先生の追憶	不明	手書資料。「一九六二年九月十六日(日)／小松先生記念集会(久世教会にて)」と表紙にあり。全12枚。
9	広報久世	“1960(S35)年～1961(S36)年”	刊行物。「広報久世」と記された簿冊に綴られている。昭和35年4月20日第46号から昭和36年1月1日第55号までが順序不問で綴られており、第51号から第54号までは欠号。久世町報道委員会が出版。
10	太平に門造	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。小松鉄一郎の伝記の一部ともとれる記述。詳細は不明。原稿用紙に「てしまとよたね」と印字あり。
11	久世風土記(13)／秀英学舎	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「久世町報道原稿用紙」とあり、また「9月号」との書き込みもあることから、「広報久世」の原稿である可能性も考えられる。
12	久世風土記⑭／歌はでやあるべき	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「久世町報道原稿用紙」とあり。
13	久世風土記⑮／千貫水(せんがんみず)	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「久世町報道原稿用紙」とあり。「10月号」と書き込みあり。
14	久世風土記⑯／前田女学校	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「久世町報道原稿用紙」とあり。
15	久世風土記⑰／中町界隈	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまとよたね」と印字あり。
16	久世風土記⑱／精水舎談議	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
17	久世風土記⑳／泉庵先生	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。
18	久世風土記㉑／正札付引	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
19	(ニ) 熊本バンド	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：〔豊島十歩〕。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり、筆致からも豊島によるものと思われる。小松鉄一郎についての記述あり。
20	久世風土記㉒／三人の学徒たち	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
21	久世風土記㉓／チンより上の人	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。表題の「チン」は「駄」の上から消すように書かれている。
22	久世風土記／成金時代	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
23	久世風土記／岡山県勝山中学校	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
24	久世風土記㉔／天幕伝道	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
25	久世風土記／早川代官	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
26	久世風土記／落合高等女学校	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

27	久世風土記／日本の盲腸	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
28	久世風土記㊸／第三郡是	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。
29	久世風土記㊸／ぬけ道	不明	手書資料。9と同簿冊か。原稿用紙。作成者：豊島十歩。原稿用紙に「てしまよしたね」と印字あり。

IV-4 倉敷教会所蔵資料

倉敷教会所蔵資料 Reel No.1 (請求記号：110Z)

番号	表題	作成年	備考
1	〔基督教倉敷伝道概要〕	1880(M13)年	手書資料。明治13～20年。1～20まで「教会設立関係資料」、分類番号1(101～120)。「木村和吉氏日記より抜出されたもの」と書き込みあり。
2	〔立山岐書簡 高戸猷宛〕	1896(M29)年	書簡。封筒なし。明治29年5月19日。作成者：立山岐。
3	内務省令第四一号	1899(M32)年	手書資料。明治32年7月27日発行。「都窪郡倉敷町役場」と印字のある原稿用紙。
4	〔信者求道者懇談会〕	1906(M39)年	手書資料。明治39年5月27日発行。作成者：「倉敷部会」。
5	〔協議会案内〕	1906(M39)年	手書資料。明治39年5月27日発行。作成者：「岡山基督教会倉敷部会」。「一 倉敷教会設立の件／二岡山県聖書伝道会解散の件／に付協議会」とあり。
6	〔仮教会設立承認願〕	1906(M39)年	手書資料。明治39年6月18日発行。「岡山基督教会執事御中」とあり。
7	〔岡山県伝道会〕	1906(M39)年	手書資料。明治39年6月28日発行。
8	〔教会設立承認〕	1906(M39)年	手書資料。明治39年6月28日発行。作成者：「岡山基督教会」。
9	倉敷基督教会仮教会略歴	1906(M39)年	手書資料。「明治三十九年七月一日／設立式に朗読したるもの」と書き込み有。
10	〔倉敷集中伝道について〕	1908(M41)年	手書資料。明治41年5月発行。作成者：「倉敷基督教会執事」。「日本組合基督教会／集中伝道委員御中」とあり。「倉敷集中伝道」「準備」「活動の計画」「戦闘状況」「会合模様」との項目あり。
11	教会設立御届	1920(T9)年	手書資料。大正9年12月3日発行。「写」と書き込みあり。書写したのか。「岡山県知事 香川輝殿」とあり。「倉敷基督教会堂平面見取図」「履歴書」(林源十、木村和吉のもの。木村が作成)が付されている。
12	教会設立御願	1920(T9)年	手書資料。大正9年12月3日発行。「岡山県知事香川輝殿」とあるが、「香川輝」が後筆で「長延連」と訂正されている。11と同じく「見取図」と「履歴書」が付されている。
13	〔教会設立認可許可証〕	1923(T12)年	印刷物。大正12年8月30日発行。「岡山県指令兵第九九二号」。
14	〔財団法人設立許可証〕	1925(T14)年	手書資料。大正14年2月12日発行。「文部省岡宗一一」「文部大臣岡田良平」とあり。「教会設立許可申請書」「財団法人倉敷基督教会維持財団寄付行為」「倉敷基督教会規約」「財産目録」「承諾書」「履歴書」(林源十郎、木村和吉、田崎健作)「証明書」「法人設立ニ関スル事項」が付されている。
15	財団法人設立当時資産総額／並ニ寄付者調査	1925(T14)年	手書資料。作成者：林源十郎。「総額(大正十四年二月)」とあり。
16	財団法人倉敷基督教会定款	1925(T14)年	印刷物。大正14年2月発行。
17	財団法人申請登記簿	1928(S3)年	手書資料。昭和3年4月23日発行。作成者：「裁判所書記／川口為太郎」。「登記番号第五号」。
18	倉敷基督教会略史	1925(T14)年	刊行物。大正14年4月12日発行。表紙に「中国部会の最教会設立漫二十年祝会に朗読したるもの」とあり。

19	〔倉敷教会献堂式関係書類〕	1923(T12)年	教会献堂式に関連する書類群。「会堂建築定礎」「敷地図面」「献堂式案内」「会計報告」「オルガン輸送証明」「西尾幸太郎書簡」「電報」「十八年度総会」「建築決算報告」「十七年度会計報告」「信徒数など。
20	〔求道者名簿〕	1905(M38)年	手書資料。明治38年5月～明治39年12月。
21	倉敷教会会計報告第十六年度	1921(T10)年	手書資料。大正10年7月～大正11年6月。21～74まで「財団法人関係資料並教会員名簿」、分類番号2(201～253)。
22	〔委任状〕	1925(T14)年	手書資料。大正14年2月21日発行。教会設立登記申請を委任。「法人設立登記申請」「財団法人倉敷基督教会維持財団寄付行為」「財産目録」が付され、「許可書以下申請書ヲ添付スル事」とあり。
23	財団法人倉敷基督教会維持財団事業報告	1925(T14)年	手書資料。大正14年6月17日。作成者：林源十郎。「文部大臣岡田良平殿」とあり。「財産目録」が付されている。
24	財団法人倉敷基督教会維持財団事業報告	1926(T15)年	手書資料。大正15年6月17日。作成者：林源十郎。「文部大臣岡田良平殿」とあり。「財産目録」そのほか提出書類が付されている。
25	〔岡山地方裁判所通知書〕	1928(S3)年	手書資料。昭和3年3月29日。
26	〔理事就任承諾書〕	1928(S3)年	手書資料。昭和3年2月29日。作成者：林源十郎。木村幸一、高戸猷の理事就任の承諾書。木村と高戸の戸籍が付されている。
27	昭和二年度財団法人倉敷基督教会事業報告	1928(S3)年	手書資料。昭和3年7月。作成者：林源十郎。
28	財団法人倉敷基督教会臨時総会決議録	1929(S4)年	手書資料。昭和4年2月28日。
29	昭和三年度財団法人倉敷基督教会事業報告	1929(S4)年	手書資料。昭和4年4月。作成者：林源十郎。
30	昭和四年度財団法人倉敷基督教会事業報告	1930(S5)年	手書資料。昭和5年4月。作成者：林源十郎。
31	昭和五年度財団法人倉敷基督教会事業報告	1931(S6)年	手書資料。昭和6年7月。作成者：林源十郎。
32	倉敷基督教会昭和五年中記録摘要	1931(S6)年	手書資料。昭和6年7月。作成者：林源十郎。
33	保証書	1931(S6)年	手書資料。印刷物。昭和6年。作成者：林源十郎。「岡山県知事野邦一」とあり。
34	昭和六年度財団法人倉敷基督教会事業報告	1932(S7)年	手書資料。昭和7年5月18日。作成者：林源十郎。
35	倉敷基督教会昭和五年中記録摘要	1932(S7)年	手書資料。昭和7年5月。作成者：林源十郎。
36	財団法人倉敷基督教会臨時総会決議録	1933(S8)年	手書資料。昭和8年3月28日。作成者：「理事 林源十郎」。
37	昭和八年一月昭和八年六月一年六ヵ月間事業報告	1933(S8)年	手書資料。昭和8年7月。作成者：「理事 林源十郎」。
38	昭和八年七月ヨリ昭和九年六月マデーヵ年間事業報告	1935(S10)年	手書資料。昭和10年1月。作成者：「理事 林源十郎」。
39	〔昭和9年7月～昭和10年6月財団法人倉敷基督教会事業報告〕	1936(S11)年	手書資料。昭和11年2月20日。作成者：「理事 林源十郎」。
40	〔文部省宗教局問会並報告〕	1936(S11)年	手書資料。昭和11年4月27日。作成者：「文部省宗教局」。林源十郎による回答、「履歴書」が付されている。
41	昭和十年年度財団法人倉敷基督教会事業報告／付録倉敷基督教会記録摘録其外	1936(S11)年	手書資料。昭和11年7月。作成者「理事 林源十郎」。
42	〔林源十郎書簡〕	1937(S12)年	手書資料。昭和12年12月。状態が悪く、難読。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

43	昭和十三年度上半期教勢及 財政調査	1938(S13)年	活字資料、及び手書き資料。昭和13年7月25日。
44	昭和十一年度財団法人倉敷 基督教会事業報告	1938(S13)年	手書資料。昭和13年9月。
45	昭和十二年度財団法人倉敷 基督教会事業報告	1938(S13)年	手書資料。昭和13年9月。
46	〔昭和13年度報告下調書〕	1939(S14)年	手書資料。昭和14年7月。47の下調書。状態が悪く難 読。
47	〔昭和13年度報告書〕	1939(S14)年	手書資料。昭和14年11月。
48	昭和十四年度(昭和十四年 ヨリ昭和十五年六月三十日 マデ)報告書	1941(S16)年	手書資料。昭和16年1月。作成者：「代表理事 林源 十郎」。
49	昭和十五年度(自昭和十五 年五月/至昭和十六年六 月)報告書	1941(S16)年	手書資料。昭和16年8月15日。作成者：「主管者/西 田進」。
50	〔求道者名簿〕	1907(M40)年	手書資料。明治40年1月。
51	〔倉敷町現住教会員戸数〕	1922(T11)年	手書資料。大正11年3月3日。
52	大正十三年三月調/会員名 簿	1924(T13)年	印刷物。大正13年3月。
53	〔信徒数報告催促〕	1925(T14)年	手書資料。大正14年1月28日。作成者：「監理者 林 源十郎」。
54	〔教会員脱会届〕	1925(T14)年	手書資料。大正14年2月9日。
55	倉敷基督教会信徒数届	1926(T15)年	手書資料。大正15年1月13日。
56	財団法人倉敷基督教会信徒 数届	1929(S4)年	手書資料。昭和4年1月。作成者：「理事 林源十郎」。
57	財団法人倉敷基督教会信徒 数届	1930(S5)年	手書資料。昭和5年1月。作成者：「理事 林源十郎」。
58	昭和五年七月一日/教会第 二十五年度/倉敷教会々員 名簿	1930(S5)年	手書資料。昭和5年7月1日。
59	倉敷基督教会信徒数届	1931(S6)年	手書資料。昭和6年1月。
60	教会第二十六年度/財団法人 倉敷基督教会々員名簿/ 昭和六年度七月一日現在	1931(S6)年	手書資料。昭和6年7月1日。
61	教会第二十六年度/財団法人 倉敷基督教会々員名簿/ 昭和六年度七月一日現在	1931(S6)年	60と重複。
62	倉敷基督教会信徒数届	1932(S7)年	手書資料。昭和7年1月。『生命』付録。
63	財団法人倉敷組合教会々員 名簿	1932(S7)年	活字資料。昭和7年7月1日。
64	倉敷基督教会信徒数届	1933(S8)年	手書資料。昭和8年1月。作成者：「理事 林源十郎」。
65	教会二十九年度/財団法人 倉敷組合基督教会々員名簿 /昭和九年七月二日現在	1934(S9)年	手書資料。昭和9年7月2日。
66	〔照会状〕	1935(S10)年	手書資料。昭和10年1月26日。作成者：「倉敷市長平松 俊太郎」。「信徒数届出ノ件」とあり。林源十郎の回答 も付されている。
67	日本組合倉敷基督教会役員 名簿(昭和十年一月現在)	1935(S10)年	手書資料。昭和10年1月。
68	信徒数届	1937(S12)年	手書資料。昭和12年4月24日。
69	信徒数届(控)	1938(S13)年	手書資料。昭和13年2月。68の控。
70	第三十三年度/倉敷基督教 会々名簿	1938(S13)年	手書資料。昭和13年7月。
71	信徒数届	1940(S15)年	手書資料。昭和15年2月5日。

72	教会員名簿／倉敷教会／東方用	1944(S19)年	手書資料。昭和19年6月～昭和22年。
73	求道決心者氏名	不詳	手書資料。
74	岡山県伝道会計決算報告(二十九年四月より四十年五月迄)	1906(M39)年	手書資料。明治39年4月～昭和18年3月。74～107まで「倉敷教会会計報告」分類番号3(301～334)
75	倉敷基督教会第三年度会計報告	1908(M41)年	手書資料。明治41年7月～明治41年12月。
76	四十二年クリスマス祝会会計報告	1909(M42)年	手書資料。明治42年。
77	倉敷基督教会第三年度会計報告(第一号)	1910(M43)年	手書資料。明治43年9月。
78	倉敷教会々計報告(第十二年度ノ内)ノ自大正七年六月ノ至大正七年五月(常費)	1918(T7)年	手書資料。大正7年6月。「会員消息」が付されている。
79	倉敷教会会計報告第十三年度上期	1918(T7)年	活字資料。大正7年7月～大正7年12月。「倉敷教会十二年度会計報告」が付されている。
80	倉敷教会会計月表	1919(T8)年	手書資料。大正8年3月～大正9年6月。「クリスマス会計」が付されている。
81	倉敷教会々計報告(經常費)第十四年度	1919(T8)年	手書資料。大正8年7月～大正9年6月。
82	倉敷教会々計報告(經常費)第十五年度	1920(T9)年	手書資料。大正9年7月～大正10年6月。
83	倉敷教会々計月表	1920(T9)年	手書資料。大正9年7月～大正10年6月。
84	倉敷教会会計報告第十九年度	1924(T13)年	手書資料。大正13年7月～大正14年6月。
85	倉敷日曜学校報告	1925(T14)年	手書資料。大正14年7月～大正15年6月。
86	第二十年年度倉敷教会々計報告	1925(T14)年	手書資料。大正14年7月～大正15年6月。
87	第21年度倉敷教会々計報告	1926(T15)年	手書資料。大正15年7月～昭和2年6月。
88	倉敷教会々計報告	1927(S2)年	手書資料。昭和2年1月～昭和2年3月。
89	倉敷教会々計報告	1927(S2)年	手書資料。昭和2年2月～昭和2年9月。
90	第二十二年度倉敷基督教会々計報告	1927(S2)年	手書資料。昭和2年7月～昭和3年6月。
91	倉敷教会第二十二年度報告	1927(S2)年	手書資料。昭和2年7月～昭和3年6月。「会員増減」「諸集会表」。
92	倉敷教会々計報告	1928(S3)年	手書資料。昭和3年1月～昭和3年3月。
93	倉敷教会々計報告	1928(S3)年	手書資料。昭和3年2月～昭和3年9月。
94	倉敷教会第二十三年度会計報告	1928(S3)年	手書資料。昭和3年7月～昭和4年6月。
95	日曜学校昭和四年度出席調査	1929(S4)年	手書資料。昭和4年1月～昭和4年12月。
96	倉敷教会第二十五年度会計報告	1930(S5)年	手書資料。昭和5年7月～昭和6年6月。
97	倉敷教会第二十六年度会計報告	1931(S6)年	手書資料。昭和6年7月～昭和7年6月。
98	会計報告	1932(S7)年	手書資料。昭和7年5月～昭和7年6月。状態が悪く、難読。
99	倉敷教会第二十七年度会計報告	1932(S7)年	手書資料。昭和7年7月～昭和8年6月。
100	倉敷教会第二十八年度会計報告	1933(S8)年	手書資料。昭和8年7月～昭和9年6月。
101	倉敷教会第二十九年度会計報告	1934(S9)年	手書資料。昭和9年7月～昭和10年6月。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

102	倉敷教会第三十年度会計報告	1935(S10)年	手書資料。昭和10年7月～昭和11年6月。
103	倉敷教会第三十三年度会計報告	1938(S13)年	手書資料。昭和13年7月～昭和14年6月。
104	昭和十四年九月報告	1939(S14)年	手書資料。昭和14年8月23日。教勢に関する質問書あり。
105	倉敷教会第三十五年度会計報告	1940(S15)年	手書資料。昭和15年7月～昭和16年6月。
106	倉敷教会第三十六年度会計報告	1941(S16)年	手書資料。昭和16年7月～昭和17年6月。
107	倉敷教会第三十六年度会計報告	1942(S17)年	手書資料。昭和17年7月～昭和18年6月。
108	仮会堂捧堂敷	1911(M44)年	活字資料。明治44年9月27日。108～reel3の47まで「重要記録」分類番号4(401～420)。ただし、分類番号には更に枝番号あり。401は「明治44年重要記録」。108は分類番号401-01。
109	大正十三年／九月 於京都／第四十回総会議案	1924(T13)年	活字資料。大正13年9月。分類番号402。「大正13年重要記録」。
110	財団法人倉敷教会定款	1925(T14)年	活字資料。大正14年2月12日。分類番号403。「大正14年重要記録」。111も同様。
111	大正十四年／九月 於東京／第四十一回総会議案	1925(T14)年	活字資料。大正14年9月。
112	倉敷教会第二十三年度報告	1929(S4)年	手書資料。昭和4年6月。94と同資料か。分類番号404。「昭和14年重要記録」。113も同様。
113	履歴書	1929(S4)年	手書資料。昭和4年。田崎健作履歴書。
114	倉敷教会第二十四年度会計報告	1930(S5)年	手書資料。昭和5年7月1日。分類番号405。「昭和5年重要記録」。115～121も同様。
115	倉敷教会昭和五年	1930(S5)年	手書資料。昭和5年10月～12月。
116	〔神の国運動関係資料〕	1930(S5)年	手書資料および印刷物。昭和5年3月。
117	倉敷教会二十五年度報告	1930(S5)年	手書資料。昭和4年7月～昭和5年6月。
118	戦報	1930(S5)年	手書資料。昭和5年6月号。
119	倉敷基督教会青年会館建設経過報告	1930(S5)年	手書資料。昭和5年10月。
120	昭和五年三月神之国(賀川豊彦)求道決心者名簿	1930(S5)年	手書資料。昭和5年。
121	〔倉敷基督教会創立二十五年記念祝賀会関係資料〕	1930(S5)年	手書資料、印刷物。「倉敷教会創立二十五年祝賀会案内」〔「青年会館建設寄付金願」〕〔「青年会館落成記念祝賀会」〕あり。
122	〔倉敷基督教会昭和6年各月報告(含会計)〕	1931(S6)年	手書資料。昭和6年4月～12月。昭和6年の田崎健作の訪欧に関連する「〔田崎健作〕休暇願」「〔田崎健作〕予定表」〔「臨時委員会案内」〕〔「田崎健作旅費寄付金願」〕などの資料が付されている。分類番号406。「昭和6年重要記録」。123も同様。
123	〔昭和5年度特別伝道報告概要関係資料〕	1931(S6)年	活字資料。特別伝道について資料。「昭和5年度特別伝道報告概要」、「日本組合中国部会報」第45号、第47号、「特別伝道」第1年第6号。
124	倉敷教会第二十六年度報告	1932(S7)年	手書資料。昭和7年6月。分類番号407。「昭和8年重要記録」。124～126も同様。
125	〔在満招聘慰問関係資料〕	1932(S7)年	手書資料。昭和7年10月。「倉敷出身在満将士」など。
126	〔昭和7年度特別伝道報告概要関係資料〕	1932(S7)年	活字資料。昭和7年。「特別伝道」第2年第7号、「日本組合中国部会報」第47号、第46号、「日本組合教会第四十八回総会グループ協議会報告」。
127	〔倉敷基督教会昭和17年各月報告〕	1932(S7)年	手書資料。昭和7年1月～12月。

倉敷教会所蔵資料 Reel No.2 (請求記号：111A)

番号	表題	作成年	備考
1	〔倉敷基督教会昭和8年各月報告〕	1933(S8)年	手書資料。昭和8年1月12月。分類番号408。「昭和8年重要記録」。2～4も同様。
2	〔石井十次記念協会関係資料〕	1933(S8)年	印刷物。昭和8年12月。「岡山石井記念協会々則案」〔石井記念協会集会改定案〕。
3	日本組合教会第四十九回總會グループ協議会報告	1933(S8)年	活字資料。昭和8年10月。
4	昭和八年倉敷教会暦	1933(S8)年	活字資料。
5	倉敷基督教会役員会記録帳／自昭和九年一月	1934(S9)年	手書資料。昭和9年1月12日から昭和15年1月19日まで日付を付して記述。分類番号409。「昭和9年重要記録」。5～14も同様。
6	昭和八年度会計報告	1934(S9)年	手書資料。昭和9年。作成者：倉敷基督教会青年会。
7	〔昭和9年倉敷教会各月報告〕	1934(S9)年	手書資料。昭和9年1月～6月。〔「倉敷教会第二十八年度報告会員増減」〕「倉敷教会第二十八年度会計報告」〔倉敷基督教会役員仕事分担表〕が付されている。
8	倉敷基督教会第二十九回定期総会決議及承認事項	1934(S9)年	手書資料。昭和9年6月。「倉敷教会第二十八年度会計報告」〔「倉敷教会第二十八年度報告会員増減」〕が付されている。
9	昭和九年六月ヨリ／倉敷教会婦人会記録	1934(S9)年	手書資料。昭和9年6月13日から昭和13年9月14日まで日付を付して記述。
10	特別伝道小口寄付金趣意書	1934(S9)年	活字資料。昭和9年1月。作成者：理事長鈴木浩二、特別伝道実行委員長畠中博。
11	〔信徒協議会通知〕	1934(S9)年	活字資料。昭和9年10月4日開催予定の信徒協議会の案内。作成者：「神戸平信徒 発起社一同」。
12	〔日本興国同盟関係資料〕	1934(S9)年	活字資料。昭和9年。「日本興国同盟員名簿」「日本興国同盟要項」。
13	〔アダムス記念館後援会趣意〕	1934(S9)年	活字資料。昭和9年。作成者：アダムス記念館後援会。高戸猷宛。
14	昭和九年倉敷教会暦	1934(S9)年	活字資料。
15	昭和八年七月ヨリ昭和九年六月マデーヶ月間事業報告	1935(S10)年	手書資料。昭和10年1月。作成者：「財団法人倉敷基督教会理事林源十郎」。分類番号410。「昭和十年重要記録」。16も同様。
16	〔倉敷基督教会総会関係資料〕	1935(S10)年	手書資料。「倉敷基督教会第三十回定期総会並倉敷基督教会財団法人総会通知」〔倉敷基督教解題三十回定期総会決議及承認事項〕「倉敷教会第二十九年度会計報告」その他会計報告。
17	倉敷教会第三十年度会計報告	1936(S11)年	手書資料。昭和10年7月～昭和11年6月。分類番号411。「昭和11年重要記録」。
18	役員会記録(昭和十二年三月以降)	1937(S12)年	手書資料。昭和12年3月8日から12月21日まで日付を付して記述。分類番号411。「昭和12年重要記録」。18～32も同様。
19	倉敷基督教会週報	1937(S12)年	活字資料。昭和12月1月3日号(第736号)～12月26日(第788号)。第742号、第755号欠号。
20	〔昭和12年度倉敷教会々員増減表〕	1937(S12)年	手書資料。昭和12年7月～昭和13年6月。「倉敷基督教会週報」第793号、第774号、775号、776号、770号の裏に記述したか。
21	〔昭和12年倉敷基督教会各月会計報告〕	1937(S12)年	手書資料。昭和12年1～8月、10月。
22	〔賀川豊彦講演習集會記録〕	1937(S12)年	手書資料、印刷物。昭和12月10日～12月12日。〔「日本基督教連盟事務所書簡 田崎連作宛」〕「賀川講師ノ演題」〔「日本基督教連盟事務所書簡 林源十郎宛」〕「講師出張に対する準備要領」〔「講演会パンフレット」〕
23	昭和十三年度に於ける伝道部事業の鳥瞰	1937(S12)年	活字資料。昭和12年11月。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

24	支那事変に関する声明	1937(S12)年	活字資料。昭和12年10月8日。「時局ニ処スル申合」 「趣意献金依頼状」が付されている。
25	日本組合教会第五十三回総会関係記録	1937(S12)年	手書資料。昭和12年7月～10月。「日本組合基督教会第五十三回を岡山に迎へますに就て」 「総会準備接待部会第一回記録」 「〔準備委員会会報〕」 「〔準備員会案内〕」 「日本組合基督教会男女青年会連盟中央委員会報告」 「日本組合基督教会男女青年会連盟誌」 第5号、第6号 「日曜学校教師協議会」 「総会プログラム」 「第五十三回組合基督教会総会順序」 「総会支出之部」 「〔特別講演会案内〕」 「信徒出席者宿泊一覽表」
26	事変に関する通牒	1937(S12)年	活字資料。昭和12年8月5日。作成者：日本基督教連盟慰問事業部。
27	霊火燃え盛る青年総会のために	1937(S12)年	活字資料。昭和12年7月6日。作成者：中国部会青年連盟幹事長 清水久男。
28	日本組合基督教会男女青年会連盟中国部会規約	1937(S12)年	手書資料。昭和12年7月。「〔第十回日本組合基督教会男女青年会連盟大会記録〕」が付されている。
29	倉敷基督教会青年会名簿	1937(S12)年	手書資料。昭和12年。表紙に「不完全ナリ訂正ノ事」と書き込みあり。
30	六高基督教青年会の近況	1937(S12)年	手書資料、印刷物。昭和12年5月。作成者：山岡望編集。「六高基督教青年会々員名簿」が付されている。
31	満州伝道資金申込書	1937(S12)年	活字資料。昭和12年4月。日本組合基督教会男女青年会連盟宛。
32	〔昭和十二年度教会記録〕	1937(S12)年	手書資料、印刷物。スクラップブックにまとめられている。昭和12年3月。「総会準備員会々報」 「〔総会予算報告〕」 「予約申込書」 「〔部会総会出席願〕」 「〔西尾幸太郎書簡 更井良夫宛〕 (葉書)」 「〔今泉真幸書簡 林源十郎宛〕 (封筒あり)」 「〔部会経費支出決算明細書〕」 「〔部会収支予算〕」 「〔亀山典之書簡 高戸猷宛〕 (葉書)」 「〔林源十郎書簡 高戸猷宛〕 (葉書)」 「〔岸田耕誥書簡 高戸猷宛〕 (葉書) (封筒あり)」 「中国部会報」 「総会準備接待部会記録」 『生命』 臨時増刊など。
33	役員会常置委員会記録	1938(S13)年	手書資料。昭和13年1月9日から昭和15年12月12日まで日付を付して記述。
34	倉敷基督教会牧会日誌	1938(S13)年	手書資料。昭和13年7月1日から11月3日まで日付を付して記述。
35	昭和十三年度教会要報	1938(S13)年	手書資料。昭和13年7月1日から昭和14年12月31日まで日付を付して記述。

倉敷教会所蔵資料 Reel No.3 (請求記号：111B)

番号	表題	作成年	備考
1	〔昭和13年度教会行事記録〕	1938(S13)年	手書資料、印刷物。スクラップブックに貼り付け。昭和13年1月～15年11月。「教会暦」「会員名簿」「役員仕事分担」「新年信徒修養会順序」など。分類番号413。「昭和13年重要記録」。
5	謹んで全国主に在る兄弟姉妹に告ぐ	1939(S14)年	活字資料。昭和14年6月20日。分類番号414。「昭和14年重要記録」。5、6、8も同様。
6	基督教報告会趣意書	1939(S14)年	印刷物。昭和14年8月。「基督教報告会会報」第1号が付されている。
8	〔連盟デー寄付募集〕	1939(S14)年	印刷物。昭和14年10月25日。
9	同意書	1940(S15)年	手書資料。昭和15年4月1日。分類番号415。「昭和15年重要記録」。10も同様。
10	宗教団体法広島講習会報告事項	1940(S15)年	手書資料。昭和15年。
11	合同教団設立ニ対スル同意書ノ件	1941(S16)年	活字資料。昭和16年5月29日。「教団設立同意書」 「〔日本組合基督教会本部書簡 西田進宛〕 (葉書)」が付されている。分類番号416。「昭和16年重要記録」。12も同様。

12	宗教三関スル法人調	1941(S16)年	手書資料。昭和16年8月16日。
13	昭和十七年二月二日役員会協議々題	1942(S17)年	手書資料。昭和17年2月2日。分類番号417。「昭和17年重要記録」。14～17も同様。
14	教会会議議事録	1942(S17)年	手書資料。昭和17年2月6日。状態が悪く、難読。
15	日本基督教団倉敷教会規則	1942(S17)年	活字資料、手書き資料。
16	昭和17年度倉敷教会暦	1942(S17)年	活字資料。昭和17年1月～6月。
17	昭和十七年／千九百四十二年／教会日誌	1942(S17)年	手書資料。昭和17年1月4日から12月28日まで日付を付して記述。
18	教会会議議事録	1943(S18)年	手書資料。昭和18年3月28日。分類番号418。「昭和18年重要記録」。18～32も同様。
19	倉敷教会会計報告	1943(S18)年	手書資料。昭和18年3月～9月。
20	昭和十八年／千九百四十〔空白〕年／教会日誌	1943(S18)年	手書資料。昭和18年1月1日から11月21日まで日付を付して記述。
21	〔中国部会青年会連盟書簡倉敷基督教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年4月22日。
22	〔基督教海外伝道協会書簡日本基督教団倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年6月20日。
23	〔札幌組合基督教会書簡倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年7月15日。入会通知書。
24	〔日本基督教団合同感謝献金中央委員会書簡日本基督教団倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年8月27日。
25	〔日本基督教団岡山県支教会区事務所書簡日本基督教団倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年9月1日。
26	〔日本基督教団第三部書簡倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年9月8日、9月22日。
27	〔倉敷郵便局書簡 林源一郎宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年9月29日。
28	〔日本基督教団鳥取教会書簡 倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。2通。昭和18年10月8日、10月24日。
29	〔南京日本基督教連盟書簡倉敷教会宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年11月。
30	〔斎藤庄一書簡 田中崑久宛〕	1943(S18)年	書簡。封筒あり。昭和18年11月3日。
31	昭和十八年度日本基督教団倉敷教会暦	1943(S18)年	活字資料。昭和18年1月～6日。
32	日本基督教団戦時報国会倉敷教会国民貯蓄組合規約	1943(S18)年	手書資料。元々教会名が空いているフォーマットがあり、「倉敷」と記入されている。
33	昭和十九・四・一六／教会々議	1944(S19)年	手書資料。封筒にまとめて保存か。昭和19年4月16日。「委任状」が複数同封。分類番号419。「昭和19年重要記録」。33～36も同様。
34	〔日本基督教団書簡 日本基督教団倉敷教会宛〕	1944(S19)年	書簡。葉書。昭和19年8月。「五句祭伝道日」のパンフレットが付されている。
	協議会書類	1944(S19)年	手書資料、印刷物。封筒にまとめて保存か。昭和19年10月24日、25日。戦時活動協議会関係の資料。「岡山教区通信」「岡山県支教会戦時活動教化協議会」
35	〔昭和19年9、10月会計報告〕	1944(S19)年	手書資料。昭和19年11月。
36	〔昭和19年 教会日誌〕	1944(S19)年	手書資料。昭和19年4月30日から10月30日まで日付を付して記述。
37	〔礼拝当番〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年7月2日。状態が悪く、難読。分類番号420。「昭和21年重要記録」。37～47も同様。
38	高戸先生送別会日曜学校教師慰労会御案内	1946(S21)年	手書資料。昭和21年9月2日。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)

39	「新日本設立キリスト運動」 総員礼拝日(九月十五日)	1946(S21)年	手書資料。昭和21年9月8日。
40	〔役員会通知〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年9月13日。
41	〔役員会通知〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月25日。
42	〔役員会御報告〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月8日。
43	〔役員会案内〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月8日。
44	〔役員会報告〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月。
45	〔献金依頼並秋期特別伝道 案内〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月26日。
46	〔新日本建設キリスト教運 動倉敷教会伝道講演会〕	1946(S21)年	手書資料。昭和21年10月26日。
47	講演会案内	1946(S21)年	手書資料。昭和21年11月18日。
48	〔生命 第三種郵便物許可 書〕	1926(T15)年	活字資料。大正15年6月1日。広島通信局。分類番号 500。「生命」。48～58も同様。
49	生命	1927(S2)年	昭和2年1月20日号～12月1日号。第4巻第1号～第12号。
50	生命	1928(S3)年	昭和3年1月1日号～12月1日号。第5巻1号～第12号。
51	生命	1930(S5)年	昭和5年1月1日号～12月1日号。第7巻第1号～第12号。
52	生命	1931(S6)年	昭和6年1月1日号～12月1日号。第8巻第1号～第12号。

倉敷教会所蔵資料 Reel No.4 (請求記号:111C)

番号	表題	作成年	備考
	昭和5年度教会幼稚各月報 告	1930(S5)年	手書資料。昭和5年1月～12月。
1	生命	1932(S7)年	昭和7年1月1日号～12月1日号。第9巻第1号～第12号。
2	生命	1933(S8)年	昭和8年1月1日号～12月1日号。第10巻第1号～第12号。
3	生命	1934(S9)年	昭和9年1月1日号～12月1日号。第11巻第1号～第12号。
4	生命	1937(S12)年	昭和12年1月1日号～12月1日号。第15巻第1号～第12号。
5	生命	1939(S14)年	昭和14年7月1日号～8月1日号。第16巻7号～第8号。
6	倉敷教会週報	1924(T13)年	大正13年7月27日号～昭和10年12月29日(No.80～No. 683)。分類番号600。「倉敷教会週報」。

倉敷教会所蔵文書 Reel No.5 (請求記号:111D)

番号	表題	作成年	備考
1	倉敷教会週報	1928(S3)年	昭和3年1月1日号～12月30日号(No.258～No.310)。分 類番号600。「倉敷教会週報」。2～14も同様。
2	倉敷教会週報	1930(S5)年	昭和5年1月5日号～12月30日号(No.364～No.414)。
3	倉敷教会週報	1931(S6)年	昭和6年1月4日号～12月28日号(No.415～No.465)。
4	倉敷教会週報	1932(S7)年	昭和7年1月3日号～12月25日号(No.466～No.517)。
5	倉敷教会週報	1933(S8)年	昭和8年1月1日号～12月31日号(No.518～No.571)。
6	倉敷教会週報	1934(S9)年	昭和9年1月1日号～12月31日号(No.571～No.622)。
7	倉敷教会週報	1936(S11)年	昭和11年1月5日号～12月20日号(No.684～No.734)。
8	倉敷教会週報	1937(S12)年	昭和12年1月3日号～12月26日号(No.736～No.788)。
9	倉敷教会週報	1938(S13)年	昭和13年1月2日号～12月25日号(No.789～No.826、 No.1～14)。
10	倉敷教会週報	1942(S17)年	昭和17年1月4日号～12月27日号。
11	倉敷教会週報	1943(S18)年	昭和18年1月3日号～12月26日号。
12	倉敷教会週報	1944(S19)年	昭和19年1月2日号～12月31日号。
13	倉敷教会週報	1945(S20)年	昭和20年1月14日号～2月4日号。
14	倉敷教会週報	1946(S21)年	昭和21年5月12日号～12月22日号。
15	永眠者履歴書類並に其の関 係書類 木村裕吉外14名	不詳	明治40年～昭和16年。分類番号700。16～24も同様。
16	借用証	1925(T14)年	大正14年7月17日。
17	岡崎健作牧師京都教会牧就 任に付通知(はがき)	不詳	手書資料。

18	〔西尾幸太郎書簡 高戸献宛〕	1937(S12)年	書簡。昭和12年12月2日。
19	〔西尾幸太郎書簡 林源十郎・高戸献宛〕	1937(S12)年	書簡。昭和12年12月6日。
20	〔西田進書簡 林源十郎・高戸献宛〕	1937(S12)年	書簡。昭和12年12月。
21	東方鄙辞職願	1938(S13)年	手書資料。昭和13年3月1日。
22	西田進履歴書	1940(S15)年	手書資料。昭和15年2月。
23	田中喜久子就任関係書類	1943(S18)年	手書資料。昭和18年8月9日。
24	〔岩村忠四郎書簡 林源十郎宛〕	不詳	書簡。

V 宮崎教会所蔵資料

宮崎教会所蔵資料 Reel No.1(請求番号：123A)

番号	表題	作成年	備考
1	クラーク先生伝記	不詳	手書資料。未刊行の原稿。作成者：溝口貞五郎。内表紙に「南日本の開拓伝道者 C・A・クラークの業績 溝口貞五郎」とあり。末尾にアメリカンボードの「図書係研調査主任」のダンラップ夫人より送られた書簡(1947年10月15日)の写しが付されている。
2	サイラス・エ・クラーク先生	1934(S9)年	刊行物。日本組合宮崎基督教会編『サイラス・エ・クラーク先生』日本組合宮崎基督教会 1934年。裏表紙に「安藤兼慶」との所有者署名と住所あり。
3	サイラス・A・クラーク先生の銅像	1942(S17)年	刊行物。作成者：サイラス・クラーク先生胸像設立委員会。裏表紙に「印刷 聖文堂」と印字。
4	SOME LA LEADERS IN HIUGA		刊行物、洋書。小冊子か。作成者：C・A・クラーク。
5	Japan Mission News Vol. 25	1922(T11)年	刊行物。洋書。作成者：〔K・S・ビーム〕。「発行兼編集人 ケー、エス、ビーム」「発行元 ジャパン、ミッション、ニウス社」「印刷人 エー、ダブリュ、シエリフ」「印刷所 ジャパン、ガゼット社」と印字。
6	『キリスト教世界』2140号	1924(T13)年	1924年12月18日発行。第42年50号、通号2140号。「クラーク先生送別次第」の記事掲載ページのみ。
7	『キリスト教世界』2139号	1924(T13)年	1924年12月11日発行。第42年49号、通号2139号。「我が教会の恩師クラーク先生を送る」との見出しのある表紙のみ。
8	R.G.Urch's Letter to Prof. Bumji Katsuyama	1964(S39)年	書簡。タイプ。「Aug. 3. 1964」とあり。作成者：R. G. アーチ。
9	C.A.Clark's Letter to Mr. Matsumoto	1920(T9)年	書簡。封筒あり。作成者：〔C・A・クラーク〕。「東京市外巢鴨町千三十七番地／新井重久様方／松本宗吉様 1920. 1. 21」と封筒表にあり。「日向国宮崎町／シ、エ、クラーク」と裏表紙にあり。
10	サイラス・A・クラーク先生胸像建設基金趣意書	1964(S39)年	活字資料。作成者：C・A・クラーク胸像先生設立委員会。井上信男宛。
11	クラーク書簡 松本宗吉宛	1920(T9)年	葉書。作成者：〔C・A・クラーク〕。「宮崎町／シ、エ、クラーク」と葉書表にあり。